

令和7年度

# 青島中学校トイレ洋式化等改修工事

設計：荒井建築計画事務所 1級建築士事務所

建築図				
No.	Title	Scale		
A-01	建築工事改修特記仕様書1 (R6.1)			
A-02	建築工事改修特記仕様書2 (R6.1)			
A-03	建築工事改修特記仕様書3 (R6.1)			
A-04	建築工事改修特記仕様書4 (R6.1)			
A-05	建築工事改修特記仕様書5 (R6.1)			
A-06	建築工事改修特記仕様書6 (R6.1)			
A-07	建築工事改修特記仕様書7 (R6.1)			
A-08	建築工事改修特記仕様書8 (R6.1)			
A-09	建築工事改修特記仕様書9 (R6.1)			
A-10	施工条件特記仕様書			
A-11	位置図・配置図	1/800	1/2500	
A-12	仮設計画平面図	1/200		
A-13	平面詳細図1 (現況・改修)	1/50		
A-14	平面詳細図2 (現況・改修)	1/50		
A-15	平面詳細図3/天井伏図3 (現況)	1/50		
A-16	天井伏図1 (現況・改修)	1/50		
A-17	天井伏図2 (現況・改修)	1/50		
A-18	解体図1	1/50		
A-19	解体図2	1/50		
A-20	各部詳細図 (現況・改修)	1/5	1/10	1/20
A-21	展開図1 (現況・改修)	1/50		
A-22	展開図2 (現況・改修)	1/50		
A-23	展開図3 (現況・改修)	1/50		
A-24	展開図4 (現況・改修)	1/50		
A-25	展開図5 (現況・改修)	1/50		
A-26	建具表1 (現況・改修)	1/50		
A-27	建具表2 (現況・改修)	1/50		
A-28	建具表3 (現況・改修)	1/50		

[illegible][illegible]













○5章 建具改修工事

○1 改修工法

(5.1.3)

建具の種類

かぶせ工法

撤去工法

適用箇所

○アルミ・鋼製建具	・	・	・ 建具表による	・
・樹脂製建具		・	・ 建具表による	・
・鋼製建具	・ 外部	・	・ 建具表による	・
	・ 内部	・	・ 建具表による	・
○鋼製軽量建具	・	・	○ 建具表による	・
・ステンレス製建具	・	・	・ 建具表による	・
○木製建具	・	・	○ 建具表による	・

新規に建具を設ける場合

壁部分の開口の開け方

新規建具周囲の補修工法及び範囲

建具周囲の「シリング」は、改修特記仕様書3章防水改修工事による

2 防火戸

(5.1.4)

・指定する

適用箇所

( 建具表による )

・指定しない

防火戸の自動閉鎖機構及び「ヒューズ」装置、熱感知器又は煙感知器との連動

( 建具表による )

・連動させる

( 建具表による )

・連動させない

3 見本の製作等

(5.1.5)

・建具見本の製作

建具符号：

・建具見本の目的等

・工事に使用するものとして、あらかじめ製作する

・納まり等が分かる程度のもの

・特殊な建具の仮組

建具符号：

4 防犯建物部品

(5.1.7)

・適用する

( ※ 建具表による )

・適用しない

5 アルミ・ニウム製建具

(5.2.2～5)(表5.2.2)

性能値等

耐風圧性の等級 ( 建具符号 )

( 建具符号 )

気密性の等級 ( 建具符号 )

( 建具符号 )

水密性の等級 ( 建具符号 )

( 建具符号 )

外部に面する建具の種別

・A種 ( 建具符号 )

・B種 ( 建具符号 )

・C種 ( 建具符号 )

枠の見込み寸法

( 建具表による )

防音ドア・防音サッシ

遮音性の等級 ( 建具符号 )

( 建具符号 )

断熱ドア・断熱サッシ[G]

断熱性の等級 ( 建具符号 )

( 建具符号 )

材料

ステンレス鋼板

※ SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1

ステンレス製のくつずりの仕上げ

※ HL

形状及び仕上げ

表面処理

外部に面する建具

種別

・BB-1

・BB-2(改修標準仕様書表5.2.2)

着色

・標準色

・特注色

屋内の建具

種別

・BC-1

・BC-2(改修標準仕様書表5.2.2)

着色

・標準色

・特注色

結露水の処理方法

・水貯め式

・排水式

工法

水切り板、ぜん板

※ 図示による

網戸等

(5.2.3)(5.3.3)

種類	材種	線径	網目
・防虫網	※ 合成樹脂製	※ 0.25mm以上	※ 16～18メッシュ
・防鳥網	※ ガラス繊維入り合成樹脂製		
	・ステンレス(SUS316)製		
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法 15mm

6 樹脂製建具

(5.2.2)(5.3.2～5)

性能値等

耐風圧性の等級 ( )

気密性の等級 ( )

水密性の等級 ( )

外部に面する建具の種別

・A種 ( 建具符号 )

・B種 ( 建具符号 )

・C種 ( 建具符号 )

防音ドア・防音サッシ

遮音性の等級 ( T-1 )

( 建具符号 )

断熱ドア・断熱サッシ[G]

断熱性の等級 ( H-4 )

( 建具符号 )

外部に面する建具の日射熱取得性の等級

・

枠の見込み寸法

・建具表による

材料

ガラス

※ 複層ガラス

ステンレス製のくつずりの仕上げ

※ HL

形状及び仕上げ

表面色

・標準色

・特注色

工法

水切り板、ぜん板

※ 図示による

7 鋼製建具

(5.2.2)(5.4.2～4)(表5.4.2)

性能値等

簡易気密型ドアセット

・適用する ( 建具符号 )

・適用しない

外部に面する鋼製建具の耐風圧性

耐風圧性の等級 ( 建具符号 )

( 建具符号 )

防音ドア・防音サッシ

遮音性の等級 ( 建具符号 )

( 建具符号 )

断熱ドア・断熱サッシ[G]

断熱性の等級 ( 建具符号 )

( 建具符号 )

耐震性能

建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

材料

ステンレス製くつずりの仕上

※ HL

ステンレス鋼板

※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

形状及び仕上げ

鋼板の厚さ

※ 改修標準仕様書5.4.2による

標準型鋼製建具の形式及び寸法

※ 建具表による

8 鋼製軽量建具

(5.2.2)(5.5.2～4)

性能値等

簡易気密型ドアセット

○ 適用する ( 建具符号 )

・適用しない

防音ドア・防音サッシ

遮音性の等級 ( 建具符号 )

( 建具符号 )

断熱ドア・断熱サッシ[G]

断熱性の等級 ( 建具符号 )

( 建具符号 )

耐震性能

建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

材料

鋼板の種類

○亜鉛めっき鋼板

・ビニル被覆鋼板

・ガル鋼板

・ステンレス鋼板

ステンレス鋼板

※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

召合せ、縦小口包み板の材質

※ 鋼板

ステンレス製のくつずりの仕上げ

※ HL

形状及び仕上げ

鋼板の厚さ(mm)

○ 改修標準仕様書表5.5.1による

mm

使用箇所 ( )

標準型鋼製軽量建具の形式及び寸法

○ 建具表による

9 ステンレス製建具

(5.2.2)(5.4.2)(5.6.2～5)

性能値等

簡易気密型ドアセット

・適用する (適用箇所 ※ 図示 )

・適用しない

外部に面する建具の耐風圧性

耐風圧性の等級 ( 建具符号 )

( 建具符号 )

防音ドア・防音サッシ

遮音性の等級 ( 建具符号 )

( 建具符号 )

断熱ドア・断熱サッシ[G]

断熱性の等級 ( 建具符号 )

( 建具符号 )

耐震性能

建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による

材料

ステンレス鋼板

※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

ステンレス製のくつずりの仕上げ

※ HL

形状及び仕上げ

表面仕上げ

※ HL

・鏡面仕上げ

工法

ステンレス鋼板の曲げ加工

※ 普通曲げ

・角出し曲げ

○10 木製製建具

(5.7.2～4)

性能値等

建具材の加工、組立時の含水率

※ A種

建物内部の木製建具に使用する接着剤の44747°ヒド放散量

※ F☆☆☆☆

○フラッシュ戸

表面材の44747°ヒド放散量等

※ 改修標準仕様書5.7.2(2)(イ)(a)による

表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備考
・普通合板[G]	表面の樹種	・
	板面の品質	( ※ 広葉樹1等 )
	接着の程度	( 1種 2種 )
・天然木化粧合板[G]	樹種名	( 1種 2種 )
	接着の程度	( 1種 2種 )
○特殊加工化粧合板[G]	化粧加工の方法	※ プリント
	○ポリエステル化粧合板	・メラミン化粧合板
	接着の程度	( 1種 2種 )
・MDF[G]		

表面板の厚さ

○ 改修標準仕様書表5.7.6による

・引戸の召合わせかまのいんろう付きの適用

・かまち戸

樹種 ( )

鏡板樹種 ( )

見込み寸法

※ 36mm

・建具表による

張りの種別

( I形 )

・II型

上張り(押入等の裏側以外)

・鳥の子

・新鳥の子又はビニ紙程度

縁仕上

・塗り縁

・生地縁(素地)

・生地縁(ラックガイテ塗装)

見込み寸法

※ 19.5mm

・建具表による

・戸ぶすま

表面板の仕上

・建具表による

見込み寸法

※ 30mm

・建具表による

・紙張り障子

見込み寸法

※ 30mm

・建具表による

枠、くつずりの材料

・建具表による

11 建具用金物

(5.8.2、3)

金物の種類・見え掛り部の材質等

※ 改修標準仕様書表5.8.1による

金属製建具用丁番の枚数及び大きさ

※ 改修標準仕様書表5.8.2による

樹脂製建具用丁番の枚数及び大きさ

※ 改修標準仕様書表5.8.3による

木製建具に使用する丁番の枚数及び大きさ

※ 改修標準仕様書表5.8.4による

木製建具に使用する戸車及びレール

※ 改修標準仕様書表5.8.5による

握り玉、レバー・ハンドル、押板類、プルセットの取付位置

建具表による

・錠前類【シリンダ錠及びシリンダ本締り錠】

別表による

・ローギヤ類

別表による

12 鍵

(5.8.4)

マスターキー

・製作する

・既存のマスターキーに合わせる

・製作しない

その他の鍵の製作本数

※ 3本1組

・

鍵箱

・有

・無

13 自動ドア開閉装置

(5.9.2、3)

戸の開閉方式

・建具表による

・引き戸用駆動装置

性能値

※ 改修標準仕様書表5.9.1による ( 防錆の適用 )

・以下による

種類・開閉方式 ( )

耐電圧 ( )

温度上昇 ( )

耐久性(リサイクル) ( )

防錆 ( )

電源 ( )

・多機能トビ出し入口引き戸用駆動装置

性能値

※ 改修標準仕様書表5.9.2による ( 防錆の適用 )

・以下による

耐電圧 ( )

温度上昇 ( )

耐久性(リサイクル) ( )

防錆 ( )

電源 ( )

引き戸用検出装置

性能値

※ 改修標準仕様書表5.9.3による ( 防錆の適用 )

・以下による

耐電圧 ( )

温度上昇 ( )

防錆 ( )

電源 ( )

引き戸用検出装置の種類

・建具表による

・タッチスイッチの種類

・無線式タッチスイッチ

・光線式タッチスイッチ

車椅子使用者用便房スイッチの種類

・大形押しボタンスイッチ

・非接触スイッチ

凍結防止措置

・行う

・行わない

○14 自閉式上吊り引戸装置

(5.10.3)

性能値等

※ 改修標準仕様書表 5.10.1 による

・以下による ( )

手動開き力 ( )

手動閉じ力 ( )

閉じ速度の調整 ( )

制動区間 ( )

開閉繰り返し ( )

耐衝撃性 ( )

15 重量シャッター

(5.11.2、3)

シャッターの種類

・管理用シャッター

・外壁用防火シャッター

・屋内用防火シャッター

・防煙シャッター

外壁開口部に設ける重量シャッターの耐風圧強度

( ) Pa

開閉方式の種類

※ 上部電動式(手動併用)

・手動式

安全装置

電動シャッターの急降下停止装置、急降下制動装置 ( 設置箇所 )

・建具表による

電動シャッターの障害物感知装置

※ 設ける ( 設置箇所 )

・建具表による

※ 設けない ( 設置箇所 )

・建具表による

屋内用防火シャッター若しくは防煙シャッターの危害防止機構

※ 設ける ( 設置箇所 )

・建具表による

※ 設けない ( 設置箇所 )

・建具表による

管理用シャッターのシャッターケース

・設ける

・設けない

スラット及びシャッター枠用鋼板

鋼板の種類

・JIS G 3302(溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)

・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板鋼帯)

めっきの付着量

※ Z12またはF12

・

ガイド・レール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板のカバー、雨掛りに用いるスライダックス類のふたの材質

ステンレス鋼板

※ SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1

・

16 軽量シャッター

(5.12.2～4)

開閉方式の種類

※ 手動式

・電動式(手動併用)

耐風圧強度( ) Pa

安全装置

電動シャッターの障害物感知装置 ( 設置箇所 )

・建具表による

スラットの材質の種類

・JIS G 3312(塗装溶融亜鉛めっき鋼板及び鋼帯)

めっきの付着量( ※ Z06またはF06 )

・JIS G 3322(塗装溶融55%亜鉛合金めっき鋼板及び鋼帯)

めっきの付着量( ※ AZ90 )

スラットの形状

・インターlocking形

・オーバーラッピング形

17 オーバーヘッドドア

(5.13.2、3)

障害物感知装置を設けた電動式シャッターの設置箇所

・図示

・

○18 ガラス

(5.14.2～4)

・フロート板ガラスの品種及び厚さの呼びによる種類

※ 建具表による

・型板ガラスの厚さによる種類

※ 建具表による

○網入板ガラス及び網入板ガラスの網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類

○ 展開図または建具表による

・合わせガラス

材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びにガラスの合計厚さによる種類

※ 建具表による

落球衝撃はく離特性並びにショットパッチ衝撃特性による種類

・I類

・II-1類

・II-2類

・III類

・強化ガラス

形状による種類、材料板ガラスの種類による名称

※ 建具表による

破片の状態及びショットパッチ衝撃特性による種類

・I類

・III類

・熱線吸収板ガラス

板ガラスによる種類、厚さによる種類

※ 建具表による

性能による種類

・I類

・II類

・

・複層ガラス

材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ

断熱性による区分

・T1

・T2

・T3

・T4

・T5

・T6

日射取得性、日射遮蔽性による区分

・G

・S

乾燥気体の種類

・空気

・アルゴン

・熱線反射ガラス

材料板ガラスの種類及び厚さによる種類

※ 建具表による

日射遮蔽性による区分

・1種

・2種

・3種

耐久性による区分(日射遮蔽性による区分が2種の場合)

・A類

・B類

・倍強化ガラス

材料板ガラスの種類及び厚さによる種類

※ 建具表による

・

ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ(mm)
アルミニウム製	○シリング材	・図示
	・グレイズンクチャンネル	○ 建具の製造所の仕様による
鋼製及び鋼製軽量	・シリング材	・図示
		・ 建具の製造所の仕様による
ステンレス製	・シリング材	・図示
		・ 建具の製造所の仕様による
樹脂製	・グレイズンクカセット	・図示
		・ 建具の製造所の仕様による

19 ガラスブロック

(5.14.5)

壁用金属枠及び補強材

※ 図示

力骨 材質

※ ステンレス鋼(SUS304)

寸法

※ 5.5mm

形状

※ はしご形状複筋及び単筋

化粧目地の色

( 白 )

・グレー

シーリングの種類

・SR-1

・PS-1

金属製化粧カバー

材質

・ステンレス製

・アルミニウム製

寸法

※ 図示

形状

※ 図示

目地部の横力骨の納まり

※ ガラスブロック製造所の仕様による

工法

適用区分による風圧力の ( ※ 1 )

・1.15

・1.3 )

倍の風圧力に対応した工法

○20 ガラス用フィルム

品質 JIS A 5759による。



6章 内装改修工事

1 改修範囲 (6.1.3)

既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲

※ 壁厚程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う

天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲

※ 壁面より両側 600mm 程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う

既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修

※ 既存のまま

2 既存床の撤去及び下地補修 (6.2.2)

ビニルシート等の除去

仕上材のみ(接着剤とも)

下地もろとも

合成樹脂塗床材の除去

機械的除去工法

目荒し工法

既存のコンクリート又はモルタル面の下地処理に用いる「ポリマーセメントモルタル及びポリマー樹脂モルタル」を、4 章外壁改修工事による改修後の床の清掃

3 既存壁の撤去及び下地補修 (6.3.2)

間仕切り壁撤去に伴う他の構造体の補修

改修標準仕様書4.3.10によるモルタル塗り (塗り厚25mmを超える場合の処理)

4 施工一般 (6.5.2)

材料の放散量

☆☆☆☆又は改修標準仕様書6.5.2(1)(g)(h)による

5 製材[G] (6.5.2)

県内産木材の適用がない場合でも可能な範囲で県内産木材の市販品

報告：静岡県産材証明制度の「県産材販売管理票」により報告すること

合法的に生産された木材を使用すること。

報告：木材・木製品の合法性、持続可能性の証明のための「ドライブイン(平成18年2月15日林野庁作成)に準拠した証明書により報告すること

造作材の材面の品質の基準

JAS 1083-5 製材-第5部に基づく下地用製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
			2級		A種・B種		有・無
			2級		A種・B種		有・無
			2級		A種・B種		有・無

県産木材の適用

JAS 1083-2 製材-第2部に基づく造作用製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見掛面			上小節		A種・B種		有・無
見掛面以外			小節以上		A種・B種		有・無
			2級		A種・B種		有・無

県産木材の適用

JAS 1083-6 製材-第6部に基づく広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	形状	含水率	保存処理	間伐材等の適用
			1等		10%以下 A種・B種		有・無
			1等		10%以下 A種・B種		有・無

県産木材の適用

JAS 1083(製材)以外の製材

施工箇所	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理	含水率	間伐材等の適用
		(造作材の場合) A種・B種	適用する 適用しない	A種・B種	有・無
		(造作材の場合) A種・B種	適用する 適用しない	A種・B種	有・無
		(造作材の場合) A種・B種	適用する 適用しない	A種・B種	有・無

県産木材の適用

6 造作用集成材[G]

「集成材の日本農林規格」による造作用集成材

施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用
建具枠・見切		タモ、桐			1等・2等	有・無
					1等・2等	有・無
					1等・2等	有・無

県産木材の適用

「集成材の日本農林規格」による化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面数	見付け材面の品質	間伐材等の適用
					1等・2等	有・無	有・無
					1等・2等	有・無	有・無
					1等・2等	有・無	有・無

県産木材の適用

「集成材の日本農林規格」による化粧ばり構造用集成材

施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
						15%以下	有・無
						15%以下	有・無
						15%以下	有・無

県産木材の適用

「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
					15%以下	有・無

県産木材の適用

「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり構造用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
					15%以下	有・無

県産木材の適用

7 造作用単板積層材[G] (6.5.2)

JAS 0701に基づく造作用単板積層材

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
				適用する 適用しない	有・無

県産木材の適用

JAS 0701以外の造作用単板積層材

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理	間伐材等の適用
				14%以下	適用する 適用しない	有・無

県産木材の適用

JAS 3079に基づく直交集成板[G]

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用
							有・無
							有・無

県産木材の適用

8 合板等 (6.5.2)

JAS 0360に基づく構造用パネル

「合板の日本農林規格」による普通合板[G]

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	難燃処理	防蟻処理	間伐材等の適用
	5.5		1類・2類	広葉樹 2等以上 針葉樹 C-D以上	有・無	有・無	有・無	有・無

県産木材の適用

「合板の日本農林規格」による構造用合板[G]

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ(mm)	防虫処理	強度等級	防虫処理	間伐材等の適用
	2級以上 1級		1類・特類	C-D以上	12	有・無	( )	適用する 適用しない	有・無

県産木材の適用

「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板[G]

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用
			1類・特類	有・無	有・無
			1類・特類	有・無	有・無
			1類・特類	有・無	有・無

県産木材の適用

「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板[G]

施工箇所	厚さ(mm)	化粧板に使用する単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
			1類・2類	有・無
			1類・2類	有・無
			1類・2類	有・無

県産木材の適用

「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板[G]

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表面性能	化粧加工の方法	防虫処理
		1類・2類			有・無
		1類・2類			有・無
		1類・2類			有・無

県産木材の適用

「化粧材の日本農林規格」による化粧材

施工箇所	表面の状況による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分	厚さ(mm)
		13タイプ	P又はM		15
		13タイプ	P又はM		15

県産木材の適用

JAS 0360に基づく構造用パネル

施工箇所	寸法(mm)

MDF[G]

施工箇所	厚さ(mm)	表面の状況による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

9 接合具等 (6.5.3)

造作材の化粧面の釘打ち

隠し釘打ち

釘頭埋め木

つばし頭釘打ち

釘頭現し

カすがい、座金、箱金物、短冊金物 (改修標準仕様書表6.5.3～5に示す程度の市販品 表8.20.1のF種程度)

形状： 寸法： 材質：

10 接着剤 (6.5.3、4)

接着剤の放散量

F☆☆☆☆

11 防蟻・防蟻処理 (6.5.5)

防蟻・防蟻処理を省略できる樹種による製材

適用部位：

薬剤の加圧注入による防蟻・防蟻処理

適用部材	保存処理性能区分
	K2・K3・K4
	K2・K3・K4
	K2・K3・K4

薬剤の塗布等による防蟻・防蟻処理

適用部材	処理の方法	薬剤の種類
	薬剤の製造所の仕様による	JIS K 1571に適合又は同等品

薬剤の接着材への混入による防蟻・防蟻処理

適用部位： ( )

合板等の加圧注入処理等の適用

適用部位： ( )

12 内部間仕切軸組及び床組み (6.5.6)

間仕切軸組に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)

杉又は松

床組に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)

杉又は松

13 窓、出入口その他 (6.5.7)

窓、出入口その他に用いる木材の樹種名 (製材を用いる場合)

杉元枠、木掛りの下枠及び敷居はひのき、その他は松又は杉

14 軽量鉄骨天井下地 (6.6.2～4)

特定天井

有 (仕様、位置は図示による) 適用しない

野縁等の種類

屋外 (25形 19形)

屋内 (19形 25形)

屋外の形式及び寸法

屋縁受、吊り金具及びびり等の間隔

図示

周辺部の端からの間隔

図示

野縁の間隔

図示

既存の埋込み金具

使用する 使用しない

あと施工工法の引抜き試験

(試験箇所数： 箇所) 屋内の場合、当該階において3箇所

引抜き試験にて確認する強度

つりボルト受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の単位面積あたりの質量が20kg/㎡以内の天井の場合は400N程度 ( N )

吊り金具の間隔が900mmを超える場合の補強方法

図示

天井のふところ高が3.0mを超える場合の補強方法

図示

天井下地材における耐震性を考慮した補強

補強箇所 補強方法

図示

15 軽量鉄骨壁下地 (6.7.3、4)(表6.7.1)

スラット、フナーの種類

改修標準仕様書表6.7.1によるスラットの高さによる区分に応じた酒類

スラットの高さが5mを超える場合

出入口及びこれに準ずる開口部の補強

図示

改修標準仕様書6.7.4(5)による

16 ビニル床シート[G] (6.8.2、3)

種類の記号	色柄	厚さ(mm)	備考
FS(複層ビニル床シート)	無地	2.0	
複層ビニル床シート (ロシタル「チニタリム」同等品)	マブル柄		
	柄物		

接合部の処理

熱溶接工法

17 ビニル床タイル張り[G] (6.8.2)

種類の記号	色柄	寸法(mm)	厚さ(mm)	備考
KT(コンボーションビニル床タイル)	無地	300×300	2.0	
	柄物	450×450		
TT(単層ビニル床タイル)	無地	300×300	2.0	
	柄物	450×450	2.5	
			3.0	
FT(複層ビニル床タイル)	無地	300×300	2.0	
	柄物	450×450	3.0	
FOA(置敷きビニル床タイル)	無地	500×500	4.0	
	柄物			
FOB(薄型置敷きビニル床タイル)	無地			
	柄物			

18 特殊機能床 (6.8.2)

帯電防止床シート

種類 ( ) 性能 ( )

厚さ ( mm )

帯電防止床タイル

種類 ( ) 性能 ( )

寸法 ( × ) 厚さ ( mm )

視覚障害者用床タイル

視覚障害者誘導用ブロック等の突起の形状・寸法及びその配列はJIS T 9251による

種類 ( ) 形状 ( )

耐動荷重性床シート

種類 ( ) 厚さ ( mm )

防滑性床シート

種類 ( ) 厚さ ( mm )

防滑性床タイル

種類 ( ) 寸法 ( × ) 厚さ ( mm )

19 ビニル床木 (6.8.2)

材質

硬質 軟質

高さ(mm)

60 75 100

厚さ

1.5mm以上

20 ゴム床タイル (6.8.2)

種類

単層品 積層品

色柄 ( )

厚さ(mm)

3.0 4.5 6.0 9.0

寸法(mm)

( )

21 カーペット敷き (6.9.2、3)(表6.9.1)

織じゅうたん

織り方	パイル形状
ウェットカーペット	カットパイル
グランドフェースカーペット	ループパイル
アキシタカーペット	カット、ループ併用

色柄

パイル系の種類等

模様の無い無地

無地の織りじゅうたんの種別 ( A種 B種 C種 )

帯電性

適用する 適用しない

織りじゅうたんの接合方法

トリプル工法

下敷き材

反毛フェルト(JIS L 3204)の第212号 呼び厚さ8mm

クッションカーペット

パイル形状	パイル長さ(mm)	工法	帯電性	備考
カットパイル	5～7	全面接合工法	適用する	
ループパイル	4～6	グリップ工法	適用しない	
カット、ループ併用				

クッションカーペット用接着剤の放散量

☆☆☆☆

下敷き材(グリップ工法の場合)

反毛フェルト(JIS L 3204)の第212号 呼び厚さ8mm

タイルカーペット

パイルの形状	種類	施工箇所	寸法(mm)	総厚さ(mm)	備考
ループパイル	第一種		500×500	6.5	
	第二種				
カットパイル	第一種		500×500	6.5	
	第二種				
カット、ループ併用	第一種		500×500	6.5	
	第二種				

タイルカーペット用接着剤の放散量

☆☆☆☆

タイルカーペットの敷き方

市松敷き 模様流し

階段部分

市松敷き

材質 ( ) 種類 ( )

見切り、押え金物

形状等

図示

22 合成樹脂塗床 (6.10.2、3)

種別	施工箇所	工法	仕上の種類
厚膜型塗床材			平滑仕上げ
弾性ポリウレタン系塗床			防滑仕上げ
			つや消し仕上げ
厚膜型塗床材		薄膜流しのべ工法	平滑仕上げ
エポキシ樹脂系塗床		厚膜流しのべ工法	防滑仕上げ
薄膜型塗床材		樹脂モルタル工法	平滑仕上げ

塗料の放散量

☆☆☆☆

23 フローリング張り (6.11.2～6)

フローリングの放散量

改修標準仕様書6.11.2(2)による

各工法に使用する接着剤の放散量

☆☆☆☆

単層フローリング (フローリングボード 1等)

工法

釘留め工法 ( 根太張り 直張り )

接着工法

樹種

なら

間伐材の適用

単層フローリング (フローリングボード 1等)

樹種

なら

厚さ

大きさ

間伐材の適用

複合フローリング

工法

釘留め工法 ( 根太張り 直張り )

接着工法

樹種

なら

種別

A種 B種 C種

間伐材の適用

接着工法の場合の裏面緩衝材

合成樹脂発泡シート

現場塗装仕上げ

ウレタン樹脂ニス塗り

オイルステインの上、ワックス塗り

生地そのままワックス塗り

24 畳敷き (6.12.2)

種別

A種 B種 C種 D種(畳床KT- I II III K N )

下地の種類

標準仕様書様12.6.1による床組み

ポリスチレンフォーム床下地(ノンフロア[G])

畳表及び畳床はタタミ及びタタミ及びタタミを分散しないか、発散がきわめて少ない材料を使用したものとする。

衝撃緩和型畳

畳表： C1 C2



25	○	セッコウボード、その他ボード及び合板張り	MDF及びパーティクルボード、接着剤のホルムアルデヒド放散量 合板のホルムアルデヒド放散量	☆☆☆☆ 改修標準仕様書6.13.2(2)(イ)の(a)～(d)のいずれか	(6.13.2、3)		
					種類等		
					厚さ(mm)、規格等		
					木毛セメント板		
					硬質(HW) 中質(MW) 普通(NW)		
					木片セメント板		
					硬質(HF) 普通(NF)		
					けい酸カルシウム板(タイプ2) 普通ボード 0.8FK		
					火山性ガラス質複層板		
					種類 ※ 図示による		
繊維板	○	繊維板	繊維板	繊維板	繊維板		
					繊維板		
					繊維板		
					繊維板		
					繊維板		
					繊維板		
					繊維板		
					繊維板		
					繊維板		
					繊維板		
パーティクルボード	○	パーティクルボード	パーティクルボード	パーティクルボード	パーティクルボード		
					パーティクルボード		
					パーティクルボード		
					パーティクルボード		
					パーティクルボード		
					パーティクルボード		
					パーティクルボード		
					パーティクルボード		
					パーティクルボード		
					パーティクルボード		
吸音材料	○	吸音材料	吸音材料	吸音材料	吸音材料		
					吸音材料		
					吸音材料		
					吸音材料		
					吸音材料		
					吸音材料		
					吸音材料		
					吸音材料		
					吸音材料		
					吸音材料		
セッコウボード	○	セッコウボード	セッコウボード	セッコウボード	セッコウボード		
					セッコウボード		
					セッコウボード		
					セッコウボード		
					セッコウボード		
					セッコウボード		
					セッコウボード		
					セッコウボード		
					セッコウボード		
					セッコウボード		
合板類	○	合板類	合板類	合板類	合板類		
					合板類		
					合板類		
					合板類		
					合板類		
					合板類		
					合板類		
					合板類		
					合板類		
					合板類		
天井のボード類	○	天井のボード類	天井のボード類	天井のボード類	天井のボード類		
					天井のボード類		
					天井のボード類		
					天井のボード類		
					天井のボード類		
					天井のボード類		
					天井のボード類		
					天井のボード類		
					天井のボード類		
					天井のボード類		
26	○	壁紙張り	壁紙張り	壁紙張り	壁紙張り		
					壁紙張り		
					壁紙張り		
					壁紙張り		
					壁紙張り		
					壁紙張り		
					壁紙張り		
					壁紙張り		
					壁紙張り		
					壁紙張り		
27	○	モルタル塗り	モルタル塗り	モルタル塗り	モルタル塗り		
					モルタル塗り		
					モルタル塗り		
					モルタル塗り		
					モルタル塗り		
					モルタル塗り		
					モルタル塗り		
					モルタル塗り		
					モルタル塗り		
					モルタル塗り		

28

○

タイル張り

伸縮目地の位置

床タイル (※縦、横とも4mm以内と (※図示 (※図示))

床タイル以外 (※図示 (※図示))

伸縮調整目地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書第3章による

見本焼き (施工箇所：)

試験張り (範囲、仕様等は図示による)

セメントモタルによるタイル (セミックタイル) 張り

タイルの形状、寸法等

施工箇所	種類	形状寸法(mm)	再生材の適用[G]	吸水率による区分			うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐水性	備考
				I類	II類	III類						
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

既製調査モタルは別表による

モタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。

既製調査目地材は別表による

壁タイル張りの工法

内装タイル

密着張り

改良圧着張り

内装タイル以外のエクステリア

マス張り

ざぐイタイル張り

有機系接着剤によるタイル (セミックタイル) 張り

タイルの形状、寸法等

施工箇所	種類	形状寸法(mm)	再生材の適用[G]	吸水率による区分			うわぐすり	役物	色	耐凍害性	耐水性	備考
				I類	II類	III類						
			・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

接着剤のモタルびてい放散量 (※F☆☆☆☆ (※図示))

29

○

セルフレベリング材塗り

塗厚 ( ) mm

(6.17.2、3)

〇7章

○

塗装改修工事

1

○

材料

屋内で使用する塗料のモタルびてい放散量 (※F☆☆☆☆ (※図示))

防火材料 (※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする (※次の箇所を除き防火材料とする (箇所：))

2

○

下地調整

RB種の場合の既存塗膜の除去範囲 (※劣化部分は除去し、活膜部分は残す (※図示))

既存錆止め塗料の除去 鉛含有分析 (※図示)

分析方法 ( ) ( )

箇所 ( ) (箇所)

除去方法：鉛作業主任者を選任し、湿式により除去すること。

下地調整

下地面の種類	下地調整の種別塗替え	ひび割れ部の補修
木部	※不透明塗料塗りの場合はRB種	
鉄鋼面	・ RA種 (※RB種) ・ RC種	
亜鉛めっき鋼面	・ RA種 (※RB種) ・ RC種	
亜鉛めっき鋼面(鋼製建具等)	・ RA種 (※RB種) ・ RC種	
モタル面、せっこうアスファルト面	・ RA種 (※RB種) ・ RC種	・ 行う ・ 行わない
コンクリート面(DP以外)、ALCパネル面	・ RA種 (※RB種) ・ RC種	・ 行う ・ 行わない
押出成形セメント板面及びコンクリート面(DP)	・ RA種 (※RB種) ・ RC種	・ 行う ・ 行わない
コンクリート面(DP)	・ RA種 (※RB種) ・ RC種	・ 行う ・ 行わない
せっこうボード面、その他ボード面	・ RA種 (※RB種) ・ RC種	

3

○

素地ごしらえ

下地面等

種別

木部	不透明塗料塗りの場合	※A種	・ B種
	透明塗料塗りの場合	・ A種	※B種
鉄鋼面(DP以外)		・ A種	※B種 (※C種)
鉄鋼面(DP)		・ A種	※B種 ・ C種
亜鉛めっき鋼面		・ A種	・ B種
モルタル面及びびんすたー面		・ A種	※B種
コンクリート面(DP以外)及びALCパネル面		・ A種	※B種
押出成形セメント板面及びびんすたー面(DP)		・ A種	・ B種
コンクリート面(DPのみ)		・ A種	※B種
せっこうボード面	目地：継目処理工法	※A種	・ B種
及びその他ボード面	目地：継目処理工法以外	・ A種	※B種

4

○

錆止め塗料塗り

錆止め塗料塗りの種別

(7.4.2、3)

素地面

塗装の種類

塗料の種別

工程の種別

鉄鋼面	SOP (工程の種別は表7.4.3)	塗替え (※A種) 新規見え掛り (※A種) 新規見え隠れ (※A種)	※C種 (※A種) (※B種)
	EP-G (工程の種別は表7.4.3)	塗替え (・A種 (※B種) 新規見え掛り (・A種 (※B種) 新規見え隠れ (・A種 (※B種)	※C種 (※A種) (※B種) (※B種)
	DP (工程の種別は表7.4.4)	塗替え	・ A種 (下地調整RA種) ・ B種 (下地調整RB種) ・ C種 (下地調整RC種)
		新規	・ A種
亜鉛めっき鋼面	SOP (工程の種別は表7.4.5)	塗替え (※A種) 鋼製建具等 (※A種) その他 (※B種)	※C種 (※A種) (※B種)
	EP-G (工程の種別は表7.4.5)	塗替え (※A種) 鋼製建具等 (※C種) その他 (※C種)	※C種 (※A種) (※B種)
	DP (工程の種別は表7.4.6)	塗替え (※B種) 新規 (※B種)	－ (－)



5 断熱・防露改修工事 [G]

フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のぬれ747g/㎡の放散量

開口部等補修のための張付け用の接着剤のぬれ747g/㎡の放散量

※F☆☆☆☆

※F☆☆☆☆

工法

断熱材打込み工法

断熱材 JIS A 9521に基づく発砲プラスチック断熱材

種類

厚さ (mm)

施工箇所

断熱材現場発泡工法

断熱材の種類

吹付け厚さ (mm)

施工箇所

断熱材後張り工法

断熱材 JIS A 9521に基づく発砲プラスチック断熱材

種類

厚さ (mm)

断熱材にせつこうボード等を張り付けた後

材質

厚さ

張り付け工法

断熱材の張り付け工法

断熱材へのボードの張り付け工法

6 屋上緑化改修工事 [G]

植栽基盤及び材料

屋上緑化軽量システム

芝及び地被類の種類等

見切り材、舗装材、排水管、マニッシュ材等

(品質・性能・試験方法)別表による

※図示

※図示

工法

建築基準法に基づき定まる

(※1

1.15

1.3

)

倍の風圧力に対応した工法

かん水装置

設置する

(種類

:

)

設置しない

既存保護層の撤去

行う

行わない

新植した芝及び地被類の枯保障の期間

※1渡しの日から1年

(9.5.2～5、9)

7 透水性アスファルト舗装改修工事

適用範囲：歩道

既存舗装の撤去及び再利用

※図示

路床の材料

種別	材料				厚さ (mm)
盛土	A種	B種	C種	D種	図示
	建設汚泥から再生した処理土 [G]				
凍上抑制層	再生クワッシュ [G]	クワッシュ			図示
	切込み砂利				
	川砂、海砂又は良質な山砂 (75μmふるい通過量10%以下)				
フィルター層	砂				図示

凍上抑制層に用いる材料に砂を用いる場合の粒度試験

行う

行わない

路床安定処理

適用する

適用しない

安定処理の方法

置き換え工法

安定処理工法

路床安定処理用添加材料

種類

普通ポトラントセメント

フライッシュセメント種

高炉セメント種 [G]

生石灰 (特号

1号)

消石灰 (特号

1号)

添加量

kg/m<sup>3</sup>

(目標CBR

3以上)

目標CBRを満足する添加量の確認方法

安定処理土のCBR試験

ジオテキスタイル

単位面積質量

60g/m<sup>2</sup>以上

厚さ (mm)

0.5～1.0

引張強さ

98N/5cm (10kgf/5cm) 以上

透水係数

1.5×10<sup>-4</sup> cm/sec 以上

試験

路床土の支持力比 (CBR) 試験

行う

行わない

現場CBR試験

行う

行わない

路床締固め度の試験

行う

行わない

路盤

厚さ

図示

材料

クワッシュ

粒度調整砕石

再生クワッシュ [G]

再生粒度調整砕石 [G]

クワッシュ鉄鋼スラグ [G]

粒度調整鉄鋼スラグ [G]

水硬性粒度調整鉄鋼スラグ [G]

舗装の構成

開閉度75μm混合物等の抽出試験

図示

行う

行わない

舗装の平坦性

※著しい不陸がないもの

10章 ユニット及びその他工事

フリーアクセスフロア

(20.2.2)

施工箇所	工法	寸法 (mm)	高さ (mm)	耐震性能	所定荷重 (N)	表面仕上材	備考
	置敷式	500×500		1.0G	3000	帯電防止床タイル	
	支柱調整式			0.6G	5000	タイルベア	

寸法精度

※標準仕様書20.2.2 (2) (f) (a)～(c)による

以下による

バネ長さの寸法精度

バネの平面形状 (角度) の寸法精度

フリーアクセスの高さの寸法精度

帯電防止性能

評価値 (I) ≧ 0.6以上

評価値 (I) ≧ 1.2以上

感電防止性能

漏えい抵抗 (R) ≧ 1×10<sup>6</sup> Ω

(品質・性能、試験方法は別表による)

3移動間仕切

構造形式による種類

構成基材の種類

ベネ表面仕上げ

遮音性 (db/500Hz)

防火性能

・ スチード式(内臓)

・ スチード式(露出)

・ スチードベネ式

・ ベネ式

ベネ内に取付ける建具

・ あり

※ 図示

・ なし

ベネ内に取り付ける家具の「アロサ」、丁番、錠前、上げ落としは、標準仕様書16章8節の建具用金具に対応する材質とする。

表面仕上げ材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による。

ベネ材料の「A7デビ」放出量

※ 「☆☆☆☆」

3移動間仕切

走行方向

操作方法による種類

ベネ圧接装置の操作方法

総厚さ (mm)

ベネ表面材

遮音性 (db/500Hz)

・ 平行方向移動式

・ 二方向移動式

・ 手動式

・ 電動式

・ 部分電動式

・ アッシュ式

・ バッド式

・

・ 鋼板

・ 焼付塗装

・ 壁紙張り

・

・ 36未満

・ 36以上

ベネ表面仕上げ材の壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による。

「A7デビ」の取付け下地の補強

※ 取付け全重量の5倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する

・ 図示

ベネを「A7デビ」に取り付ける部品

※ 「A7デビ」に加わる重量の5倍以上の荷重に耐えられるもの

・

「A7デビ」及び「A7デビ」

※ 「A7デビ」の重量の5倍の荷重を、ベネ1枚に使用する「A7デビ」数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないもの

・

(品質・性能は別表による)

4トイレブース

表面材の材料

脚部種類

ドアエッジ材質

○ アクリル樹脂系化粧板

・ ポリエスチレン樹脂系化粧板

○ 幅木タイプ

・

・ 製造所の仕様による

○ アルミニウム製

・ ステンレス製

(品質・性能、試験方法は別表による)

5手すり

材料の種類及び仕上げ

・ SUS304

・ 表面処理

・ 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき

・ アルミニウム

表面処理 (標準仕様書表14.2.2による種別)

表面処理 (標準仕様書表14.2.1による種別)

色合等

・ 標準色

・ 特注色

手すりの握り部分

種類

表面仕上げ

直径 (mm)

取付箇所

備考

・ 集成材

・ 材種

・ グラフター

・ 35程度

・ 45程度

・ 35程度

・ 45程度

6階段滑り止め

・ ステンレス製

・ 黄銅製押出型材

・ アルミニウム製押出型材

形状

※ タイプ (タテの材質：ゴム又は合成樹脂)

・ ゴム又は合成樹脂

・ タイプ

端部の形状

・ フラットあり

・ フラットなし

寸法 (幅)

・ 35mm程度

・ 40mm程度

・ 50mm程度

取付け工法

※ 接着工法

・ 埋め込み工法

7黒板及びホワイトボード

・ 黒板

・ 区分

・ 種類

・ 色

・ おりどボード

※ 焼き付け

・ 鋼製黒板

・ ほうろう黒板

・

8鏡

取付箇所

寸法 (mm)

厚さ (mm)

・ 図示

・ 5

9表示

衝突防止表示

・ 設置する

・ 設置場所

・ 形状・寸法

・ 材質

・ 設置しない

誘導標識、非常用進入口等の表示

※ 消防法に適合する市販品

室名札、ビッドグラフ、案内板等の形状、寸法、材質、色、書体、印刷等の種別、取付け形式等

(案内用図記号はJIS Z 8210による)

※ 図示

10タラップ

材質及び仕上げ

・ SUS304

・ スリップ止め加工

・ 鋼製 表面処理 溶融亜鉛めっき

※ あり

・ なし

※ 標準仕様書表14.2.2による種別

※ C種

11煙突ライニング

適用安全使用温度

工法

・

※ 鋼製ユニット煙突(煙突用成形ライニング材)

・

12

ブラインド

形式	操作方法	操作方法の種類	スラットの種類	スラット幅 (mm)	ボックス・レールの材質	幅・高さ・ 取付箇所
・ 横形	・ 電動	—				
	・ 手動	※ キー式 ・ コード式 ・ 操作棒式	※ アルミ合金製[G] ・	※ 25 ・	※ 鋼製 ・	※ 図示 ・
・ 縦形	・ 電動	—				
	・ 手動	※ 1本操作コード式 ・ 2本操作コード式	・ アルミスラット ・ クロースラット	・ 80 ・ 100	・ アルミ合金製	※ 図示 ・

縦型ブラインドのスラットの材質

・ アルミスラット 焼付け塗装仕上げ

・ クロースラット 消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工

ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は[G]とする。

13

ロールスクリーン

操作方法	スクリーンの材質	その他の材料	幅・高さ、取付箇所	品質
・ スリング式	・ アルミ繊維製	※ 製造所の仕様	・ 図示	
・ コード式	・ 合成、天然繊維製			
・ 電動式	・ 木製			

14

カーテン

形式	開閉操作	ひだの種類	生地の種類、 品質、特殊加工等	取付箇所	備考
・ シングル ・ ダブル	・ 片引き ・ 引分け	・ 手引き ・ ひも引き ・ 電動	・ フランスひだ ・ 箱ひだ、片ひだ ・ アレーンひだ		・ 図示

生地の仕様

消防法で定める防炎性能の表示があるもの

ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は[G]とする。

暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり

※ 300mm以上

15

カーテンレール

材料による区分	※ アルミ合金又はアルミ合金の押出成型材
強さによる区分	※ ステンレス製
仕上げ	※ 10～90
形状	※ アルミ ※ 角形

16

ブラインドボックス及びカバーボックス

溝型×深さ (mm)	・ 90×150 ・ 120×80 ・ 120×150 ・ 150×80 ・ 図示
材質	・ 集成材 ・ 仕上げ ・ アルミ製 押出し型材 (市販品) 標準仕様書14.2.11による種別 色合い ・ 標準色 ・ BC-1種 ・ 特注色 ・ 鋼製 ・ 仕上げ

17

天井点検口

材質	寸法	形式	外枠	内枠
※ アルミ製 ・	○ 450×450 ・ 600×600	○ 一般形 ・ 屋内外用 ○ 屋内用 ・ 気密形	○ 額縁タイプ ・ 目地タイプ	○ 額縁タイプ ・ 目地タイプ

(品質・性能、試験方法は別表による)

18

床点検口

材質	寸法	形式	備考
・ アルミ製 ○ ステンレス ・ 鋼製	・ 450×450 ○ 600×600 ○ 800×800	○ 一般形 ・ 密閉形	・ 鍵付き

密閉形とは、引、押等動作時の構造にパッキンを装着したものとす。

(品質・性能、試験方法は別表とする)

19

耐震シット

方向	幅 (mm)	タイプ	耐火性能	防水性能	備考
・ 垂直	・ 25	・ 完全 (全貫通型)	・ 耐火型 ・ 非耐火型	・ 有り ・ 無し	
・ 水平	・ 25				

目地

目地	内壁	外壁
目地材	・ シーリング材 (見え掛かり部のみ) ・	・ シーリング材 (見え掛かり部のみ) ・ シーリング材 (内外共)
目地寸法	・ スラット幅×深さ10	・ スラット幅×深さ10

目地材の材質は標準仕様書表9.7.1による

20

止水板

形式	・ 差込式 ・ 据置式 ・ 壁張り式
施工箇所	・ 図示

21

エクスパンションジョイント金物

建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による。

22

くつふきマット

材質	受け枠	備考
・ 塩化ビニル又はゴム製 ・ 硬質アルミ合金製 ・ ステンレス鋼 (SUS304) 製 ・	・ ステンレス鋼 (SUS304) 製 ・ 硬質アルミ合金	

23

流し台ユニット

材質	寸法 (mm)			備考	
	W	D	H		
・ 流し台	・ 1200 ・ 1500 ・ 1800	・ 550 ・ 600 ・ 650	・ 800 ・ 850	市販品 ドリップ付き 天板ステンレス製	
	・ コンロ台	・ 600	・ 550 ・ 600 ・ 650	・ 620 ・ 670	市販品 ドリップ付有り 天板ステンレス
	・ つり戸棚	・ 1200 ・ 900	・ 450	・ 500 ・ 700	市販品
・ 水切り		・ 1200 ・ 900 ・ 600	—	—	市販品 ステンレス製 ・ 1段式

品質・性能

外観は、JIS A 4420「キッチン設備の構成材」の4.11による。

構成材は、JIS A 4420の8により試験を行ったとき、表1の規定による。

形状

※ 図示

24	旗竿					
	材種	形式	高さ (m)	操作方法	固定方法	備考
	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルミニウム合金製</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>テーパー式</li> <li>同一断面式</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>バンド式</li> <li>ロープ式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>埋込式</li> <li>ベース式</li> <li>バンド式</li> </ul>	
25	旗竿受金物					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>ステンレス製 (SUS304)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li></li> </ul>				
26	車止めさく					
	形式	材種	柱径、肉厚 (mm)	高さ (m)		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>上下式鎖内蔵式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>標準品</li> <li>スプリング式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ステンレス製</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li></li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>GL+700</li> </ul>	
27	フェンス					
	フェンスの種類	<ul style="list-style-type: none"> <li>ビニル被覆スチールバンドフェンス</li> <li>樹脂塗装メッシュフェンス</li> <li>鋼管フェンス</li> <li>アルミフェンス</li> </ul>				
	高さ	<ul style="list-style-type: none"> <li>図示</li> </ul>				
28	プレキャストコンクリート					(20. 3. 3) (20. 3. 3)
	コンクリートの設計基準強度					
	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 水セメント比55%以下、単位セメント量の最小値300kg/m<sup>3</sup>を満足する調合強度</li> <li>図示</li> </ul>					
	配筋	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 配筋を定めた計算書を監督職員に提出する</li> <li>図示</li> </ul>				
	取付け方法	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 図示</li> </ul>				
29	間知石及びコンクリート間知ブロック積み					
	種別	種類	質量区分	備考		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>間知石</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>花こう岩</li> <li>凝灰岩</li> </ul>				
	コンクリート間知ブロック		<ul style="list-style-type: none"> <li>A</li> <li>B</li> </ul>			
	積み方	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 谷積み</li> <li>布積み</li> </ul>				
	目塗り	<ul style="list-style-type: none"> <li>図示</li> </ul>				
	伸縮調整目地					
	材種	<ul style="list-style-type: none"> <li>図示</li> </ul>				
	厚さ	<ul style="list-style-type: none"> <li>図示</li> </ul>				
30	鋼製書架及び物品棚					
	種類	規格等	JISによる種類			
	鋼製書架	JIS S 1039の規格による	<ul style="list-style-type: none"> <li>1種</li> <li>2種</li> <li>3種</li> </ul>			
	鋼製物品棚		<ul style="list-style-type: none"> <li>4種</li> <li>5種</li> <li>6種</li> </ul>			
31	屋内掲示板					
	枠の材質	<ul style="list-style-type: none"> <li>アルミニウム製</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li></li> </ul>			
	表面の材質	<ul style="list-style-type: none"> <li>塩化ビニル発泡シート張り</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li></li> </ul>			
32	洗面カウンター					
	材種	<ul style="list-style-type: none"> <li>メラミン樹脂化粧板張り (芯材：集成材)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li></li> </ul>			
	奥行き (mm)	<ul style="list-style-type: none"> <li>約450</li> <li>約600</li> </ul>				
33	防煙垂れ壁					
	固定式					
	材質	厚さ (mm)	高さ (mm)	備考		
	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 網入り磨き板ガラス</li> <li>※ 網入り磨き板ガラス</li> <li>可動式</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 6.8</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 500</li> </ul>	7mm製枠付き		
	種類	材質	高さ (mm)	備考		
	垂直降下式 (巻取り型)	<ul style="list-style-type: none"> <li>不燃布 (不燃認定品)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>500</li> <li>800</li> </ul>	吊钩・レール <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 固定式 (壁埋込型)</li> <li>可動式 (天井収納型)</li> </ul>		
	回転降下式	鋼板製又はアルミニウム製	<ul style="list-style-type: none"> <li>500</li> <li>800</li> </ul>	表面仕上げ <ul style="list-style-type: none"> <li>※ 天井材張り</li> </ul>		
	降下機構	煙感知器連動及び手動開放装置 (埋込型)				
34	屋外掲示板					
	照明器具	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 有り</li> <li>無し</li> </ul>				
	施錠	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 有り</li> <li>無し</li> </ul>				
	製造所	<ul style="list-style-type: none"> <li></li> </ul>				
35	収納家具					
	合板類、MDF及びパーティクルボードの乾燥処理の放散量					※ F☆☆☆☆
	材質、形状、寸法	<ul style="list-style-type: none"> <li>※ 図示</li> </ul>				







16 錆止め塗装 [7. 3. 3] (8. 17. 2、4)

塗料の範囲

耐火被覆材の接着する面の塗装範囲

耐火被覆材の接着する面以外の塗装範囲

塗料の種別

下記以外の鉄鋼面は、7章「塗装改修工事」による

鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブで鉄骨に溶接されたものの内側の錆止め塗料の種別

A種

耐火被覆材が接着する面の塗料の種別

17 耐火被覆 (8. 18. 2～8)

種類、材料、工法等

種別	材料、工法	性能(耐火時間)	適用箇所(部位・部分)
耐火材吹付け	乾式吹付けロッキングール	-	
	半乾式吹付けロッキングール	-	
	湿式ロッキングール	-	
	-	-	
耐火板張り	繊維混入けい酸カシウム板	-	
	-	-	
耐火材巻付け	高断熱ロッキングール	-	
	-	-	
スズりモルタル塗り		-	
耐火塗料	-	-	

18 アンカーボルトの設置等 [7. 10. 3]

構造用アンカーボルトの形状及び寸法

構造用アンカフレームの形状及び寸法

建方用アンカーボルトの形状及び寸法

建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法

柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別

種別

A種

B種

厚さ

種別

A種

B種

19 鉄骨ブレース設置後の仕上げ (8. 22. 9)

図示による

20 あと施工アンカー (8. 2. 4)

材料等

金属系アンカー

引張耐力 ( ) kN

せん断耐力 ( ) kN

図示による

図示による

アンカー本体の径及び埋込み長さ

図示による ( )

セット方式

※ 本体打込み式改良型

図示による

接合筋の種類、径、長さ

図示による ( )

性能確認試験

試験方法及び試験数

図示による ( )

接着系アンカー

引張耐力 ( ) kN

せん断耐力 ( ) kN

図示による

図示による

アンカーの種類

※ 17 セル方式回転打撃式

図示による

接着剤の品質

有機系

無機系

図示による

アンカー筋の径及び埋込み長さ

図示による

アンカー筋の種類

図示による

アンカー筋の新設壁内への定着の長さ

図示による

性能確認試験

試験方法及び試験数

図示による

穿孔 (8. 12. 14)

埋込み配管等の探査方法

鉄筋探知機(金属探知機)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う

はつり出しによる

施工確認試験 (8. 12. 7)

試験方法

※ 引張試験機による引張試験

確認強度

図示による

21 柱底均しモルタル及びグラウト材 (8. 2. 12)

柱底均しモルタル

※ 無収縮モルタル

グラウト材

無収縮グラウト材の材質等

混和材	セメント系(酸化カルシウム及び水酸化カルシウム・シリカ・アルミナ等によって膨張する性質を利用するもの)とする。
セメント	JIS R 5210「ポルトランドセメント」に適合した普通または高強度ポルトランドセメントとする。
砂	土木学会コンクリート標準示方書に定められた品質を有するもので、特に精選されたものを絶対乾燥状態で使用する。ただし、現場調合形に使用される砂の乾燥状態については、規定しない。

無収縮グラウト材の品質及び試験方法

コンスタンス	JISによる下流時間
ブリーディング	練混ぜ完了から3分以内の値：8±2%
凝結時間	凝結開始時間：1時間以上
	終結時間：10時間以内
無収縮性	材齢 7日 収縮しない
圧縮強度	材齢 3日 20.0N/mm <sup>2</sup> 以上
	材齢 28日 40.0N/mm <sup>2</sup> 以上
塩化物量	0.30kg/m <sup>3</sup> 以下
試験方法	1) NEXCO試験方法 試験法 312-1999「無収縮モルタル品質管理試験方法」による。 フレイク法と現場調合形で混和材が同一の場合の試験はフレイクス形のみとする。 2) 塩化物量の試験は、JIS A1144「フレッシュコンクリート中の水の塩化物イオン濃度試験方法」による。

22 連続繊維シート (8. 2. 13) (8. 24. 6)

連続繊維の材料

炭素繊維

アラミド繊維

引張強度(含浸硬化後)

( ) N/mm<sup>2</sup>

ヤング係数(含浸硬化後)

( ) N/mm<sup>2</sup>

下地処理

ひび割れ部改修

範囲

図示による ( )

工法の種類

柱及び梁の隅角部の面取りの大きさ

図示による ( )

連続繊維補強材の強度試験

引張強度試験

※ JIS A 1191(コンクリート用連続繊維シートの引張試験方法)による

試験数量

図示による ( )

付着強度試験

※ JIS A 6909(建築用仕上塗材)による

試験数量

図示による ( )

23 仕上げ (8. 24. 7)

補強工事後の仕上げ

図示による ( )

24 耐震スリットの方式、幅及び深さ (8. 25. 2)

方式

完全

部分

幅及び深さ

図示による ( )

設置箇所

図示による ( )

25 耐震スリットの施工前の埋込み配管等の探査 (8. 12. 4)

部分撤去部の埋込み配管等の探査方法

鉄筋探知機(金属探知機)により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う

はつりだしによる

26 耐震スリット充填材の挿入及び周囲補修等 (8. 25. 2)

耐火材

使用箇所及び仕様

図示による ( )

遮音材

使用箇所及び仕様

図示による ( )

撤去部の補修

※ 撤去材と同一材で補修

27 埋戻し及び盛土 (8. 28. 3)

材料及び工法

材料 ( ) 工法 ( )

※ 改修標準仕様書表8. 28. 1による

A種 適用場所 ( )

B種 適用場所 ( )

C種 適用場所 ( )

D種 適用場所 ( )

土質 ( ) 受渡場所 ( )

(品質 細粒分(75μm以下)の含有率(重量百分率)の上限を50%未満とする)

28 杭地業 (8. 2. 15) (8. 28. 4) [4. 3. 8]

支持層の位置及び土質(基礎ぐいの先端位置含む)

図示による ( )

杭の材料、工法、寸法、施工方法等

図示による ( )

試験杭の位置、本数及び寸法並びに施工方法

図示による ( )

杭の継手の個所数、材料、工法等

図示による ( )

杭の溶接接手

技能資格者の技量

図示による ( )

溶接部の確認

図示による ( )

杭頭の処理

処理しない

処理する

処理方法(切断にとまなう補強方法含む)

図示による ( )

杭頭の中詰め材料

基礎のコンクリートと同調合のもの

杭の精度

水平方法の位置ずれ

杭径の1/4かつ100mm以下

評定等の評価内容による

建て込み時の杭の鉛直度

1/100以内

評定等の評価内容による

記録する施工状況等

図示による ( )

29 砂利地業 (8. 2. 15) (8. 28. 4)

材料[G]

再生ラップ

切込砂利又は切込砕石

砂利厚さ

※ 60mm

30 捨てコンクリート地業 (8. 2. 15) (8. 28. 4)

捨てコンクリートの厚さ

※ 50mm

コンクリートの種類

※ 普通コンクリート

設計基準強度

※ 18N/mm<sup>2</sup>

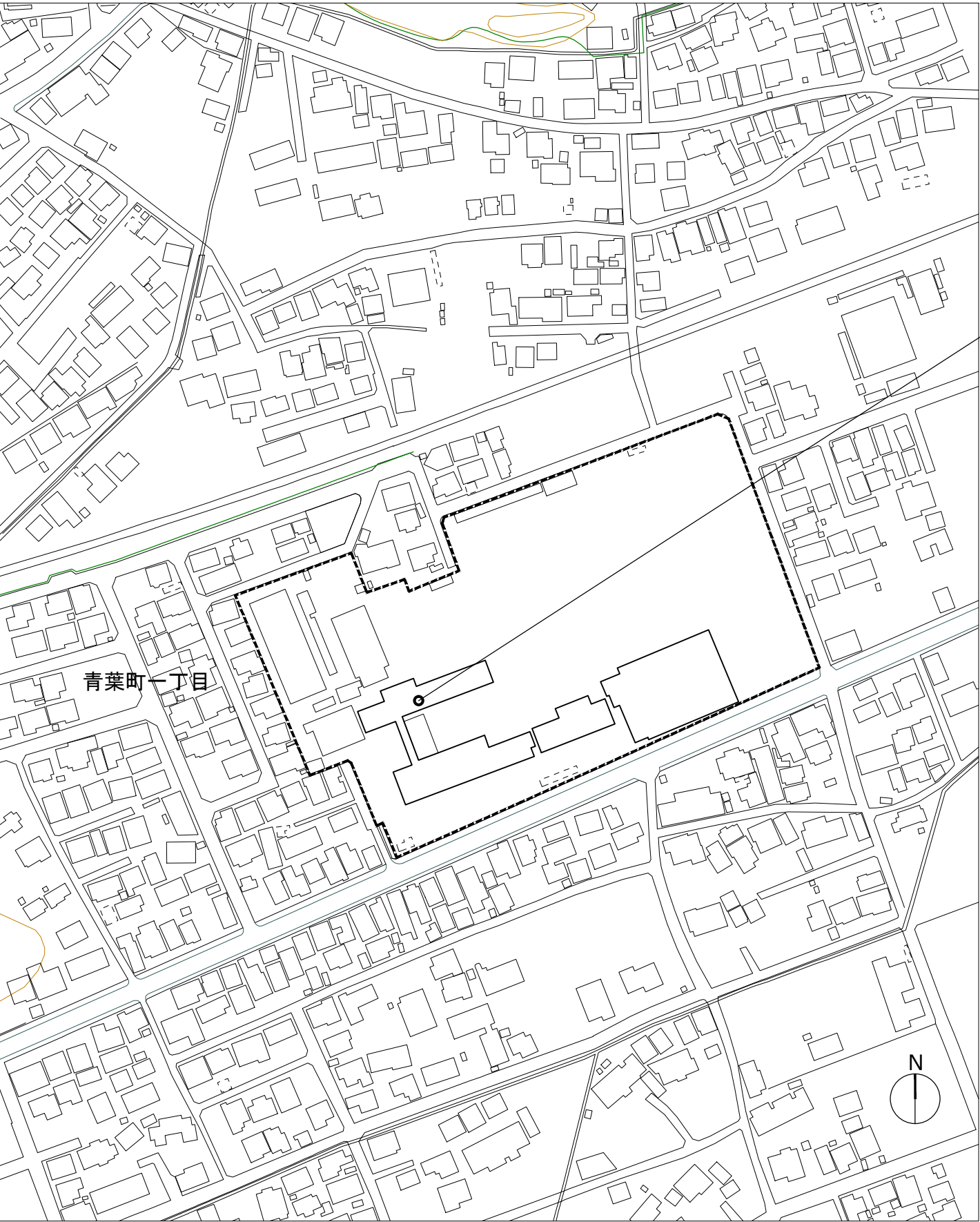
スラブ

※ 15cm又は18cm



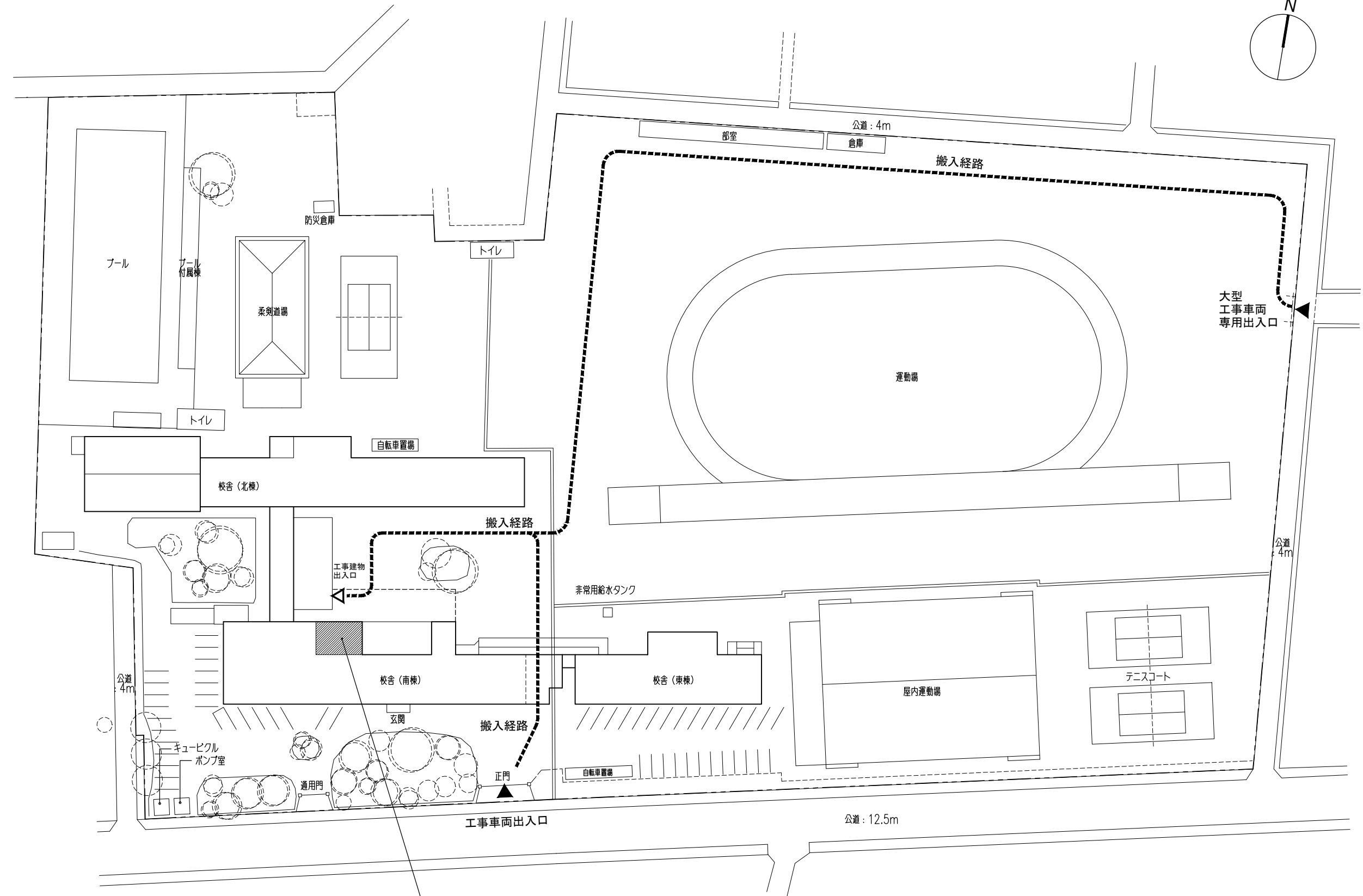
施 工 条 件 特 記 仕 様 書										道 路 関 係	2	明示項目	適用項目	明示が必要な場合		明示事項		内容							
明示項目		適用項目	明示が必要な場合		明示事項		内容																		
明示項目		適用項目	明示が必要な場合		明示事項		内容																		
1. 工 程 関 係	1	関連工事との調整	○	他の工事の開始又は完了の時期により、当該工事の施工時期、全体工期等に影響がある場合	影響を受ける部分		現場施工は学校運営上、支障がないものを除き、夏季休業中に完成させること。					6. 仮 設 備 関 係	1	仮設備 （仮土留、仮橋、足場等）	仮設備を他の工事に引き渡す場合及び引き継いで使用する場合	仮設備の仕様		工事特記仕様書、図示による。							
					影響を受ける工事内容											仮設備の期間									
					関連する工事内容											仮設備の条件									
	2	施工時期、時間の制限	○	施工時期、施工時間及び施工方法が制限される場合	制限される施工内容		制限される施工時期・施工時間		制限される施工方法		※設計書工事概要欄参照	7. 建 設 副 産 物	1	建設発生土の搬出	建設発生土が発生する場合	受入場所及び仮置き場所までの距離		工事特記仕様書による。							
					制限される施工時期・施工時間		夏季休業中																		
					制限される施工方法																				
	3	関係機関等との協議	○	当該工事の関係機関等との協議に未成立のものがある場合	制約を受ける内容		協議内容		協議成立見込時期		夏季休業中	7. 建 設 副 産 物	2	建設副産物の利用	現場内での再利用又は減量化が必要な場合	現場内利用の内容		工事特記仕様書による。							
					影響を受ける部分				減量化の内容																
					影響を受ける内容																				
	4	地下埋設物及び埋蔵文化財の事前調査	○	工事着手前に地下埋設物及び埋蔵文化財等の事前調査を必要とする場合	調査項目		調査期間		建物内外給排水衛生ガス設備配管類		工事着手前	7. 建 設 副 産 物	3	建設副産物及び建設廃棄物の処理	建設副産物及び建設廃棄物が発生する場合	処理方法、処理場所等の処理条件		建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律、資源の有効な利用の促進に関する法律、廃棄物の処理及び清掃に関する法律その他関係法令等によるほか、建設副産物適正処理推進要綱に従い適切に処理する。							
					調査期間		工事着手前		再資源化処理施設又は最終処分場を指定する場合							受入場所、距離等の処理条件									
					地下埋設物等の移設が予定されている場合		移設期間																		
	5	作業不能日数			休日日数以外の作業不能日数						8. 工 事 支 障 物 件	1	工事支障物件協議	地上、地下等における占用物件の有無及び占用物件等で工事支障物が存在する場合	支障物件名、管理者名等		支障物件名		管理者名		支障物件の位置				
	6	指定部分		工事の規模（範囲）及び工期について指定した部分がある場合	当該工事の規模（範囲）		当該工事の工期								支障物件の移設時期		工事方法		防護						
完成時の各種検査までに、別途設備工事の試運転調整等を完了しなければならない場合					試運転調整等の適正期間の確保																				
2. 用 地 関 係	1	仮用地等として官有地の提供		施工のための仮用地等として施工者に、官有地等を使用させる場合	場所・範囲		時間・時期				9. 排 水 関 係	1	排水処理	排水の工法、排水処理の方法及び排水の放流先等を指定する場合	排水工法、排水処理の方法等		排水工法		排水処理の方法		放流先				
					使用条件										予定される排水量		排水の水質基準		放流費用						
					復旧方法																				
3. 公 害 関 係	1	公害防止 （騒音、振動、粉塵、排出ガス等防止）	○	工事に伴う公害防止のため、施工方法、建設機械・設備、作業時間等の指定が必要な場合	施工方法、建設機械・設備、作業時間		※使用すべき建設機械の適用については工事特記仕様書による。				10. 棄 液 注 入 関 係	1	棄液注入	棄液注入を行う場合	設計条件、施工工法等		設計条件		施工工法		材料種類				
					事前・事後調査の区分		調査時期		未然に防止するための必要な調査方法						未然に防止するための必要な調査範囲										
					未然に防止するための必要な調査方法		未然に防止するための必要な調査範囲																		
	2	騒音、振動、地盤沈下、地下水枯渇等の防止調査		工事の施工に伴って発生する騒音、振動、地盤沈下、地下水の枯渇等が予測される場合	事前・事後調査の区分		調査時期		未然に防止するための必要な調査方法						未然に防止するための必要な調査範囲		11. そ の 他	1	工事現場発生品	工事現場発生品がある場合	品名・数量、現場内での再使用の有無 引渡場所		工事特記仕様書による。		
					調査時期																				
4. 安 全 対 策 関 係	1	交通安全施設		交通安全施設等を指定する場合	指定の内容		指定の期間				11. そ の 他	2	支給品及び貸与品	支給材料及び貸与品がある場合	品名・数量・品質		規格又は性能		引渡場所・引渡期間						
					制限される施工方法		制限される作業時間帯																		
					防護施設の内容																				
	3	落石、雪崩、土砂崩落の防護施設		落石、雪崩、土砂崩落に対する防護施設が必要な場合	防護施設の内容										3	関連機関との近接協議		近接協議に係る条件及び内容							
4	交通誘導員の配置	○	交通誘導員の配置を指定する場合	延べ人数		交通誘導警備員A		交通誘導警備員B		4人		4	架設工法	架設工法を指定する場合	施工方法										
				配置時間		交通誘導警備員A		8時～17時まで（8時間）		交通誘導警備員B					8時～17時まで（8時間）		施工条件								
5. 工 事 用	1	一般道の使用		搬入経路、使用時間、使用時間帯等に制限がある場合	制限される工事用資機材の搬入経路		制限される使用期間		制限される使用時間帯		7	部分使用	部分使用を行う必要がある場合	部分使用箇所											
					搬入、搬出路の使用中和及び使用後の処置が必要である場合		使用中・使用後の処置内容																		





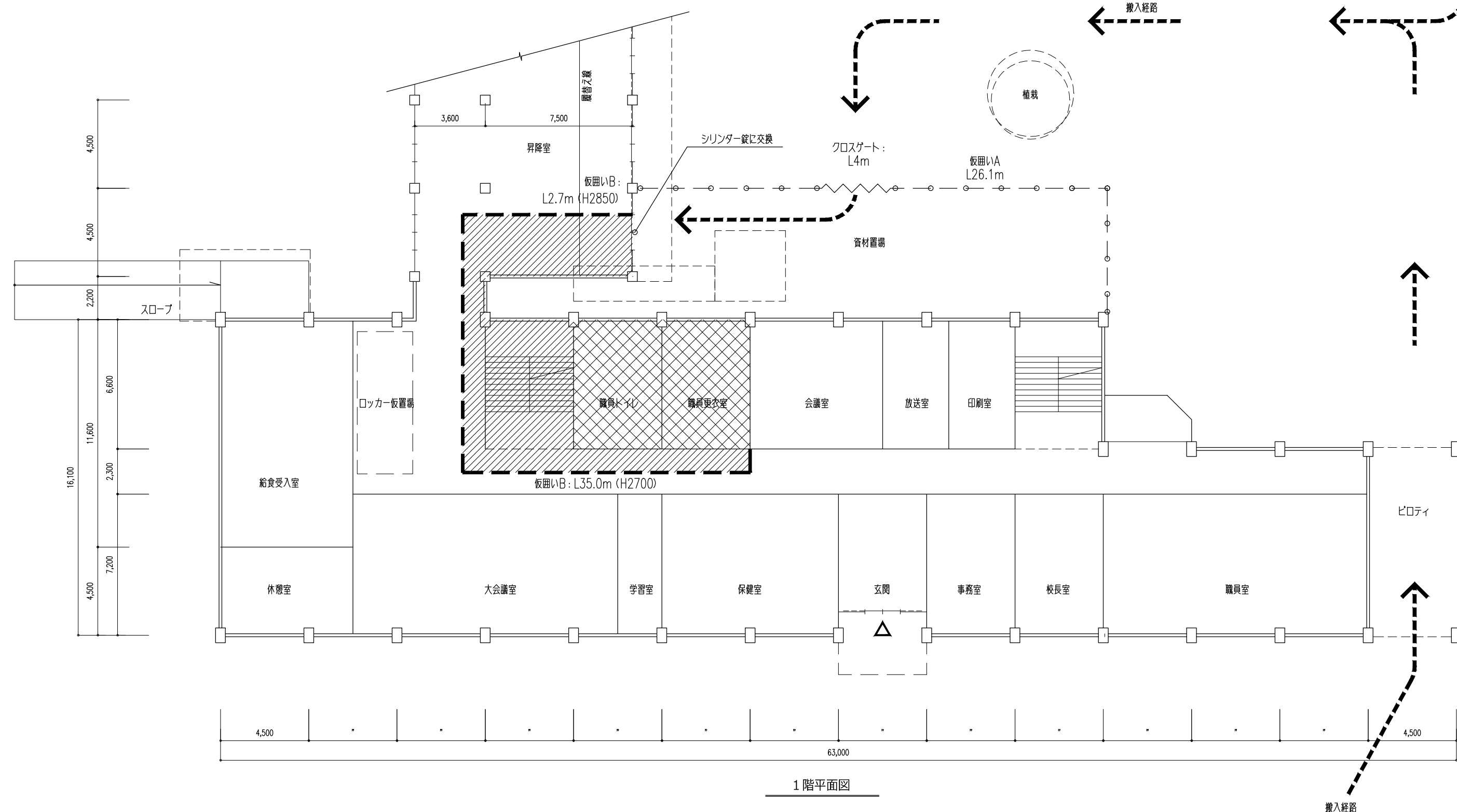
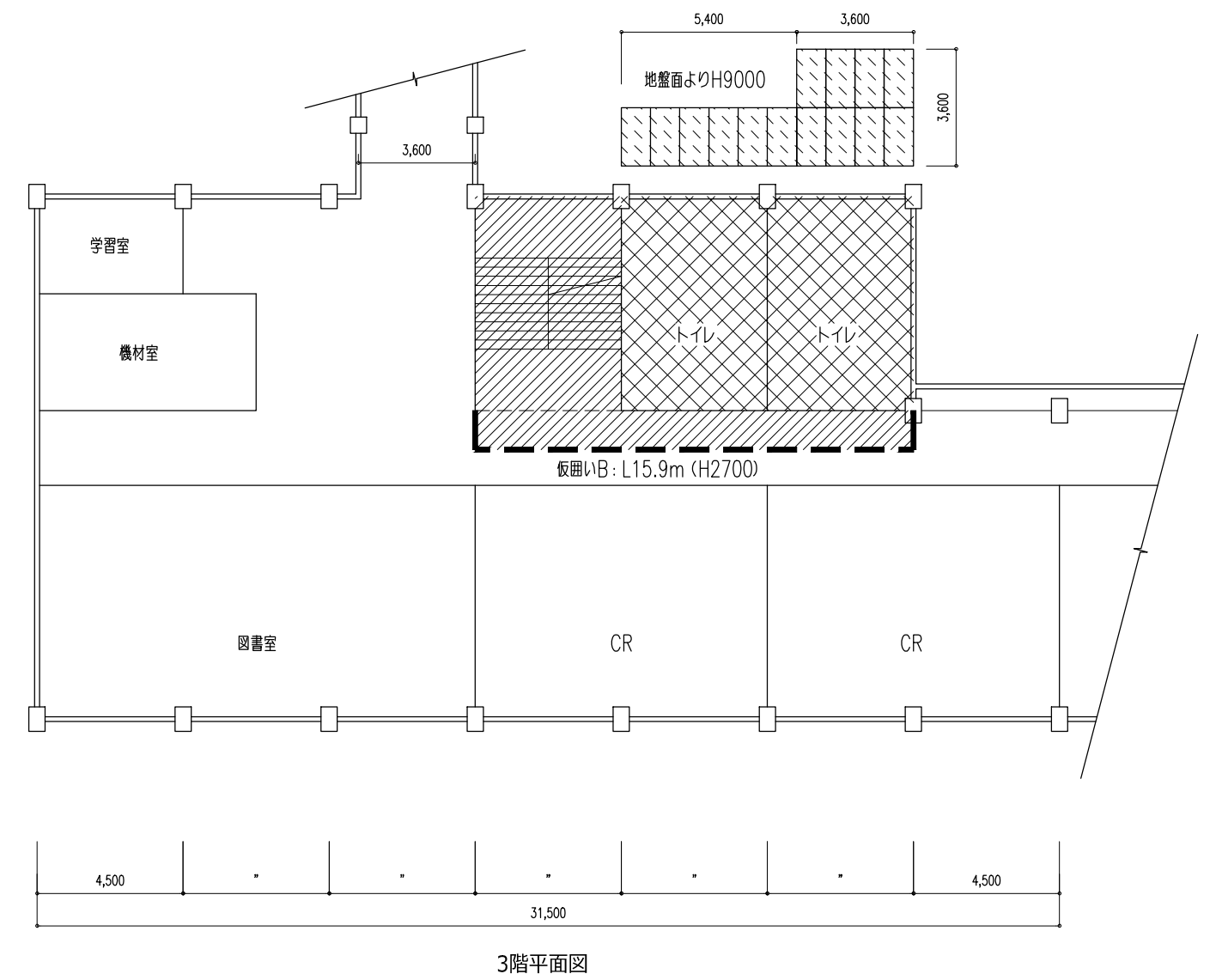
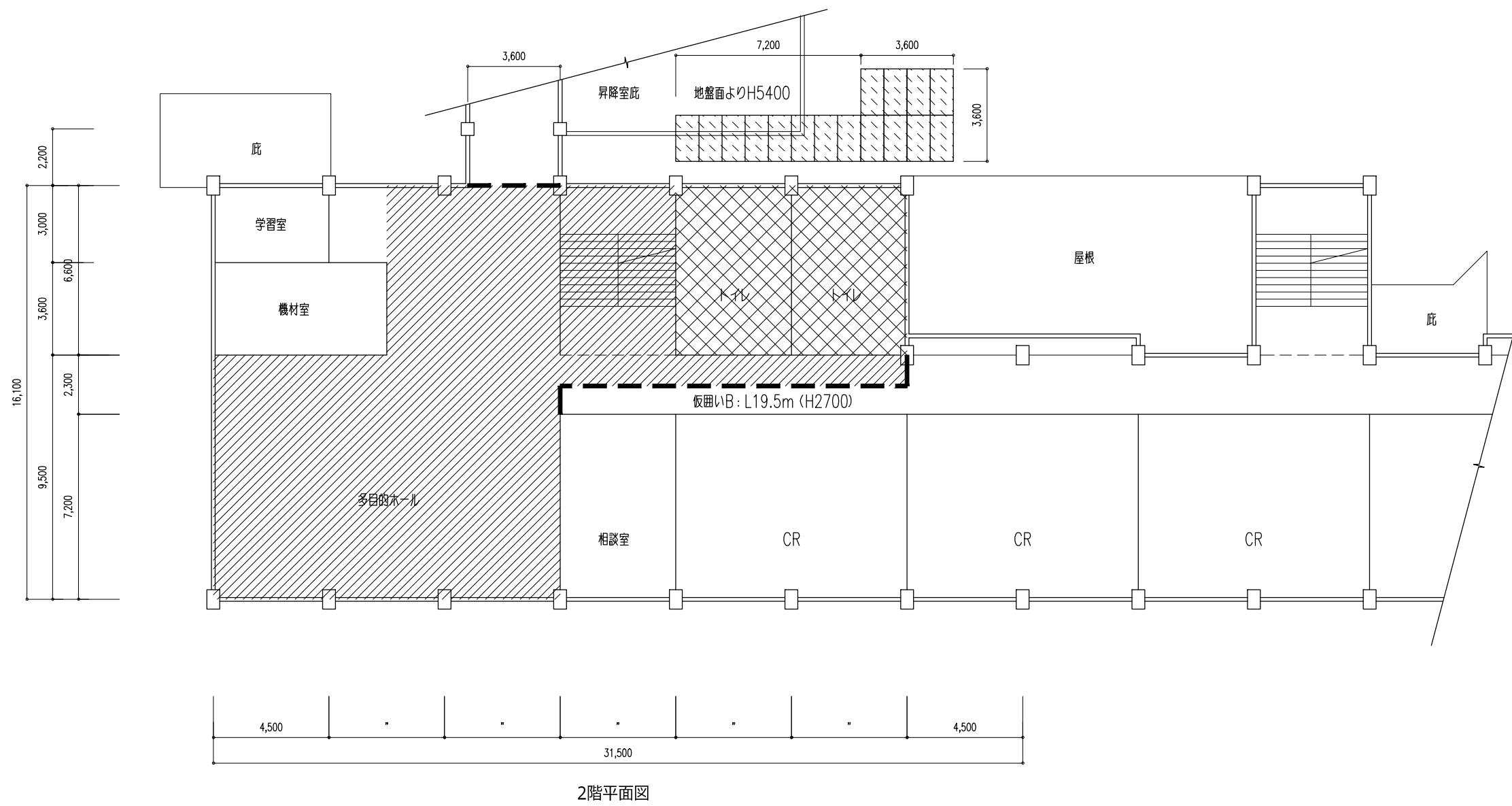
工事概要	工事名称	令和7年度 青島中学校トイレ洋式化等改修工事
	施設名称	青島中学校 校舎南棟 1～3階 トイレ
	施設の場所	藤枝市 青葉町一丁目 地内
	改修工期	夏季休業中 ・ 現場施工は学校運営上支障がないものを除き、夏季休業中に完成させること。 ・ 仮設計画等は工事着手前に施設管理者と協議の上決定すること。 ・ 工事車両進入路は生徒および関係者の通路となるため通行には十分注意すること。
	工事内容	・ 洋式化便器の改修 ・ 小便器の改修 ・ その他の衛生器具の改修 ・ 既設配管の改修 ・ 床乾式化による改修 ・ その他の内装改修 ・ 照明器具他電気設備の改修
	備考	・ ガス埋設管の安全性について － 工事着手前にガス業者への照会を行い、都市ガス取出分岐位置および埋設管の有無を現地にて確認し、必要に応じて安全対策を施すこと。 (参考：宅地引込管あり・低圧・ポリエチレン管・50mm)

工事場所  
藤枝市青葉町一丁目 地内



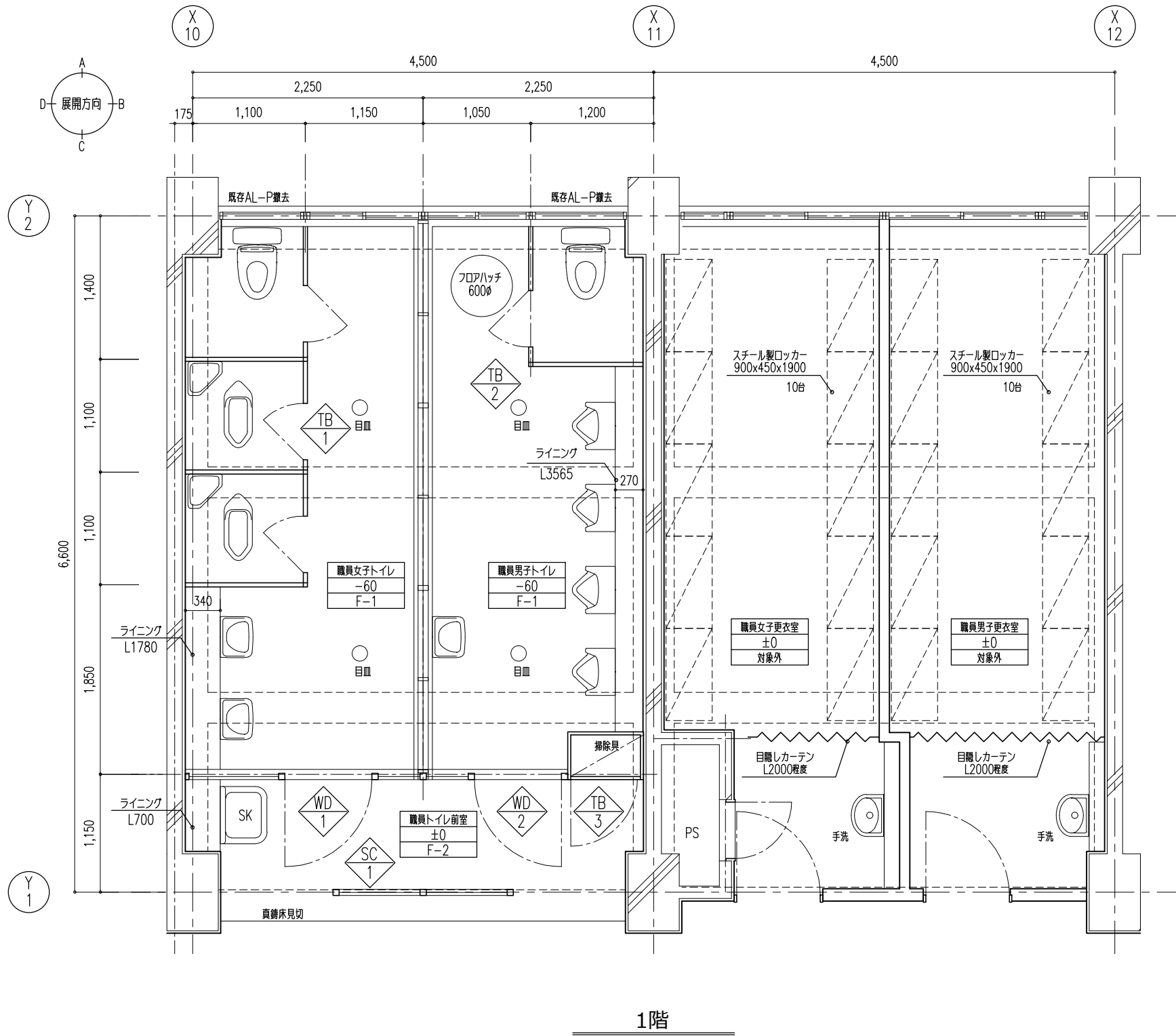
改修工事箇所



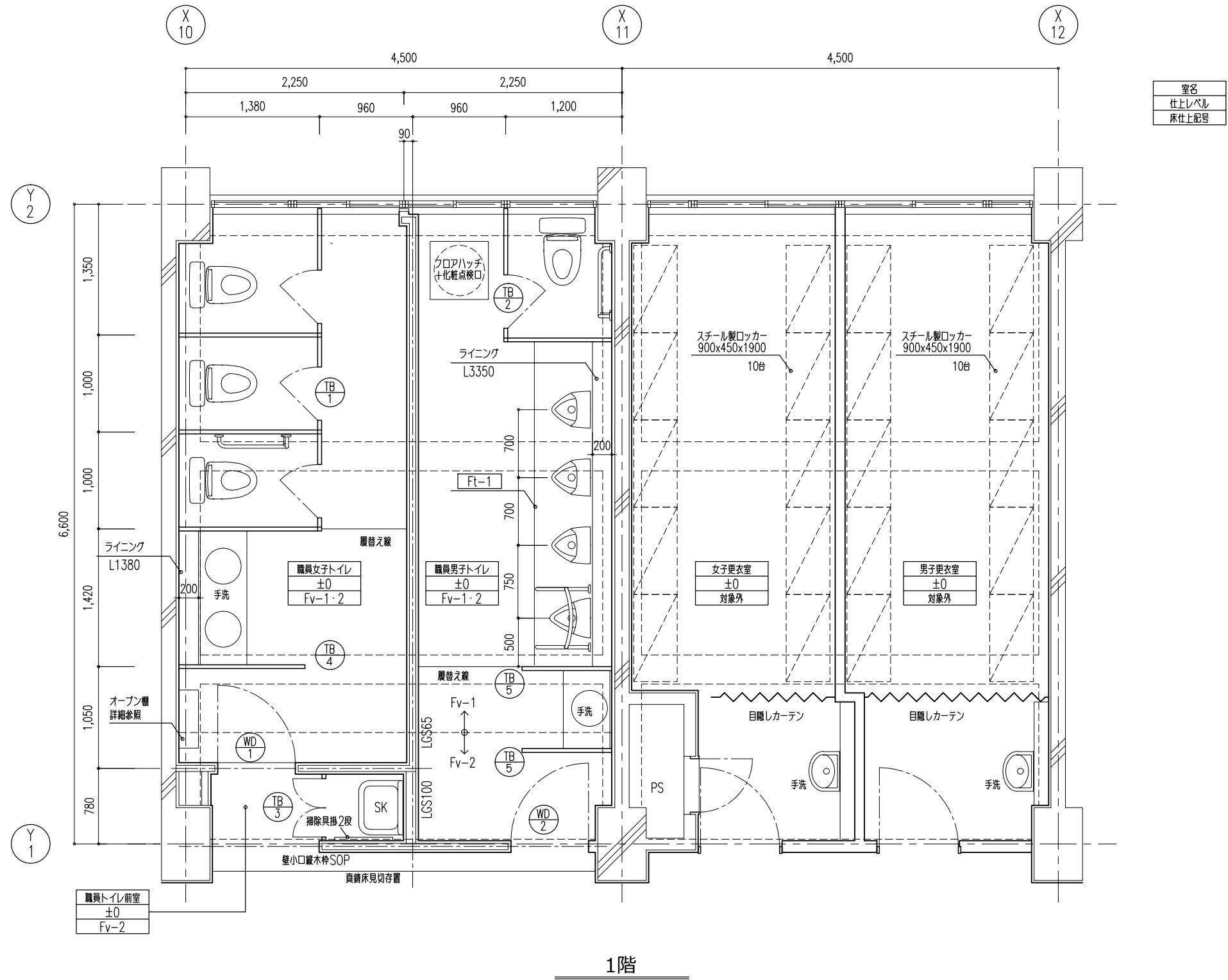


- 凡例
- |  |                    |
|--|--------------------|
|  | : 改修工事範囲           |
|  | : 工事期間利用可能範囲       |
|  | : 外部足場 (ステージ足場) 範囲 |
- : 仮囲いA  
(ガードフェンスH1800\_スチールベース)
- — — : 仮囲いB  
(LGS65\_PB9.5片面壁、CH2700 (2400) まで立上、床シート養生)
- 特記事項
- 外部足場はくさび繋結式足場(建地幅900)を使用して設置のこと
  - 外部足場には落下物に対する防護シート(ネット状養生シート2種)を設置のこと
  - 工事車両の入退場は敷地南側(正門)を使用する。(ただし大型車両の際は学校担当者と協議の上、東側通用門を利用可)
  - 構内の車両運搬は生徒・職員の利用を想定し安全に十分配慮すること
  - 工事車両の駐車位置は学校担当者の承認を得ること
  - 仮設物設置に際して必要な安全対策(落下防止を含む)を施すこと
- 職員更衣室の備品等について
- ・工事着手前に当該居室の備品(※)を所定の場所に移動、別置保管養生すること  
(※所定の場所は学校職員と協議の上決定する)
  - ・工事着手前に当該居室の床および壁のシート養生を施すこと
  - ・工事完了後に養生の撤去および備品(※)の再設置をすること
- 備品(※)リスト
- ・スチール製ロッカー 10台 : W900,D450,H1900
  - ・目隠しカーテン 2台 : L2000程度
- 昇降室施設について
- ・工事着手前に当該居室の南京錠をシンリナー錠に交換し管理すること
- 準備工事について
- ・工事着手前に当該1階トイレ直下の地下ビット(※)1区画分の洗浄・清掃を行うこと  
地下ビット(※) : 1区画あたりw・4,500x6,600x1,200

【現況図】



【改修図】



【現況・解体・改修 仕上表】			床			巾木		壁				天井		備考																																				
			記号	仕上	下地	記号	仕上	部位	記号	仕上	下地	記号	仕上	下地	廻縁	CH																																		
1F	職員用トイレ トイレ部	現況	F-1	磁器質25角モザイクタイル張	モルタル下地	なし		RC壁下部 RC壁上部 ライニング部 区画壁	W-1 W-2 W-3 W-4	半磁器質100角タイル張 プラスター塗 半磁器質100角タイル張 半磁器質100角タイル張	RC RC CB (H1200-6.5段) CB (H1200-RC立上り300+4段)	C-1	フレキシブルボード張 (t6) AEP塗装	LGS天井下地	木AEP	2,400																																		
																		解体	F-1	存置	存置	なし		RC壁 ライニング部 区画壁	W-1.2 W-3 W-3	存置 解体撤去 解体撤去	存置 CB下地共解体撤去 CB下地共解体撤去	C-1	解体撤去	C型鋼M/1-1解体撤去 (吊ボルト存置)	解体撤去	-	和便器周囲RCスラブ解体撤去 CB下地ライニング解体撤去 SUS上がり框解体撤去																	
																																		改修	Fv-1 Fv-2 Ft-1	重歩行長尺塩ビシート張_t12 重歩行長尺塩ビシート直張_t12 防汚陶板張_t6_D600_盲取タイプ	耐水合板_t12/パーティクルボード_t20/鋼製床 ・下地調整 耐水合板_t12/パーティクルボード_t20/鋼製床	Bv-1	ビニル巾木H100	RC壁下部 RC壁上部 ライニング部 新設WC壁	Wm-1 Wm-2 Wm-3 Wm-4	メラミン不燃化粧合板張_t13 メラミン不燃化粧合板張_t13 メラミン不燃化粧合板張_t13 メラミン不燃化粧合板張_t13	オンタイル工法 ・下地調整 耐水PB_t12.5x2/LGS-100@303 強化PB_t12.5x2/LGS-65@455 ※GW24kg/m3_t100充填	Cb-1	化粧PBt9.5	C型鋼M/1-1新設	なし	2,400	掃除用具掛、AL天井点検口450角、紙巻棚 床下点検口(乾式床部)新設 ライニング天板、窓台：ポストフォームt20 新規区画壁見切枠：集成材 t20-SOP	
																																																		職員用トイレ 前室部
		解体	F-2	解体撤去	存置	B-1	存置	RC壁 ライニング部	W-2 W-3	存置 半磁器質100角タイル張	存置 CB下地共解体撤去	C-3	解体撤去	解体撤去	-																																			
																	改修	Fv-2	重歩行長尺塩ビシート直張_t12	・下地調整	Bv-1 Bp-1	ビニル巾木H100 EP-G・モルタル下地調整	RC壁 新設前室壁 新設前室壁	Wp-1 Wp-3 Wm-4	EP-G EP-G メラミン不燃化粧合板張_t13	・プラスター下地調整 強化PB_t12.5x2/LGS-65@455 強化PB_t12.5x2/LGS-65,100@455,303	Cb-1	化粧PBt9.5	LGS天井下地新設	塩ビ	2,400	壁小口見切枠																		

＜特記事項＞

- ・強化PBは「耐水・防カビタイプ」とする。

・EP-G塗装の色味、艶は現場にて監督員の確認を得ること。

・メラミン不燃化粧合板はシーリング目地3mmとする。

・紙巻棚：ポリ合板フラッシュ (小口丸)、t20、D200
- ・オンタイル工法：既存タイル面に5mm以上の浮きを確認した場合は下地処理を施すこと。

・床仕上重歩行長尺塩ビシートは「サニタリウム (ロジナル工業)」同等品とする。

・清掃用具掛：35x75x600 (SOP) -2段、SUSフック：「ホームフックC型大 (スギタ) 同等品」各3ヶ

荒井建築計画事務所 1級建築士事務所

静岡県島田市大津通11-13 TEL: 0547-77-2355  
一級建築士登録 第 308615 号 荒井恵子  
一級建築士事務所登録 第 6778 号

令和7年度

青島中学校トイレ洋式化等改修工事

平面詳細図 1 (現況・改修)

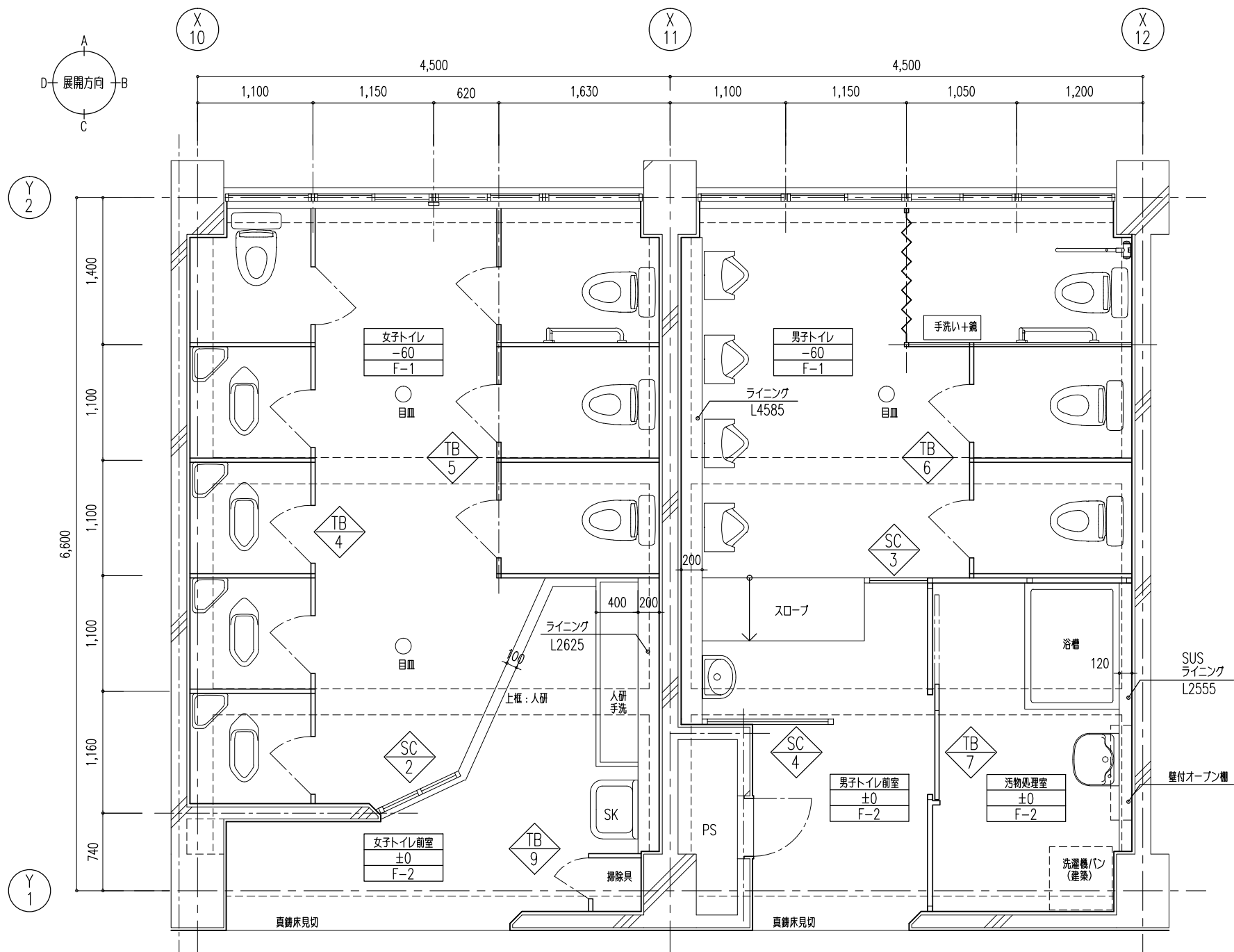
製図 荒井  
校閲 荒井  
日付 R6.10.18

縮尺 1/50

A-13

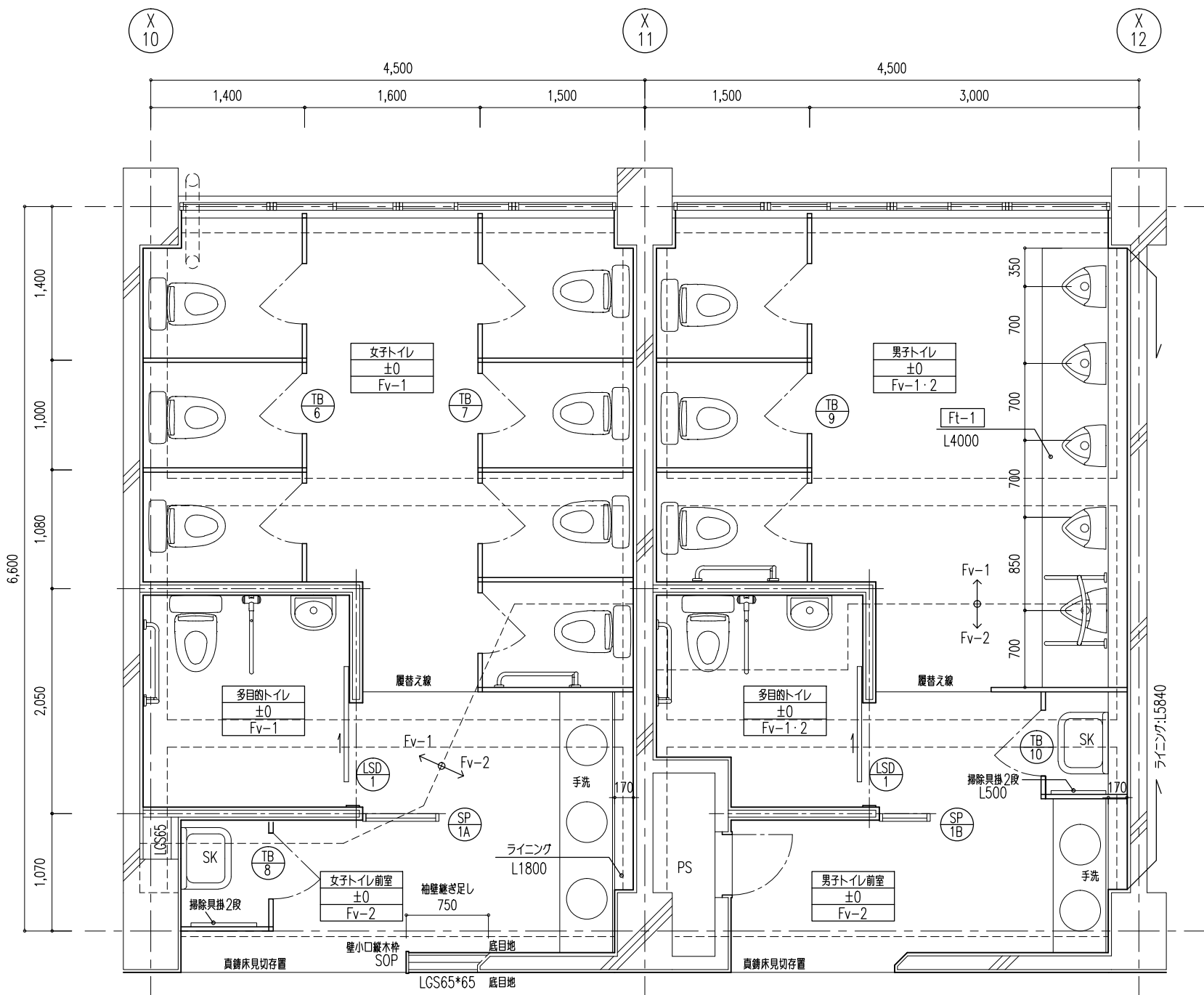


【現況図】



2階

【改修図】



2,3階

【現況・解体・改修 仕上表】			床			巾木		壁				天井		備考			
			記号	仕上	下地	記号	仕上	部位	記号	仕上	下地	記号	仕上	下地	廻縁	CH	
2ー3F	生使用トイレ トイレ部	現況	Fー1	磁器質25角モザイクタイル張	モルタル下地	なし		RC壁下部	Wー1	半磁器質100角タイル張	RC	Cー1	フレキシブルボード張 (t6) AEP	LGS天井下地	木AEP	2,400	
			Fー2	塩ビシート張り_t12	モルタル金コテ下地			RC壁上部	Wー2	プラスター塗	RC						
							ライニング部	Wー3	半磁器質100角タイル張	CB (H1200ー6.5段)							
		解体	Fー1	存置	存置	なし		RC壁	Wー1.2	存置/一部解体撤去	存置/一部解体撤去	Cー1	解体撤去	2F:C型鋼M1ー解体撤去	解体撤去	ー	和牌器周囲RCスラブ解体撤去
			Fー2	解体撤去	存置 (クレンモルタル清掃)			ライニング部	Wー3	解体撤去	CB下地共解体撤去			3F:M1ーのみ解体撤去 (吊ボルト存置)			CB下地ライニング解体撤去 人研流しおよび上がり板解体撤去 RC袖壁一部およびモルタルスロープ解体撤去
	改修	Fvー1	重歩行長尺塩ビシート張_t12	耐水合板_t12/パーティクルボード_t20/鋼製束	Bvー1	ビニル巾木H100	RC壁下部	Wmー1	メラミン不燃化粧板張_t13	オンタイル工法	Cbー1	化粧PBt9.5	2F:C型鋼M1ー新設	なし	2,400	掃除用具掛、AL天井点検口450角、紙巻棚	
		Fvー2	重歩行長尺塩ビシート直張_t12	・下地調整			RC壁上部	Wmー2	メラミン不燃化粧板張_t13	・下地調整			3F:M1ー新設			ライニング天板・窓台：メラミン化粧板圧着成形品_t120	
		Ftー1	防汚陶板張_t6_D600_盲取タイプ	耐水合板_t12/パーティクルボード_t20/鋼製束			ライニング部	Wmー3	メラミン不燃化粧板張_t13	耐水PB_t12.5x2/LGSー100@303						新規壁小口木枠：SOP	
							新設WC壁	Wmー4	メラミン不燃化粧板張_t13	強化PB_t12.5x2/LGSー65@455 ※GW24kg/m3_t100充填							
生使用トイレ 前室部	現況	Fー2	塩ビシート張_t12	モルタル金コテ下地	Bー1	モルタル金コテH120AEP	RC壁	Wー2	プラスター塗	RC		※トイレ部に同じ		木AEP	2,400		
	解体	Fー2	解体撤去	存置 (クレンモルタル清掃)	Bー1	存置	RC壁	Wー2	存置/一部解体撤去	存置/一部解体撤去		※トイレ部に同じ		解体撤去	ー		
改修	Fvー2	重歩行長尺塩ビシート直張_t12	・下地調整	Bvー1	ビニル巾木H100	RC壁	Wpー1	EPーG	・プラスター下地調整		※トイレ部に同じ		塩ビ	2,400	袖壁付け足し部小口タテ枠：木SOP		
				Bpー1	EPーG*モルタル下地調整	新設前室壁	Wpー3	EPーG	強化PB_t12.5x2/LGSー65@455						壁点検口再塗装		
						廊下側袖壁	Wmー4*	メラミン不燃化粧板張_t13	強化PB_t12.5x2/LGSー65タフル@455								
					廊下側袖壁	Wpー3*	EPーG	強化PB_t12.5x2/LGSー65タフル@455									

＜特記事項＞

・強化PBは「耐水・防カビタイプ」とする。	・オンタイル工法：既存タイル面に5mm以上の浮きを確認した場合は下地処理を施すこと。
・EP-G塗装の色味、艶は現場にて監督員の確認を得ること。	・床仕上重歩行長尺塩ビシートは「サニタリウム (ロジール工業)」同等品とする。
・メラミン不燃化粧板はシーリング目地3mmとする。	・清掃用具巻：35x75x600 (SOP) -2段、SUSフック：「ホームフックC型大 (スギタ) 同等品」各3ヶ
・紙巻棚：ポリ合板フラッシュ (小口共)、t20、D200	

荒井建築計画事務所 1級建築士事務所

静岡県豊田市大津通11-13 TEL: 0547-77-2355  
一級建築士登録 第 308615 号 荒井恵子  
一級建築士事務所登録 第 6778 号

令和7年度

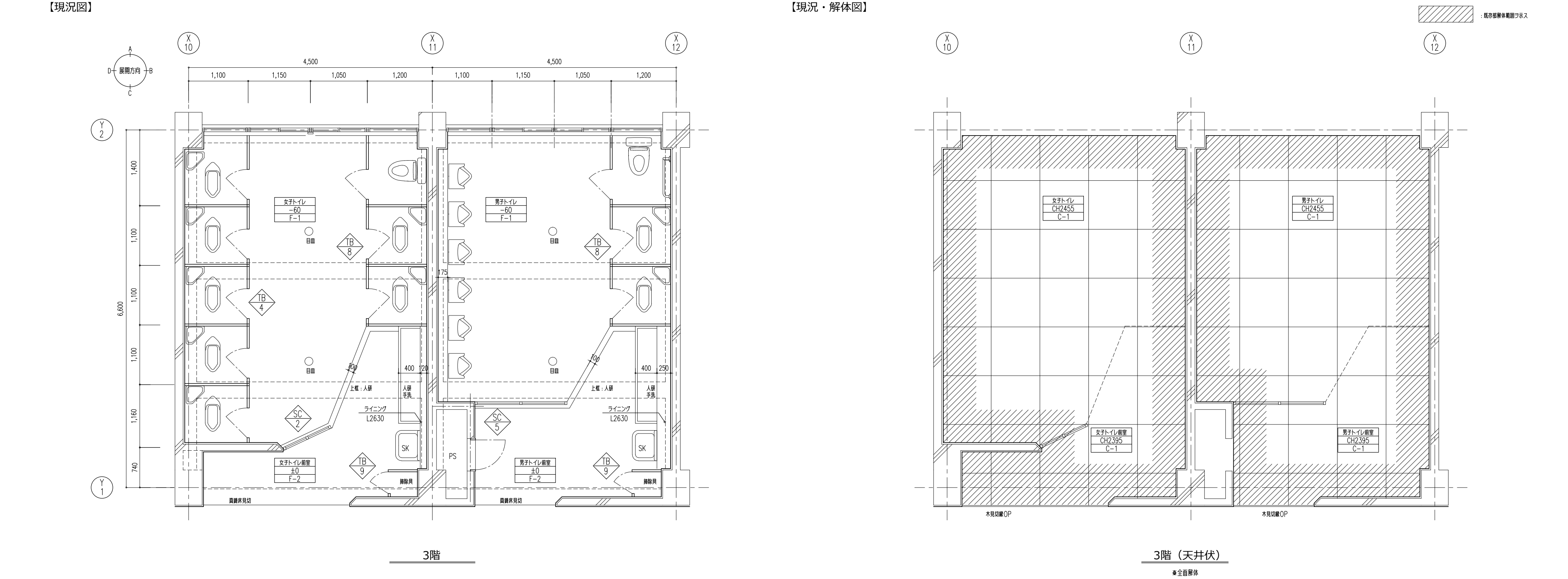
青島中学校トイレ洋式化等改修工事

平面詳細図2 (現況・改修)

製図 荒井  
校図 荒井  
日付 R6.10.18

縮尺 1/50

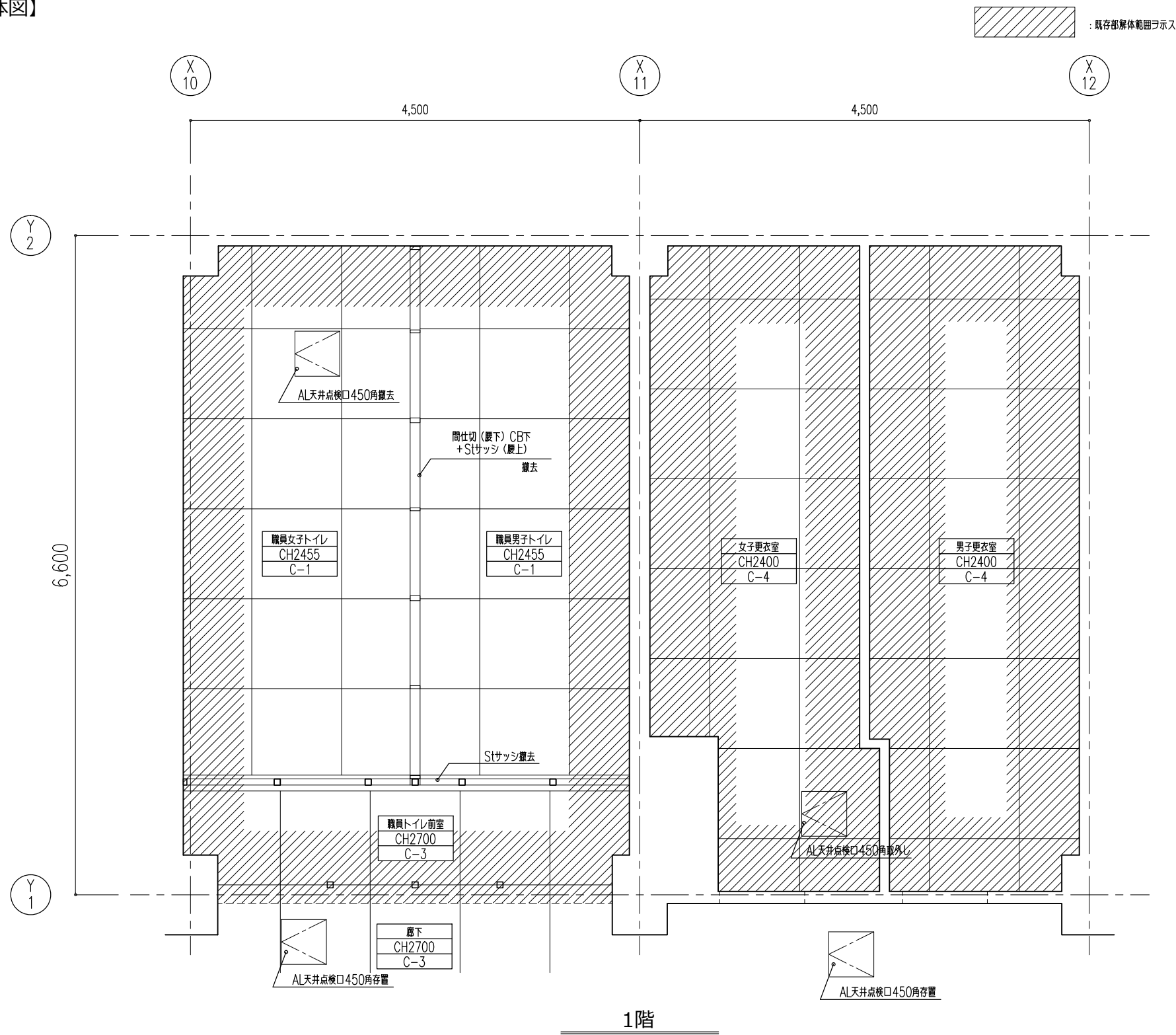
A-14



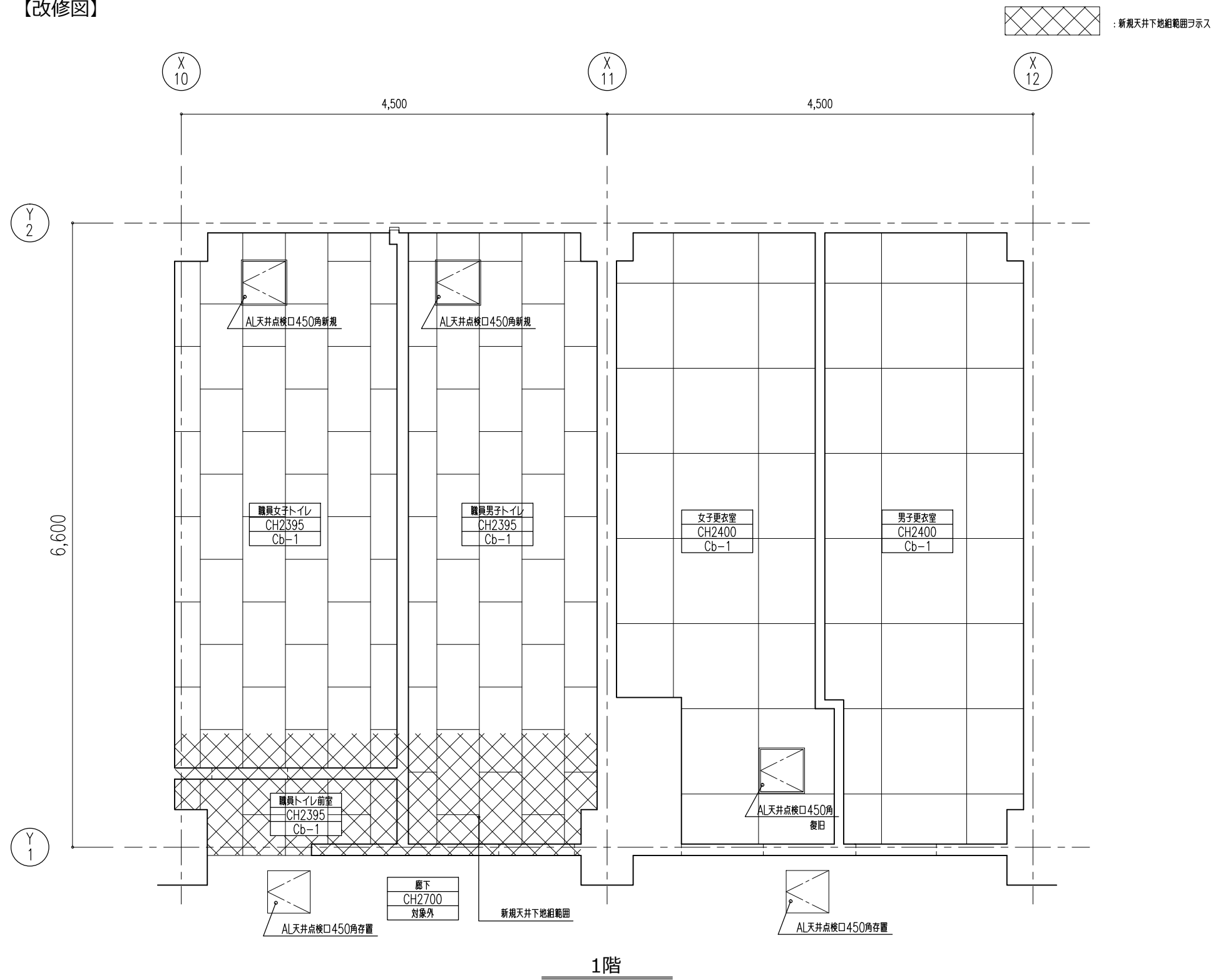
【現況・解体・改修 仕上表】			床			巾木		壁			下部：FL+1200ヨリ下 上部：FL+1200ヨリ上		天井			備考		
			記号	仕上	下地	記号	仕上	部位	記号	仕上	下地	記号	仕上	下地	廻縁	CH		
2～3F	生使用トイレ トイレ部	現況	F-1	磁器質25角モザイクタイル張	モルタル下地	なし		RC壁下部 RC壁上部 ライニング部	W-1	半磁器質100角タイル張	RC RC CB (H1200～6.5段)	C-1	フレキシブルボード張 (t6) AEP	LGS天井下地	木AEP	2,400		
			F-2	塩ビシート張り_t12	モルタル金コテ下地				W-2	プラスター塗								
									W-3	半磁器質100角タイル張								
		解体	F-1	存置	存置	なし		RC壁 ライニング部	W-1.2	存置/一部解体撤去	存置/一部解体撤去	C-1	解体撤去	2F:C型鋼M11-解体撤去 3F:M11-のみ解体撤去 (吊ボルト存置)	解体撤去	-		和牌器周囲RCスラブ解体撤去 CB下地ライニング解体撤去 人研流しおよび上がり板解体撤去 RC袖壁一部およびモルタルスロープ解体撤去 浴槽、洗濯機パン解体撤去
			F-2	解体撤去	存置 (クレンモルタル清掃)				W-3	解体撤去	CB下地共解体撤去							
	改修	Fv-1	重歩行長尺塩ビシート張_t12	耐水合板_t12/パーティクルボード_t20/鋼製束	Bv-1	ヒノクル巾木H100	RC壁下部 RC壁上部 ライニング部 新設WC壁	Wm-1	メラミン不燃化粧板張_t13	オンタイル工法	Cb-1	化粧PBt9.5	2F:C型鋼M11-新設 3F:M11-新設	なし	2,400	掃除用具掛、AL天井点検口450角、紙巻棚 ライニング天板・窓台：メラミン化粧板圧着成形品_t120		
		Fv-2	重歩行長尺塩ビシート直張_t12	・下地調整				Wm-2	メラミン不燃化粧板張_t13	・下地調整								
		Ft-1	防汚陶板張_t6_D600_盲取タイプ	耐水合板_t12/パーティクルボード_t20/鋼製束				Wm-3	メラミン不燃化粧板張_t13	耐水PB_t12.5/LGS-100@303 強化PB_t12.5x2/LGS-65@455 ※GW24kg/m3_t100充填								
	生使用トイレ 前室部	現況	F-2	塩ビシート張_t12	モルタル金コテ下地	B-1	モルタル金コテH120AEP	RC壁	W-2	プラスター塗	RC		※トイレ部に同じ		木AEP		2,400	
解体		F-2	解体撤去	存置 (クレンモルタル清掃)	B-1	存置	RC壁	W-2	存置/一部解体撤去	存置/一部解体撤去		※トイレ部に同じ	解体撤去	-				
改修	Fv-2	重歩行長尺塩ビシート直張_t12	・下地調整	Bv-1 Bp-1	ヒノクル巾木H100 EP-G*モルタル下地調整	RC壁 新設前室壁 廊下側袖壁 廊下側袖壁	Wp-1	EP-G	・プラスター下地調整		※トイレ部に同じ	塩ビ	2,400					
							Wp-3	EP-G	強化PB_t12.5x2/LGS-65@455 強化PB_t12.5x2/LGS-65タフル@455 強化PB_t12.5x2/LGS-65タフル@455									
							Wm-4*	メラミン不燃化粧板張_t13										
						Wp-3*	EP-G											



【現況/解体図】

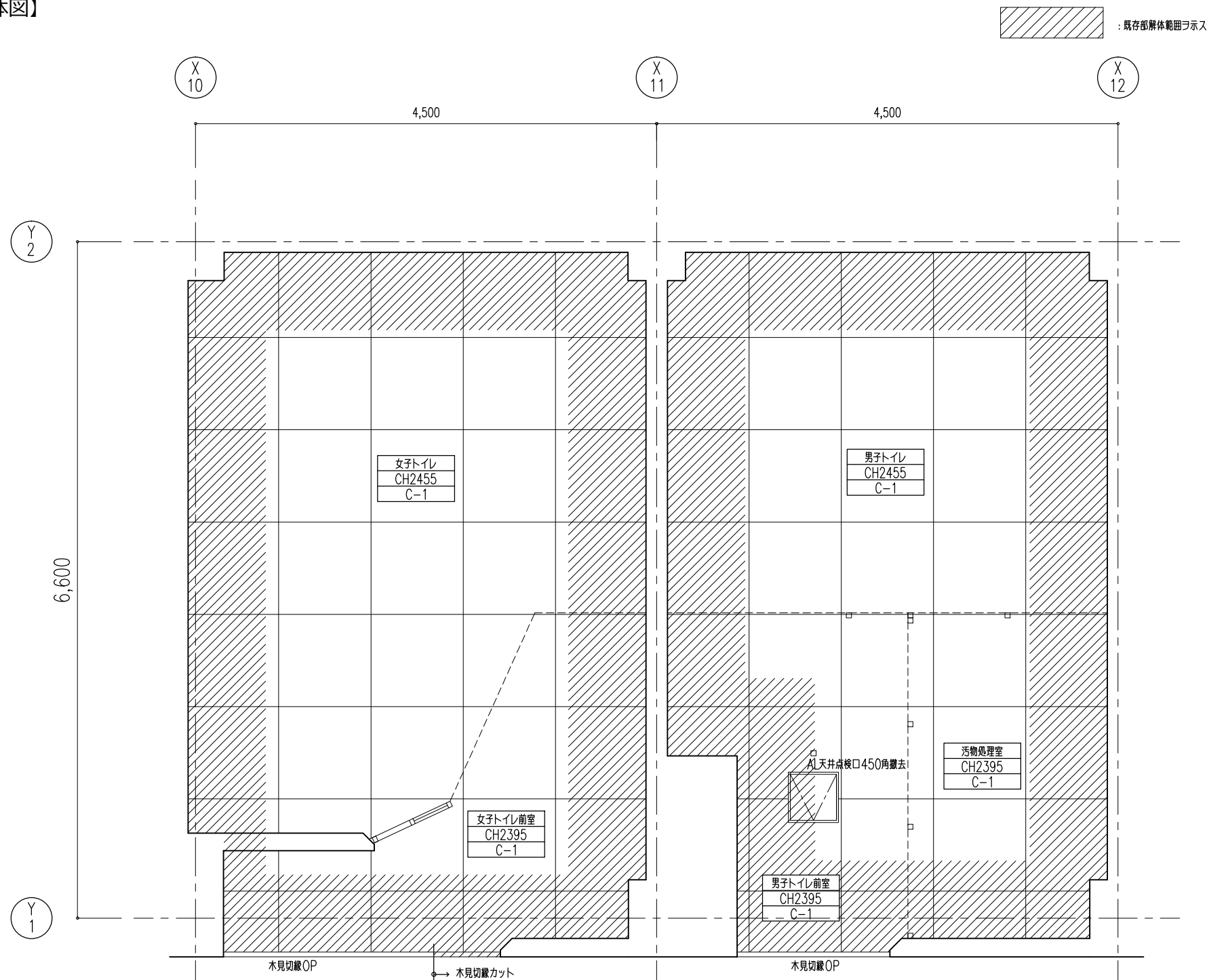


【改修図】



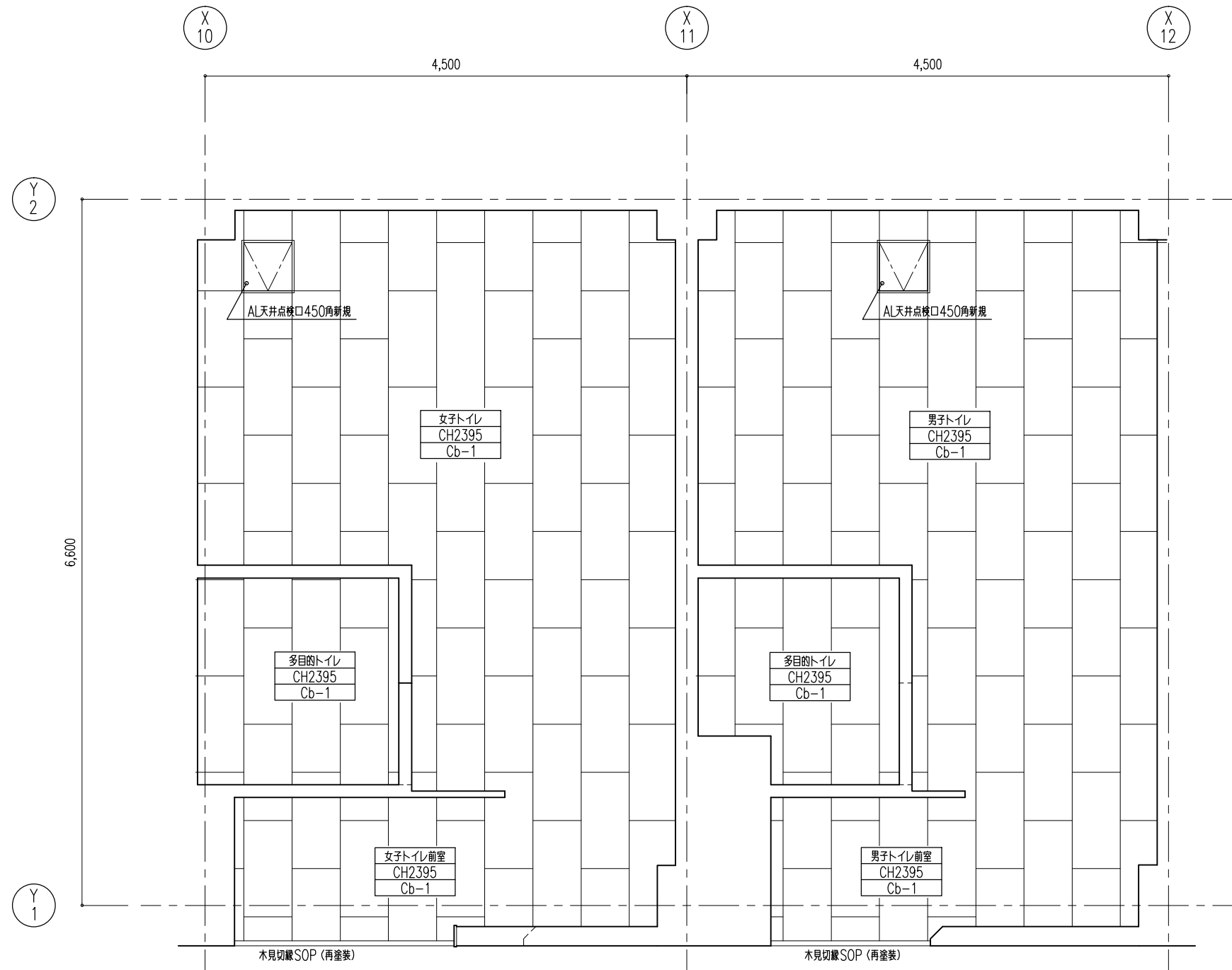
【現況・解体・改修 仕上表】			天井					備考
			記号	仕上	下地	廻縁	CH	
1F	職員用トイレ トイレ部	現況	C-1	フレキシブルボード張 (t6) AEP	LGS天井下地	木AEP	2,400	
		解体	C-1	解体撤去	C型鋼M/I-解体撤去	解体撤去	-	
		改修	Cb-1	化粧PBt9.5	C型鋼M/I-新設	なし	2,395	
	職員用トイレ 前室部	現況	C-3	PBt9.5目隠し張_EP	LGS天井下地	木AEP	2,700	
		解体	C-3	解体撤去	解体撤去	解体撤去	-	
		改修	Cb-1	化粧PBt9.5	LGS天井下地新設	塩ビ	2,395	
	職員男女更衣室	現況	C-4	化粧PBt9.5	LGS天井下地	木AEP	2,400	
		解体	C-4	解体撤去	C型鋼M/I-解体撤去	解体撤去	-	
		改修	Cb-1	化粧PBt9.5	C型鋼M/I-新設	塩ビ	2,400	

【現況/解体図】



2階

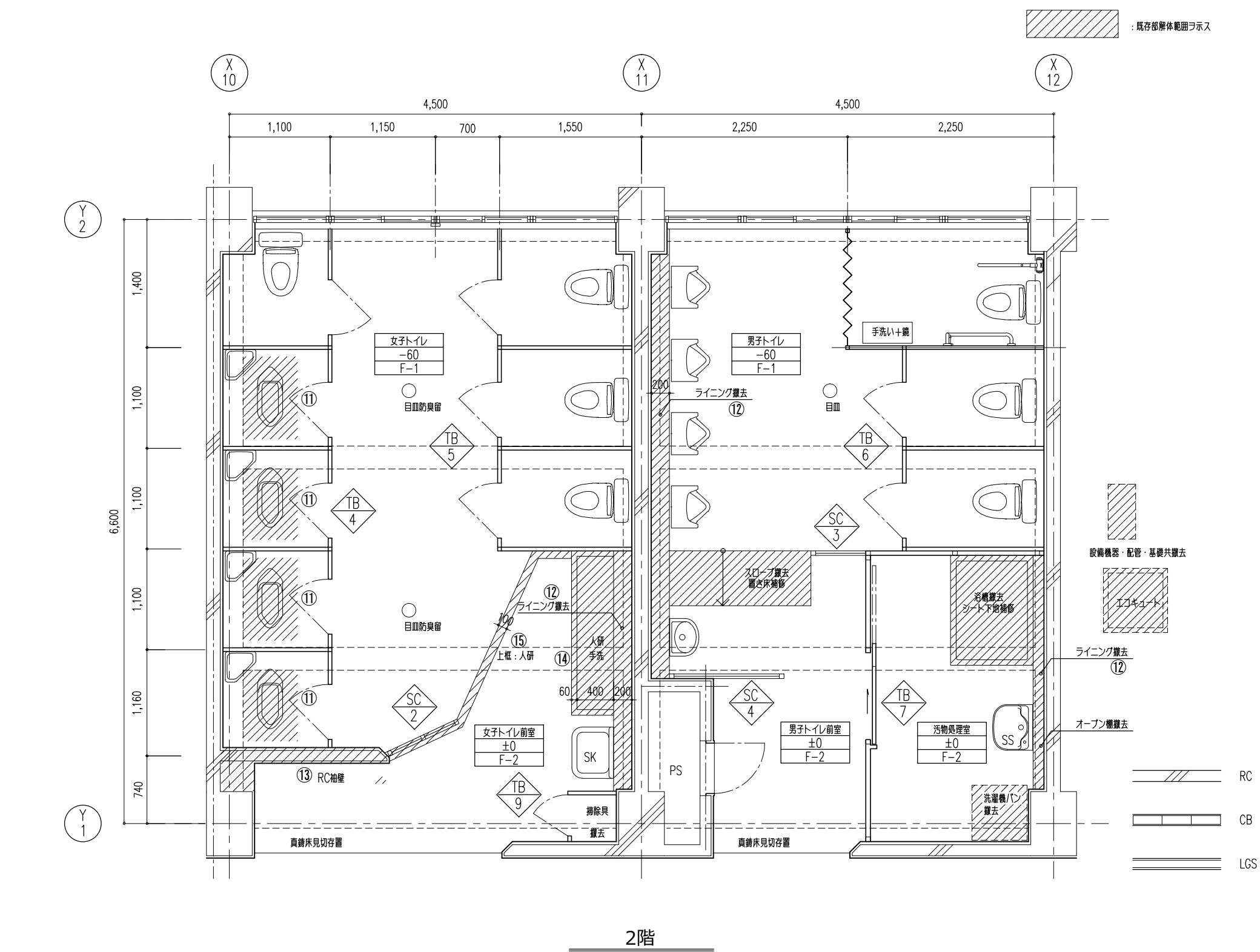
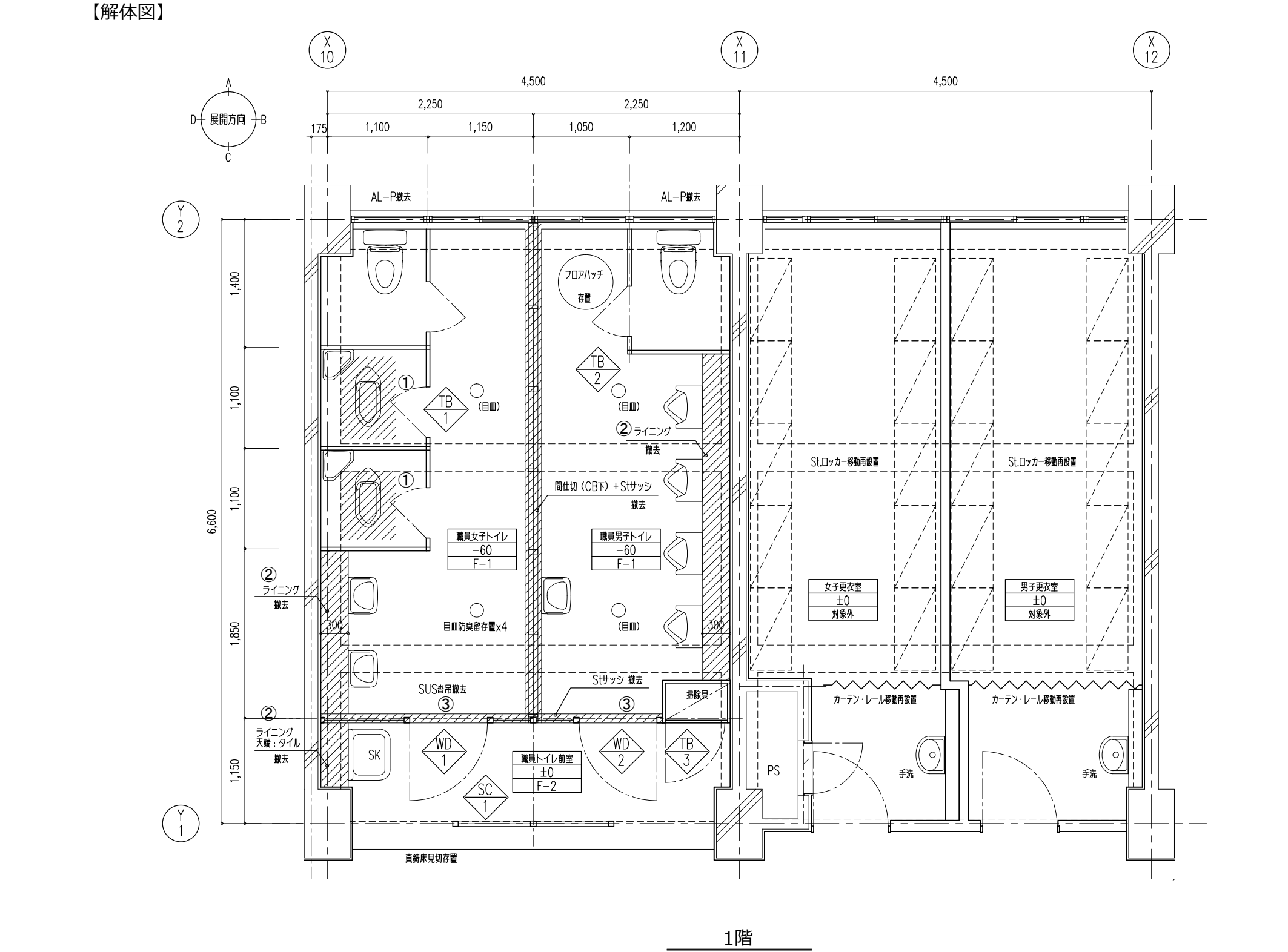
【改修図】



2,3階

【現況・解体・改修 仕上表】			天井				備考
			記号	仕上	下地	廻縁	CH
2-3F	生徒用トイレ トイレ部	現況	C-1	フレキシブルボード張 (t6) AEP	LGS天井下地	木AEP	2,400
		解体	C-1	解体撤去	2F:C型鋼M/T-解体撤去 3F:M/T-のみ解体撤去 (吊ボルト 存置)	解体撤去	-
		改修	Cb-1	化粧PBT9.5	2F:C型鋼M/T-新設 3F:M/T-新設	なし	2,395
	生徒用トイレ 前室部	現況		*トイレ部に同じ		木AEP	2,700
		解体		*トイレ部に同じ		解体撤去	-
		改修		*トイレ部に同じ		塩ビ	2,395 天井見切蔵カット
		現況					
		解体					
		改修					





【解体工事区分表】		部位	記号	工事内容	備考	区分
1F	職員用トイレ トイレ部	床・壁・天井		*平面詳細図、展開図、天井伏図参照		建築
		和式便器周囲RC床スラブ	①	解体撤去	*特記事項参照 カッター入れ	
		ライニング（CB下地）	②	解体撤去		
		SUS上り框	③	解体撤去		
		建具・トイレブース		*建具表参照		
		照明器具等		*電気設備図参照		
		衛生器具等		*機械設備図参照		
	職員用トイレ 前室部	床 天井		*平面詳細図参照 *天井伏図参照		建築
	職員男女更衣室	天井		*天井伏図参照		

【解体工事区分表】		部位	記号	工事内容	備考	区分
2F	生徒用トイレ トイレ部	床・壁・天井		*平面詳細図、展開図、天井伏図参照		建築
		和式便器周囲RC床スラブ	⑪	解体撤去	*特記事項参照 カッター入れ	
		ライニング（CB下地）	⑫	解体撤去		
		一部RC袖壁	⑬	解体撤去	*特記事項参照 カッター入れ	
		人研ぎ流し	⑭	解体撤去	*各部詳細図参照	
		人研ぎ上げり框	⑮	解体撤去		
		照明器具等		*電気設備図参照		
		衛生器具等		*機械設備図参照	*2F:浴槽、洗濯パンは建築	
	生徒用トイレ 前室部	床 天井		*平面詳細図参照 *天井伏図参照		建築

＜特記事項＞

- ・RC床スラブ、壁、防水立上りの解体はカッター入れの上解体撤去とする。
- ・RC床スラブ既存仕様：t120、ダブル配筋、短辺方向d9@400、長辺方向d9@500（上下両方）
- ・RC袖および区画壁既存仕様：t120、シングル配筋、タテヨコd9@200、半磁器質タイル100角張、片畜仕上げH1800
- ・ライニング既存仕様：CB下地H1200、半磁器質タイル100角張り
- ・造作棚、壁付フック類、置き式カーベットの類はすべて撤去のこと

荒井建築計画事務所 1級建築士事務所

静岡県静岡市大津通11-13 TEL: 0547-77-2355  
一級建築士登録 第 308615 号 荒井恵子  
一級建築士事務所登録 第 6778 号

令和7年度

青島中学校トイレ洋式化等改修工事

解体図 1

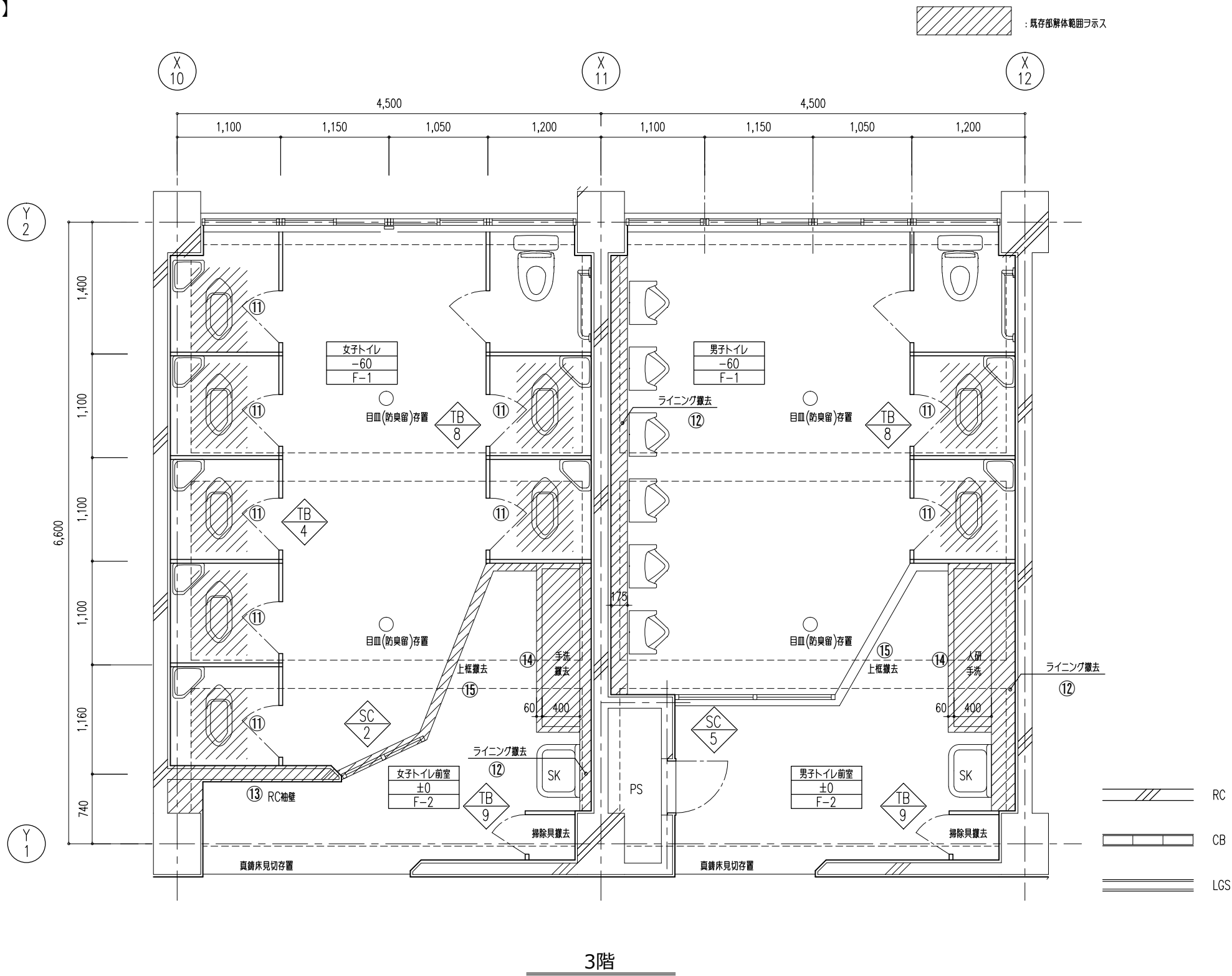
製図 荒井  
校図 荒井  
日付 R6.10.18

縮尺

1/50

A-18

【現況図】



【解体工事区分表】		部位	記号	工事内容	備考	区分
3F	生徒用トイレ トイレ部	床・壁・天井		*平面詳細図、展開図、天井伏図参照		建築
		和式便器周囲RC床スラブ	⑪	解体置去	*特記事項参照 カッター入れ	
		ライニング (CB下地)	⑫	解体置去		
		一部RC袖壁	⑬	解体置去	*特記事項参照 カッター入れ	
		人研ぎ流し	⑭	解体置去	*各部詳細図参照	
		人研ぎ上がり框	⑮	解体置去		
	生徒用トイレ 前室部	照明器具等		*電気設備図参照		電気
		衛生器具等		*機械設備図参照		機械
	生徒用トイレ 前室部	床 天井		*平面詳細図参照 *天井伏図参照		建築

<特記事項>

- ・RC床スラブ、壁、防水立上りの解体はカッター入れの上層体置去とする。
- ・RC床スラブ既存仕様：t120、ダブル配筋、短辺方向d9@400、長辺方向d9@500 (上下層共)
- ・RC袖および区画壁既存仕様：t120、シングル配筋、タテヨコd9@200、半面器置タイル100角張、片畜仕上げH1800
- ・ライニング既存仕様：CB下地H1200、半面器置タイル100角張り
- ・造作棚、壁付フック類、置き式カーベットの類はすべて置去のこと

荒井建築計画事務所 1級建築士事務所

静岡県島田市大津通11-13 TEL: 0547-77-2355  
一級建築士登録 第 308615 号 荒井恵子  
一級建築士事務所登録 第 6778 号

令和7年度

青島中学校トイレ洋式化等改修工事

解体図 2

製図 荒井  
校閲 荒井  
日付 R6.10.18

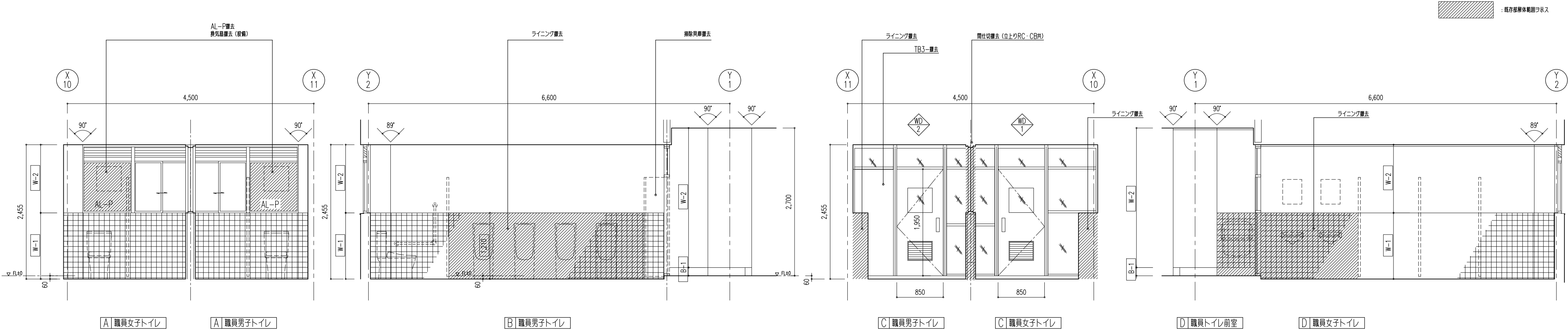
縮尺  
1/50

A-19

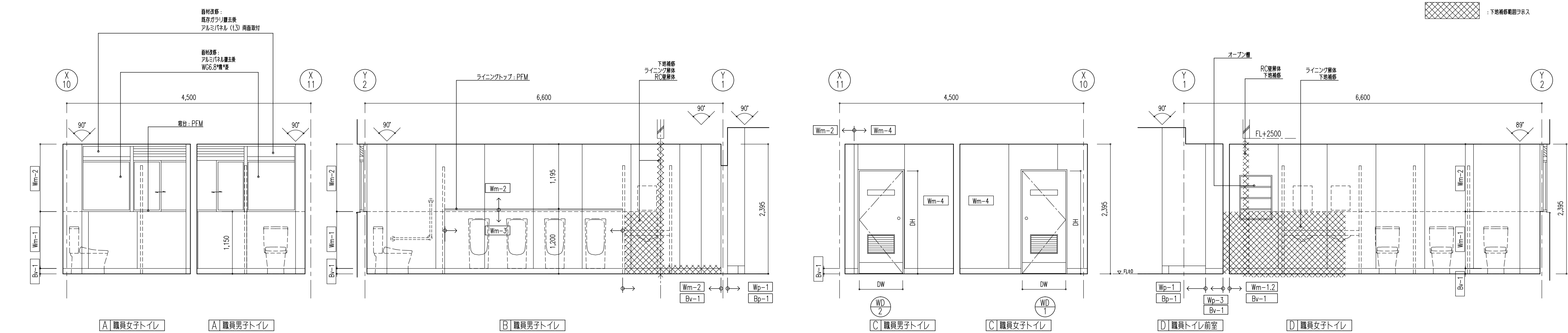




【現況図】



【改修図】

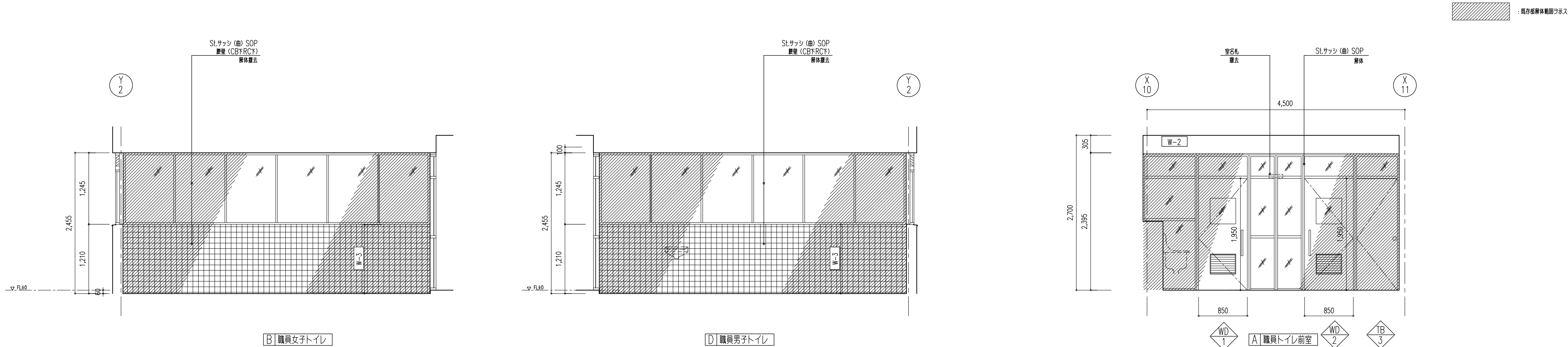


【現況・解体・改修 仕上表】		壁				下部：FL+1200ヨリ下 上部：FL+1200ヨリ上		巾木	
		部位	記号	仕上	下地	記号	仕上		
1F	職員用トイレ トイレ部	現況	RC壁下部	W-1	半磁器質100角タイル張	RC	なし		
			RC壁上部	W-2	プラスター塗	RC			
			ライニング部	W-3	半磁器質100角タイル張	CB (H1200-6.5段)			
			区画壁	W-4	半磁器質100角タイル張	CB (H1200-RC立上り300+4段)			
	解体	RC壁	W-1.2	存置	存置	なし			
		ライニング部	W-3	解体撤去	CB下地共解体撤去				
		区画壁	W-3	解体撤去	CB下地共解体撤去				
	改修	RC壁下部	Wm-1	メラミン不燃化粧合板張_t3	オンタイル工法	Bv-1	ビニル巾木H100		
		RC壁上部	Wm-2	メラミン不燃化粧合板張_t3	・下地調整				
		ライニング部	Wm-3	メラミン不燃化粧合板張_t3	耐水PBt_12.5/LGS-100@303				
		新設WC壁	Wm-4	メラミン不燃化粧合板張_t3	強化PBt_12.5x2/LGS-65@455 *GW24kg/m3_t100充填				

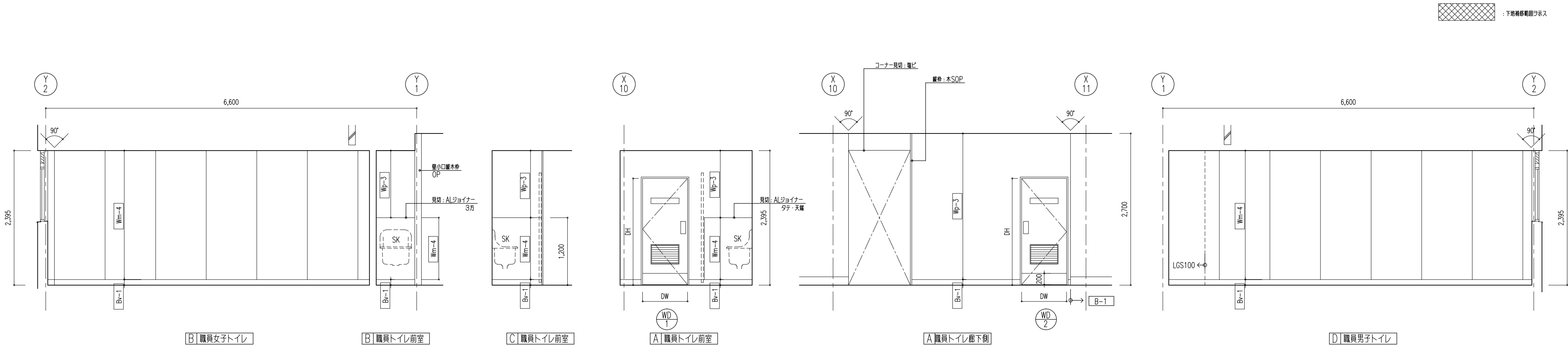
【現況・解体・改修 仕上表】			壁				巾木		
1F	職員用トイレ 前室部	現況	RC壁	記号	仕上	下地	記号	仕上	
			ライニング部	W-2	プラスター塗 半磁器質100角タイル張	RC CB	B-1	モルタル金コテH120AEP	
				W-3					
		解体	RC壁	W-2					存置 半磁器質100角タイル張
		ライニング部	W-3						
			改修	RC壁	Wp-1	EP-G EP-G ・プラスター下地調査 強化PBt_12.5x2/LGS-65@455	Bv-1 Bp-1	ビニル巾木H100 EP-G・モルタル下地調査	
		新設前室壁	Wp-3						



【現況図】



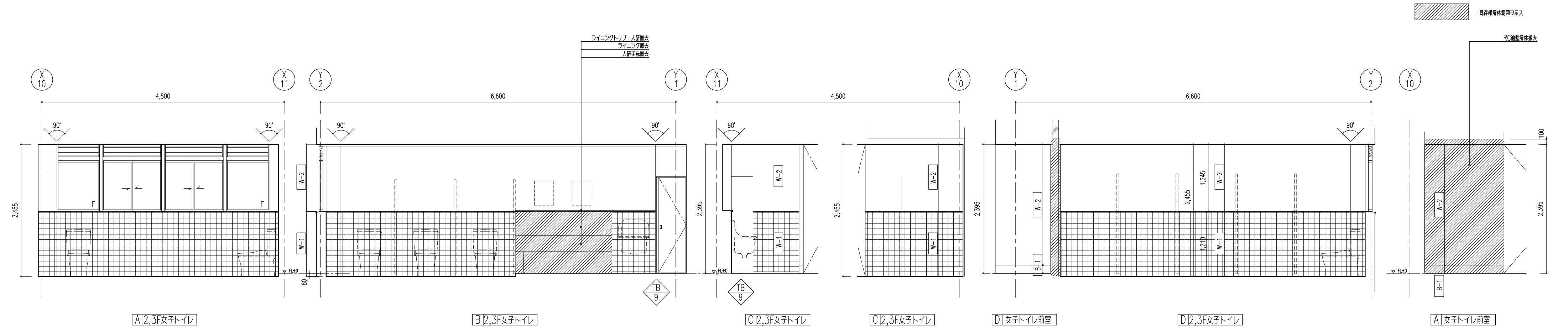
【改修図】



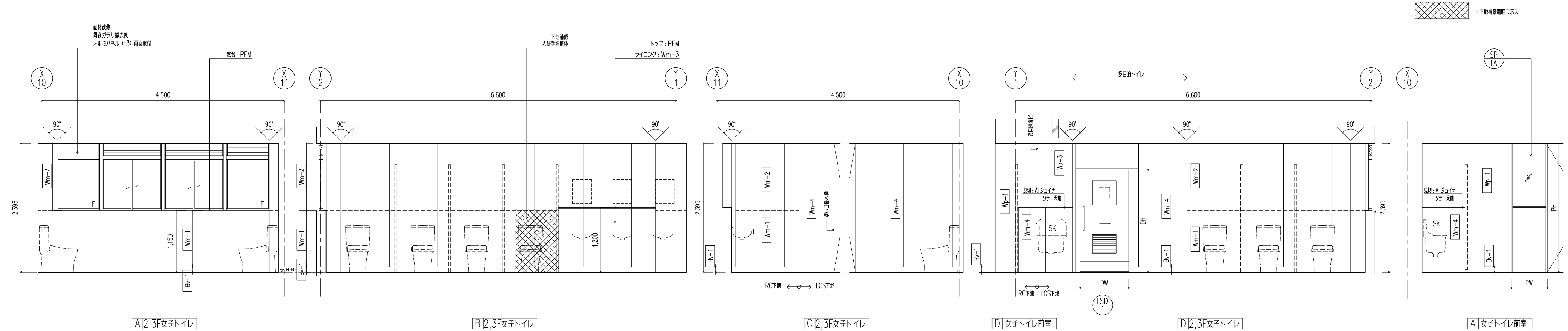
【現況・解体・改修 仕上表】			壁				下地: FL+1200ヨリ上 上部: FL+1200ヨリ上		巾木	
			部位	記号	仕上	下地			記号	仕上
1F	職員用トイレ トイレ部	現況	RC壁下部	W-1	半磁器質100角タイル張	RC			なし	
			RC壁上部	W-2	プラスター塗	RC				
			ライニング部	W-3	半磁器質100角タイル張	CB (H1200-6.5段)				
			区画壁	W-4	半磁器質100角タイル張	CB (H1200-RC立上り300+4段)				
		解体	RC壁	W-1.2	存置	存置			なし	
			ライニング部	W-3	解体壁去	CB下地共解体壁去				
	改修	区画壁	区画壁	W-3	解体壁去	CB下地共解体壁去				
			RC壁下部	Wm-1	メラミン不燐化統合板張_t3	オンタイル工法				
			RC壁上部	Wm-2	メラミン不燐化統合板張_t3	・下地調整				
			ライニング部	Wm-3	メラミン不燐化統合板張_t3	耐水PBt_12.5/LGS-100@303				
		新設WC壁	新設WC壁	Wm-4	メラミン不燐化統合板張_t3	強化PBt_12.5x2/LGS-65@455				
						※GW24kg/m3_t100充填				

【現況・解体・改修 仕上表】			壁				下地		巾木	
			部位	記号	仕上	下地			記号	仕上
1F	職員用トイレ 前室部	現況	RC壁	W-2	プラスター塗	RC			B-1	モルタル金コテH120AEP
			ライニング部	W-3	半磁器質100角タイル張	CB				
		解体	RC壁	W-2	存置	存置			B-1	存置
			ライニング部	W-3	半磁器質100角タイル張	CB下地共解体壁去				
	改修	RC壁	RC壁	Wp-1	EP-G	・プラスター下地調整			Bv-1	ビニル巾木H100
			新設前室壁	Wp-3	EP-G	強化PBt_12.5x2/LGS-65@455				
			新設前室SK壁	Wm-4	メラミン不燐化統合板張_t3	強化PBt_12.5x2/LGS-65,100@455,303				
		区画壁	区画壁	Wp-1	EP-G	強化PBt_12.5x2/LGS-65@455			Bp-1	EP-G・モルタル下地調整

【現況図】



【改修図】

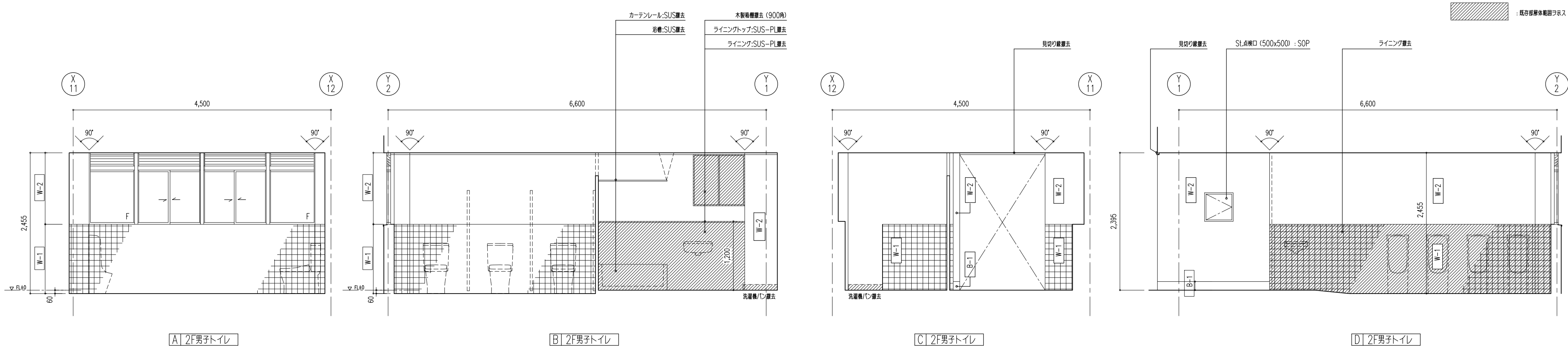


【現況・解体・改修 仕上表】			壁				下部：FL+1200ヨリ下 上部：FL+1200ヨリ上		巾木	
			部位	記号	仕上			下地	記号	仕上
2～3F	生使用トイレ トイレ部	現況	RC壁下部	W-1	半磁器質100角タイル張			RC	なし	
			RC壁上部	W-2	プラスター塗			RC		
			ライニング部	W-3	半磁器質100角タイル張			CB (H1200～6.5段)		
		解体	RC壁	W-1.2	袖壁解体撤去			袖壁解体撤去	なし	
			ライニング部	W-3	解体撤去			CB下地共解体撤去		
	改修	RC壁下部	Wm-1	メラミン不燃化粧板張_t3			オンタイル工法	Bv-1	ビニル巾木H100	
		RC壁上部	Wm-2	メラミン不燃化粧板張_t3			・下地調整			
		ライニング部	Wm-3	メラミン不燃化粧板張_t3			耐水PBt_12.5/LGS-100@303			
		新設WC壁	Wm-4	メラミン不燃化粧板張_t3			強化PBt_12.5x2/LGS-65@455			
							※GW24kg/m3_t100充填			

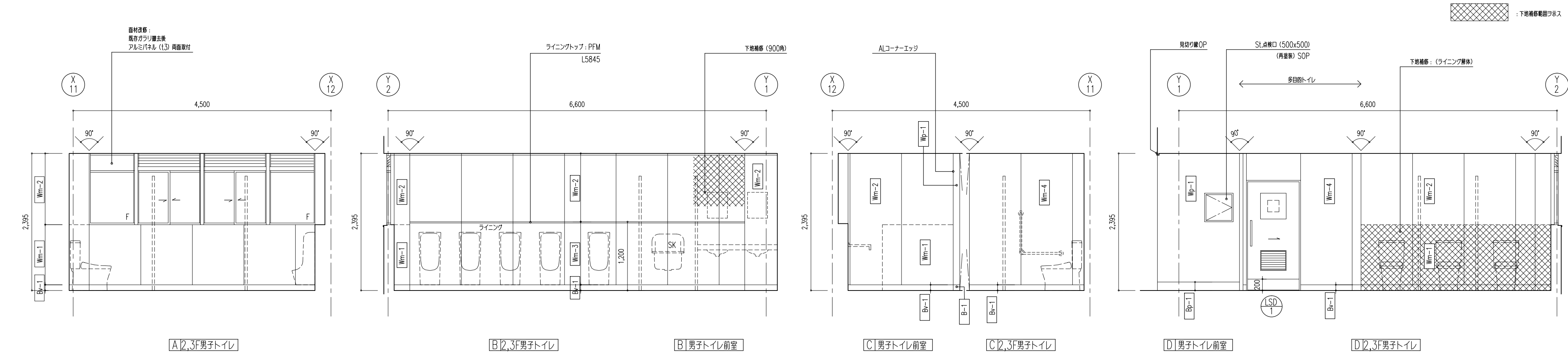
【現況・解体・改修 仕上表】			壁 下部：FL+1200ヨリ下 上部：FL+1200ヨリ上				巾木	
			部位	記号	仕上	下地	記号	仕上
2ー3F	生使用トイレ 前室部	現況	RC壁	W-2	プラスター塗	RC	B-1	モルタル金コテH120AEP
		解体	RC壁	W-2	袖壁解体剥去	袖壁解体剥去	B-1	解体剥去
		改修	RC壁	Wp-1	EP-G	・プラスター下地調整 強化PBt_12.5x2/LGS-65@455 メラミン不燃化粧板張_t3 強化PBt_12.5x2/LGS-65タブル @455 強化PBt_12.5x2/LGS-65タブル@455	Bv-1	ビニル巾木H100
				Wp-3	EP-G		Bp-1	EP-G*モルタル下地調整
	廊下側袖壁	Wm-4*	メラミン不燃化粧板張_t3					
			Wp-3*					EP-G
	廊下側袖壁							



【現況図】



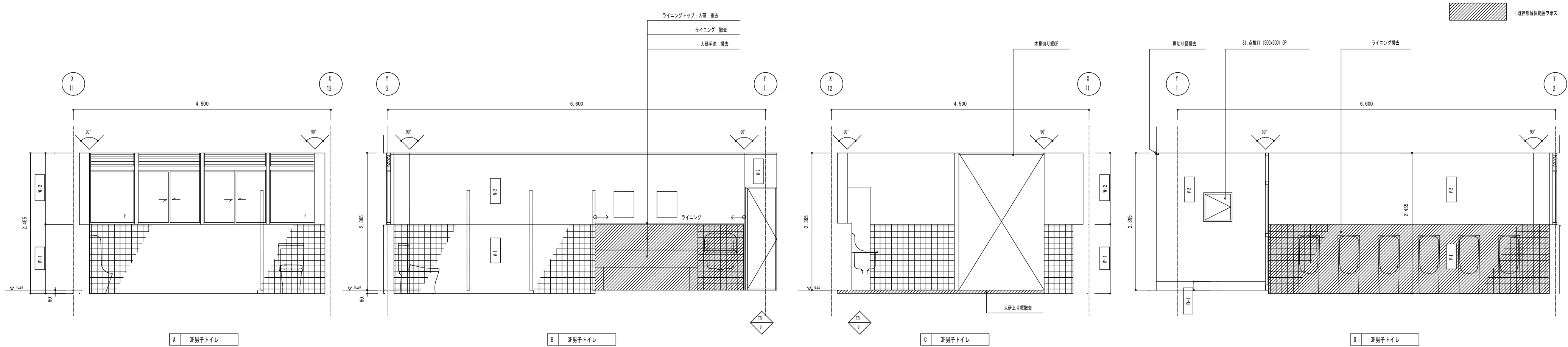
【改修図】



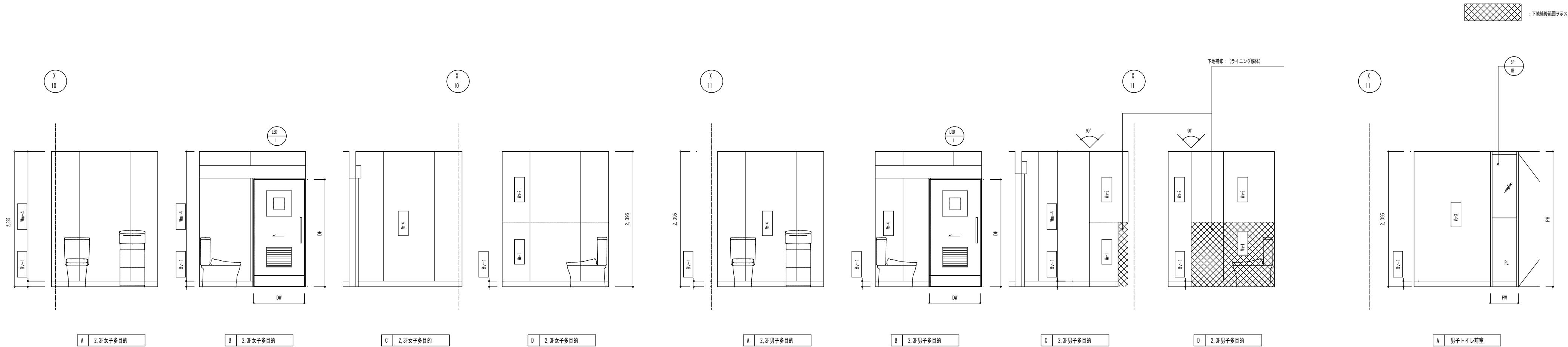
【現況・解体・改修 仕上表】			壁		下部：FL+1200ヨリ下	上部：FL+1200ヨリ上	巾木		
2-3F	生使用トイレ トイレ部	現況	部位	記号	仕上	下地	記号	仕上	
			RC壁下部	W-1	半磁器質100角タイル張		RC	なし	
			RC壁上部	W-2	プラスター塗		RC		
		ライニング部	W-3	半磁器質100角タイル張		CB (H1200-6.5段)			
		解体	RC壁	W-1.2	袖壁解体撤去		袖壁解体撤去	なし	
			ライニング部	W-3	解体撤去		CB下地共解体撤去		
		改修	RC壁下部	Wm-1	メラミン不燃化粧板張_t3		オンタイル工法	Bv-1	ビニル巾木H100
			RC壁上部	Wm-2	メラミン不燃化粧板張_t3		・下地調整		
			ライニング部	Wm-3	メラミン不燃化粧板張_t3		耐水PBt_12.5/LGS-100@303		
新設WC壁	Wm-4		メラミン不燃化粧板張_t3		強化PBt_12.5x2/LGS-65@455 ※GW24kg/m3_t100充填				

【現況・解体・改修 仕上表】			壁		下部：FL+1200ヨリ下	上部：FL+1200ヨリ上	巾木	
2-3F	生使用トイレ 前室部	現況	RC壁	W-2	プラスター塗		RC	記号
								仕上
		解体	RC壁	W-2	袖壁解体撤去		袖壁解体撤去	B-1
		改修	RC壁	Wp-1	EP-G		・プラスター下地調整	Bv-1
			新設前室壁	Wp-3	EP-G		強化PBt_12.5x2/LGS-65@455	Bp-1
			廊下側袖壁	Wm-4*	メラミン不燃化粧板張_t3		強化PBt_12.5x2/LGS-65タフル@455	
			廊下側袖壁	Wp-3*	EP-G		強化PBt_12.5x2/LGS-65タフル@455	

【現況図】



【改修図】



【現況・解体・改修 仕上表】			壁				巾木	
			下部：FL+1200ヨリ下		上部：FL+1200ヨリ上			
2-3F	生使用トイレ トイレ部	現況	部位	記号	仕上	下地	記号	仕上
			RC壁下部	W-1	半磁器質100角タイル張	RC	なし	
			RC壁上部	W-2	プラスター塗	RC		
		ライニング部	W-3	半磁器質100角タイル張	CB (H1200-6.5段)			
		解体	RC壁	W-1,2	袖壁解体撤去	袖壁解体撤去	なし	
			ライニング部	W-3	解体撤去	CB下地共解体撤去		
	改修	RC壁下部	Wm-1	メラミン不燃化粧板張,t3	オンタイル工法	Bv-1	ビニル巾木H100	
		RC壁上部	Wm-2	メラミン不燃化粧板張,t3	*下地調整			
		ライニング部	Wm-3	メラミン不燃化粧板張,t3	耐水PB t,12.5/LGS-100 #303			
		新設RC壁	Wm-4	メラミン不燃化粧板張,t3	強化PB t,12.5x2/LGS-65 #455			
					※GW24kg/m <sup>2</sup> 、t100充填			

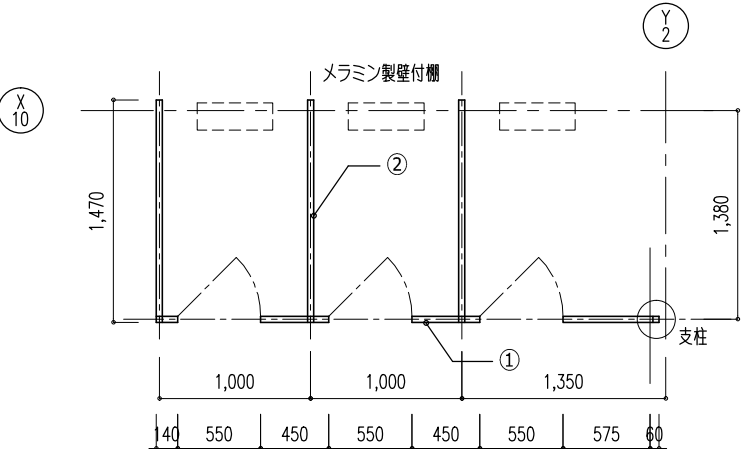
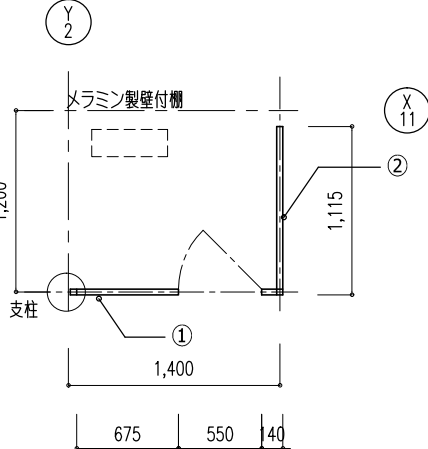
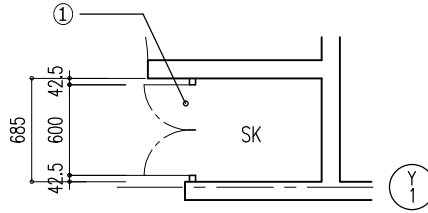
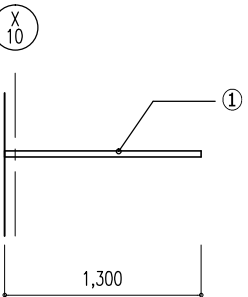
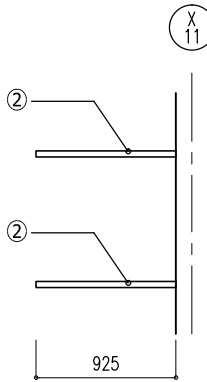
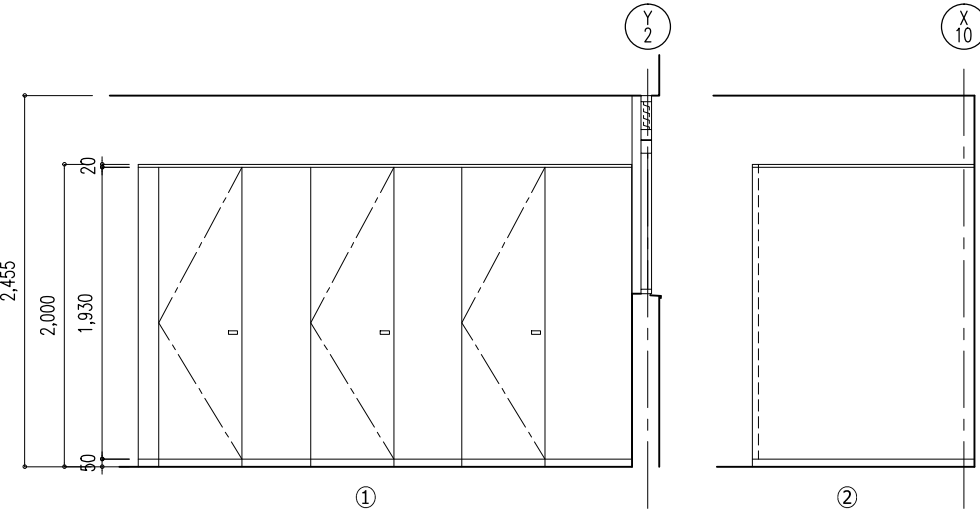
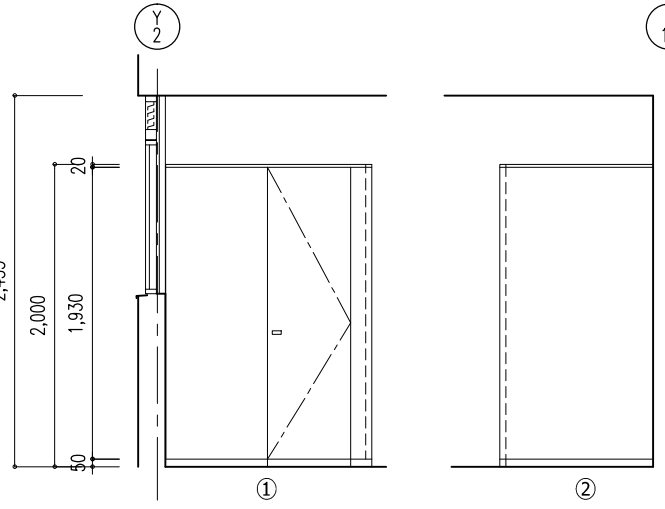
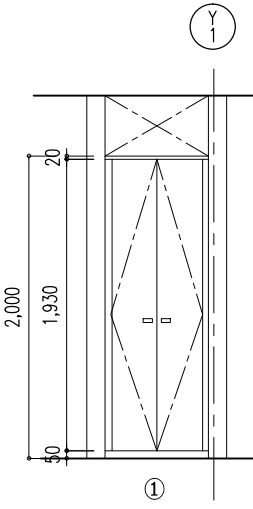
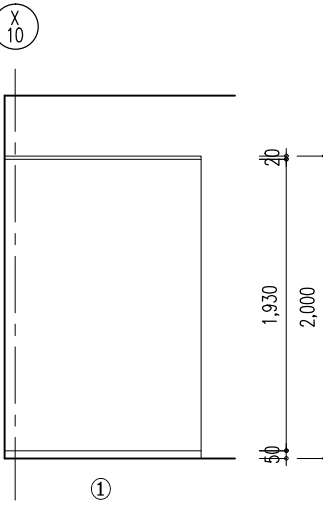
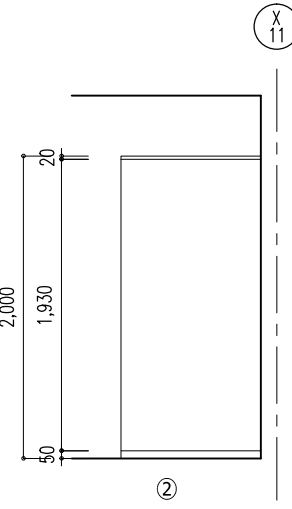
【現況・解体・改修 仕上表】			壁				巾木	
			下部：FL+1200ヨリ下	上部：FL+1200ヨリ上				
			壁	記号	仕上	下地	記号	仕上
2-3F	生徒用トイレ 前室部	現況	RC壁	W-2	プラスター塗	RC	B-1	モルタル金コシH120 AEP
		解体	RC壁	W-2	袖壁解体撤去	袖壁解体撤去	B-1	解体撤去
		改修	RC壁	Wp-1	EP-G	＊プラスター下地調整 強化PB t_12.5x2/LGS-65 #455 強化PB t_12.5x2/LGS-65ダブル #455 強化PB t_12.5x2/LGS-65ダブル#455	Bv-1	ビニル巾木H100
		新設前室壁	Wp-3	EP-G	Bp-1		EP-G+モルタル下地調整	
		廊下側袖壁	Wm-4*	メラミン不燃化粧板張_t3				
		廊下側袖壁	Wp-3*	EP-G				



【現況図】

記号	名称 室名	TB 1	トイレブース 1階 職員女子トイレ	見込 数量	40 1	TB 2	トイレブース 1階 職員男子トイレ	見込 数量	40 1	TB 3	掃除員ブース 1階 職員トイレ前室	見込 数量	40 1	TB 4	トイレブース 2,3階 女子トイレ	見込 数量	40 2				
姿図																					
		改修内容					全撤去														
		金物類					SUS笠木、表示錠、丁番、戸当り（帽子掛）、SUS脚支柱、身障者対応ブースサポート支柱（天井迄）														
		仕上・ガラス					素材：ポリ合板フラッシュ														
特記		ブースおよび金物撤去後の補修はモルタルあるいはパテ等により適宜行うこと																			

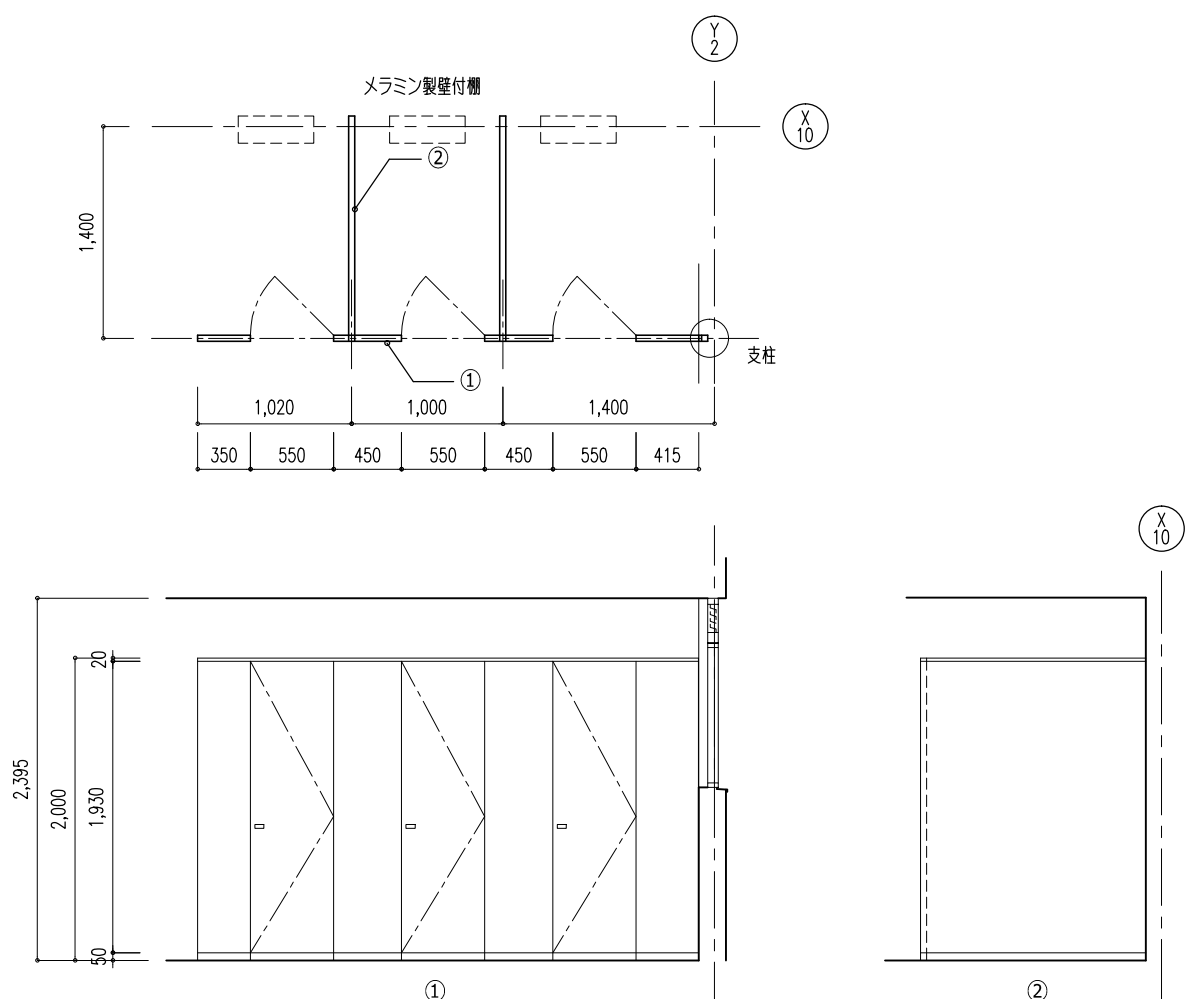
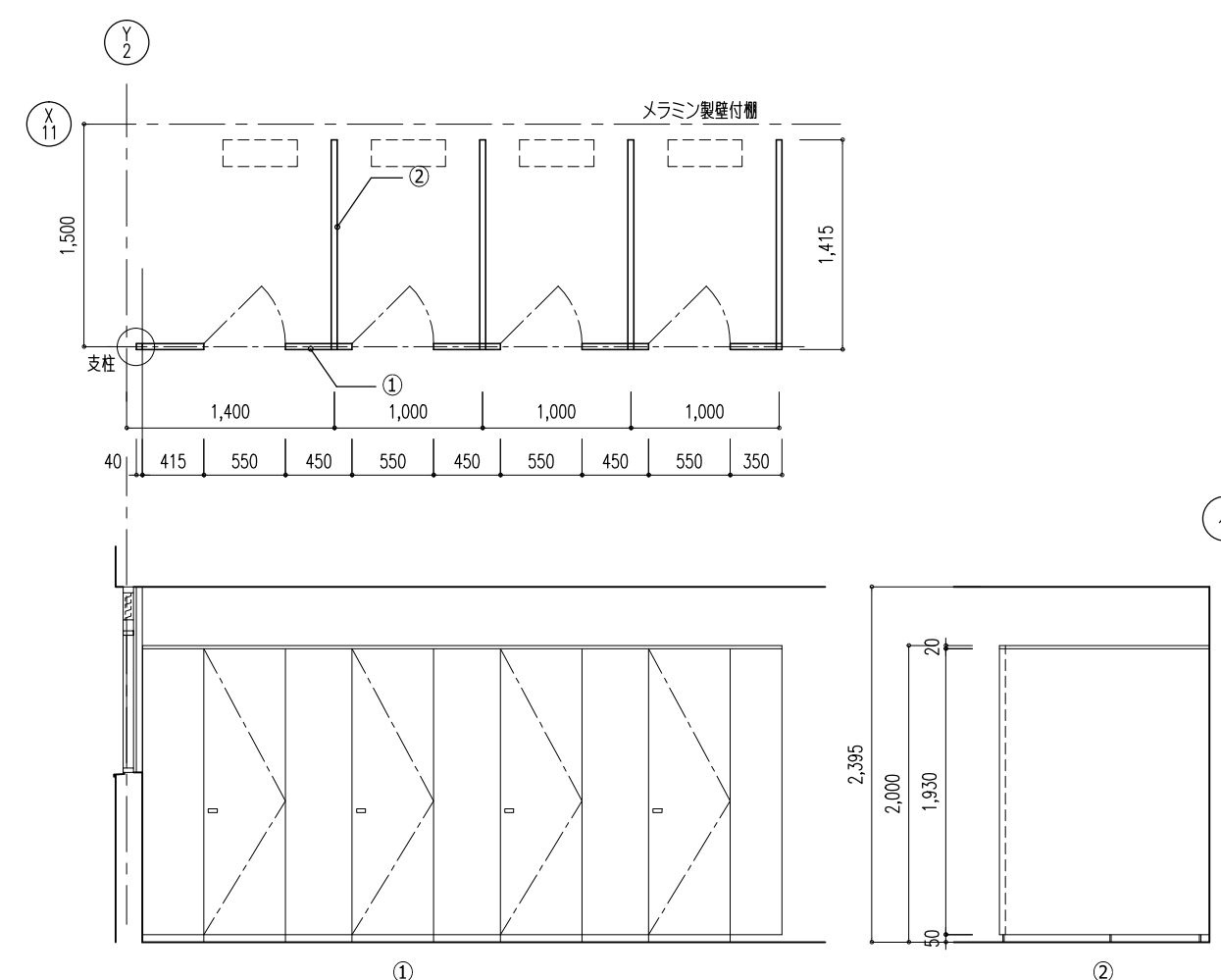
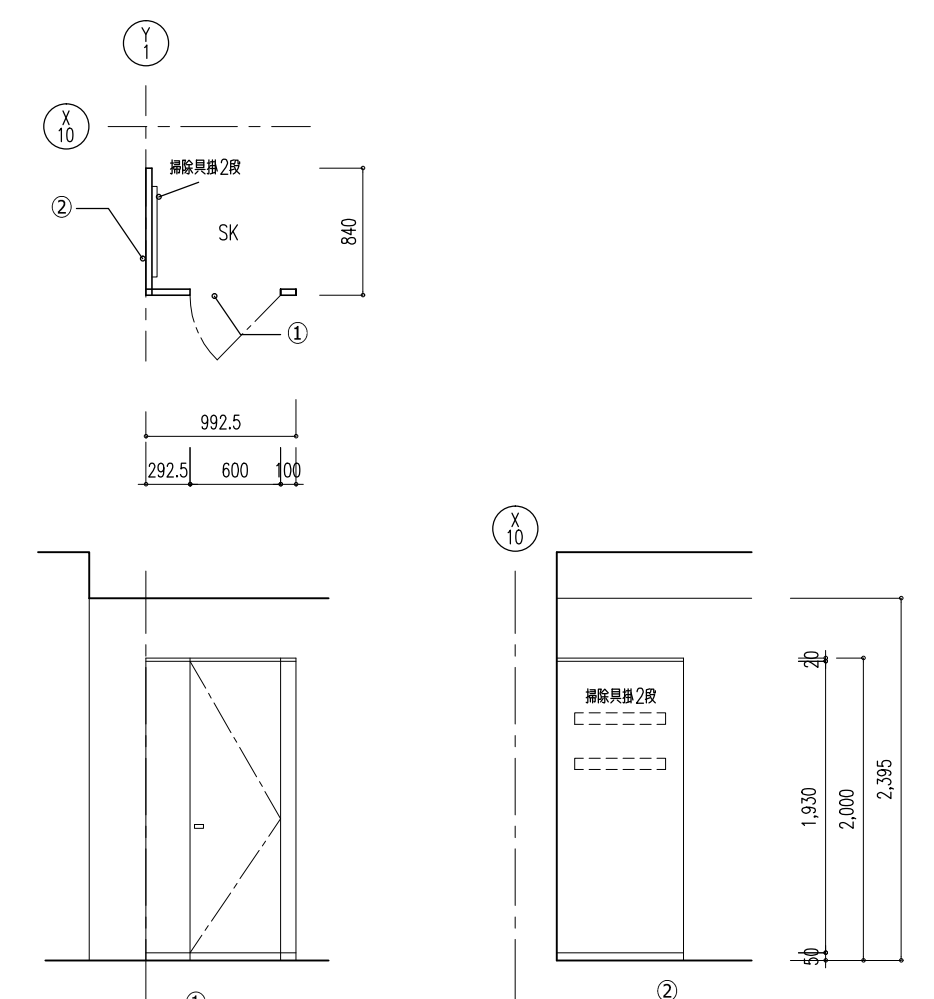
【改修図】

記号	名称 室名	TB 1	トイレブース 1階 職員女子トイレ	見込 数量	40 1	TB 2	トイレブース 1階 職員男子トイレ	見込 数量	40 1	TB 3	SKブース 1階 職員トイレ前室	見込 数量	40 1	TB 4	スクリーン（トイレブース） 1階 職員女子トイレ	見込 数量	40 1	TB 5	スクリーン（トイレブース） 1階 職員男子トイレ	見込 数量	40 2				
姿図																									
																									
	※閉開仕様																								
	改修内容	・全改修（巾木仕様） 特記無き扉はすべて「常開」とする																							
	金物類	・SUSグラビティヒンジ、SUS表示付スライドラッチ、ALレール、AL笠木、AL幅木、戸当り（帽子掛）、掃除員扉：SUSツマミ																							
仕上・ガラス	・素材：メラミン化粧板、AL（アールエッジ）																								
特記	・トイレブース内にメラミン製壁付棚（L600,D180,T20）各1ヶ所設置のこと、AL製棚受2ヶ「AL-1015（杉田）同等品」																								
	・錠前の取付高さは発注者との協議のうえ決定する。																								

【現況図】

記号	名称 室名	TB 5	トイレブース 2階 女子トイレ	見込 数量	40 1	TB 6	トイレブース 2階 男子トイレ	見込 数量	40 1	TB 7	トイレブース 2階 男子トイレ(汚物処理室)	見込 数量	40 1	
姿図														
	改修内容													
	金物類													
	仕上・ガラス													
	特記													

【改修図】

記号	名称 室名	TB 6	トイレブース 2,3階 女子トイレ	見込 数量	40 2	TB 7	トイレブース 2,3階 女子トイレ	見込 数量	40 2	TB 8	SKブース 2,3階 女子トイレ	見込 数量	40 2		
姿図															
	※常開仕様														
	改修内容														
	金物類														
	仕上・ガラス														
特記	・トイレブース内にメラミン製壁付棚（L600,D180,T20）各1ヶ所設置のこと。AL製棚受2ヶ「AL-1015（杉田）同等品」														
	・錠前の取付高さは発注者との協議のうえ決定する。														

荒井建築計画事務所 1級建築士事務所

静岡県島田市大津通11-13 TEL: 0547-77-2355  
一級建築士登録 第 308615 号 荒井恵子  
一級建築士事務所登録 第 6778 号

令和7年度  
青島中学校トイレ洋式化等改修工事

建具表 2

(現況・改修)

製図 荒井  
検図 荒井  
日付 R6.10.18

縮尺  
1/50

A-27



【現況図】

記号	名称 室名	<div>TB 8</div>	トイレブース 3階 男子トイレ・女子トイレ	見込 数量	40 各1	<div>TB 9</div>	掃除員庫 2、3階 男子女子トイレ前室	見込 数量	40 3	<div>SC 1</div>	目隠しスクリーン (AL) 1階 職員トイレ前室	見込 数量	40 1	<div>SC 2</div>	目隠しスクリーン (St) 2、3階 女子トイレ前室	見込 数量	50 2	<div>SC 3</div> <div>SC 4</div>	目隠しスクリーン (AL) 2階 男子トイレ	見込 数量	50 各1	<div>SC 5</div>	目隠しスクリーン (St) 3階 男子トイレ前室	見込 数量	50 1	<div>WD 1</div> <div>WD 2</div>	窓ガラリ付木製片開扉 1階 職員トイレ	見込 数量	36 各1						
姿図																																			
	改修内容					改修内容					改修内容					改修内容					改修内容					改修内容									
	金物類					金物類					金物類					金物類					金物類					金物類									
仕上・ガラス		・ 素材：ポリ合板フラッシュ					・ 素材：ポリ合板フラッシュ					・ 素材：乳半アクリル板 (t4)、型板ガラス					・ 素材：乳半アクリル板 (t4)、型板ガラス					・ 素材：乳半アクリル板 (t4)、型板ガラス					・ 素材：ポリ合板フラッシュ、型板ガラス、ガラリ								
特記	・ ブースおよび金物撤去後の補修はモルタルあるいはパテ等により適宜行うこと					・ ブースおよび金物撤去後の補修はモルタルあるいはパテ等により適宜行うこと					・ ブースおよび金物撤去後の補修はモルタルあるいはパテ等により適宜行うこと					・ ブースおよび金物撤去後の補修はモルタルあるいはパテ等により適宜行うこと					・ ブースおよび金物撤去後の補修はモルタルあるいはパテ等により適宜行うこと					・ ブースおよび金物撤去後の補修はモルタルあるいはパテ等により適宜行うこと									

【改修図】

記号	名称 室名	TB 9	トイレブース 2,3階 男子トイレ	見込 数量	40 2	TB 10	SKブース 2,3階 男子トイレ	見込 数量	40 2	SP 1A SP 1B	スチールパーティション 2,3階 女子・男子トイレ	見込 数量	70 下表	WD 1 WD 2	窓ガラリ付木製片開扉 1階 職員トイレ	見込 数量	36 下表	LSD 1	窓ガラリ付鋼製ハンガー引戸 2、3階 男子女子多目的トイレ	見込 数量	40 4								
姿図																													
	※常開仕様															S=1/5					S=1/5								
	改修内容					・全改修（巾木仕様） 特記無き扉はすべて常開とする										・全改修					・全改修（自開式・常開仕様）								
金物類					・SUSグラビティヒンジ、SUS表示付スライドラッチ、ALLレール、AL笠木、AL幅木、戸当り（帽子掛）、掃除具庫：SUSツマミ										・窓付スチールパーティション					・SUS扉板、SUSハンドル、SUS鍵付番3錠品、DC（S付）、ALガラリ350x500、戸当り、キックプレート（SUS-HL10.8）					・SUSハンドル、大型サムターン、エンドストップバー、ALガラリ350x500、キックプレート（SUS-HL10.8）				
仕上・ガラス					・素材：メラミン化粧板、AL（アールエッジ）										・ガラス枠：AL押し出し型製、ヒード：PVC、巾木：St.0.8t					・素材：ポリ台板フラッシュ小口UP塗装、切窓（100x500）型板ガラス（飛散防止F）					・素材：StPL10.6_焼付塗装、切窓（500x500）型板ガラス（飛散防止フィルム）				
特記	・トイレブース内にメラミン製壁付棚（L600,D180,T20）各1ヶ所設置のこと、AL製棚受2ヶ「AL-1015（杉田）同等品」															・枠材：櫛 SOP													
	・錠前の取付高さは発注者との協議のうえ決定する。																												



機 械 設 備 工 事 特 記 仕 様 書

11 機 器 類 の 落 下 防 止 措 置

12 パネル落下防止措置

13 既存ダクトの再利用

14 ダクト保温の範囲

改修標準仕様書第3編2. 2. 「既設ダクトの再利用」による。  
吊り機器類の振れ止めは、「防災拠点等における設備地震対策ガイドライン（静岡県）」による。  
吊りボルトの規定長さが0.4m未満の場合は、設置状況に応じ適切な振れ止めを行うこと。  
  
天井カセット型空調屋内機にはパネル落下防止措置を行う。  
「防災拠点等における設備地震対策ガイドライン（静岡県）」による  
パネル落下防止措置を行う。  
  
ダクト内清掃 ※ 行わない ・ 行う  
外気取入ダクト（OA）：保温する  
外気ダクト（EA）：外壁から1m保温する  
給気ダクト（SA）：保温する  
還気ダクト（RA）：保温しない  
排煙ダクト（SM）：保温しない

1 ダ ク ト

2 排 煙 口 の 形 式

3 排 煙 口 開 放 装 置

4 排 煙 風 量 測 定

※ 垂鉛鉄板 ・ 普通鋼板（板厚 ※ 1.6 mm ・ mm）  
・ 天井取付 （ ・ スリット形 ・ パネル形 ）  
・ 壁取付 （ ・ スリット形 ・ ）  
・ 電気式（ 遮隔復帰 ・ 要 ・ 不要 ）  
・ ワイヤー式  
建築設備定期検査業務基準書2016年版（（一財）日本建築設備・昇降機センター）の排煙風量の検査方法に準ずる。

① 掃 除 流 し

② 水 栓

3 洗 浄 水 量

排水口形式 ※ 目皿 ・ 鎖付き共栓  
  
コマ形式 ※ 節水コマ ・ 吊りコマ ・ 普通コマ  
  
改修工事における大便器の洗浄水量の調整  
調整を（※行う ・ 行わない）  
大便器の洗浄水量の調整は次のとおりとする。  
新設の場合：6.5リットル、既存利用の場合：便器の仕様に合わせる

① 配 管 材 料

② 配 管 接 合

屋内一般 ※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（VB）  
・ 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管（PB）  
※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（VD）  
・ 水道用ポリエチレン粉体ライニング鋼管（PD）  
ねじ 接 合 ※ 100A 以下 ・ A 以下  
フランジ接合 ※ 125A 以上 ・ A 以上（FVB、FVDとする）

1 上 水 道 加 入 金 器 具

2 量 水 器

3 量 水 器 類

4 配 管 材 料

※ 不要 ・ 要（※ 別途 ・ 本工事）  
※ 貸与品 ・ 本工事（水道事業者の認定品）  
※ 水道事業者の規格 ・ 標準図 形  
地中埋設 ※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（VD）（40A 以下）  
・ 水道用ポリエチレン二層管（40A 以下）  
※ 水道配水用ポリエチレン管（50A 以上）  
※ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（VB）  
・  
架 空  
・  
ねじ 接 合 ※ 100A 以下 ・ A 以下  
フランジ接合 ※ 125A 以上 ・ A 以上（FVB、FVDとする）  
水道配水用ポリエチレン管は電気融着接合とする  
5 配 管 接 合  
ねじ 接 合 ※ 100A 以下 ・ A 以下  
フランジ接合 ※ 125A 以上 ・ A 以上（FVB、FVDとする）  
水道配水用ポリエチレン管は電気融着接合とする  
6 緊急遮断弁装置  
駆 動 方 式 ※ 電気式 ・ 機械式  
7 水 圧 試 験  
水道配水用ポリエチレン管は、配水用ポリエチレンパイプシステム協会が推奨する試験方法による。

① 配 管 材 料

② 配 管 施 工

③ 試 験

④ そ の 他

雑 排 水 ※ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管  
・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP）  
○ 硬質塩化ビニル管（VP）  
・ 配管用炭素鋼鋼管（白）  
○ 排水・通気用耐火二層管  
汚 水 ※ 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管  
・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP）  
○ 硬質塩化ビニル管（VP）  
・ 排水・通気用耐火二層管  
通 気 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白）  
・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（RF-VP）  
○ 硬質塩化ビニル管（VP）  
○ 排水・通気用耐火二層管  
② 配 管 施 工 (1)排水横主管に設ける90° 曲管は原則として大曲管とする。  
(2)排水縦管の下部曲がり管及び排水機械管の水平曲がり管は大曲管とする。  
③ 試 験 満水試験 ・ 行わない ※ 行う  
煙 試 験 ※ 行わない ・ 行う  
排水の通水試験は、樹への放流を確認し、報告書を作成すること。  
（空調ドレン排水を含む）  
④ そ の 他 流しの床上部分の配管を硬質塩化ビニル管（VP）とする場合は監督職員と協議する。（フレキシブルジョイントによる接続は不可）  
耐火二層管は国土交通大臣認定及び（一財）日本消防設備安全センター性能評定に基づき、伸縮継手を設置すること。

1 放 流 納 付 金

2 配 管 材 料

3 樹 類

4 樹 の 深 さ

※ 不要 ・ 要（ ・ 別途工事 ・ 本工事）  
※ 硬質塩化ビニル管（VU）  
・ リサイクル硬質ポリ塩化ビニル三層管（RS-VU）  
マンホールは組立式とする。蓋には汚水、雨水等の文字を入れる。  
蓋の額 鉄製蓋 ※ 要 ・ 不要  
塩化ビニル製蓋 ・ 要 ※ 不要  
※ 排水を接続する市町の指針、基準等の規定による。  
・ 以下による。（排水を接続する市町の指針、基準等がない場合）  
汚水樹 小口径樹（150mm（流入口径75mm以下に限る））：深さ1,000mm以下  
小口径樹（200mm）：深さ1,500mm以下  
小口径樹（300mm）：深さ2,500mm以下  
雨水樹（ハ`ネット付） 小口径樹（150mm）：深さ1,200mm以下  
小口径樹（200mm）：深さ1,500mm以下  
小口径樹（300mm）：深さ2,500mm以下

給湯設備

消火設備

ガス設備

浄化槽設備

大きく井設備

撤去工事

1 配 管 材 料  
※ 一般配管用ステンレス鋼管  
・ 鋼管（硬質M）  
・ 水道用耐熱性硬質塩化ビニルライニング鋼管  
・ 保温付被覆鋼管（保温14mm以上）  
2 配 管 保 温 外 装  
屋内露出 ※ 合成樹脂製カパー  
屋外露出 ・ 合成樹脂製カパー  
※ ステンレス鋼板  
  
1 配 管 材 料  
屋内一般 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白）  
・ 圧力配管用炭素鋼鋼管（STPG370 白管 sch40）  
・  
・ 原則としてハウジング形継手は使用しない。  
地中埋設 ※ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（VS）  
・ 消火用硬質塩化ビニル外面被覆鋼管（STPG370VS 白管 sch40）  
・  
2 屋 内 消 火 栓 箱  
※ 製造者標準仕様 ・ 標準図（P - ）による。  
  
1 ガ ス の 種 類  
・ 都市ガス  
・ 液化石油ガス 24,000Kcal/nm3  
2 配 管 材 料  
屋内一般 ※ 配管用炭素鋼鋼管（白）  
・  
地中埋設 ※ ポリエチレン被覆鋼管（PLP・PLS）  
・ ガス用ポリエチレン管（PE）  
3 ガ ス メ ー タ ー  
※ 貸与品 ・ 本工事  
4 ガ ス 漏 れ 警 報 機  
外部出力端子（ ※ 有 ・ 無 ）  
5 緊 急 遮 断 弁  
・ 設ける ・ 設けない  
6 そ の 他  
ガスボンベ転倒防止の鎖は本工事とする。  
  
1 処 理 方 式  
合併処理 ・ 建築基準法施行令第35条の認定品による  
・ 建設省告示第1292号による。第（ ）（ ）方式）  
2 処 理 能 力  
処理対象人員 人  
処理水量 m3/日  
3 本 体 構 造  
・ コンクリート製 ・ F R P 製  
4 放 流 水 質  
BOD ppm 以下  
5 配 管 材 料  
・ 一般配管用ステンレス鋼管（ ）  
・ 耐熱性硬質塩化ビニル管（ ）  
・ 配管用炭素鋼鋼管（白）（ ）  
・  
・  
6 土 留 め 工 法  
・  
  
1 種 別  
・ 浅井戸 ・ 深井戸  
2 掘 削 方 式  
・ ローター式 ・ バールカッション式 ・ ダウンザホールハンマ式  
3 ケ ー シ ン グ  
※ 配管用炭素鋼鋼管（黒）  
・  
4 ス ト レ ー ナ ー  
※ ステンレス製巻線型 ・  
5 電 気 検 層  
※ 連続測定 ・ スポット測定  
6 水 質 検 査  
※ 行う（原水全項目） ・ 行わない  
  
1 冷 媒（フロン系）の 回 収  
※ 無 ・ 有  
（1）冷媒の回収にあたっては、「フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律（フロン排出抑制法）」に従って行うこと。  
また、法に規定するものの他、次の書類を監督職員に提出すること。  
（ア）第一種フロン類充填回収業者登録通知書の写し  
（イ）フロン類の処理に関する証明書（充填証明書、引取証明書等）  
（2）行程管理票の様式は、監督職員の指示による。  
2 家庭用エアコンの 処 分  
家庭用のエアコン等で「特定家庭用機器再商品化法（家電リサイクル法）」の対象となっているものは、本工事では撤去までとし、処分等については、施設管理者へ引き渡しを行う。  
  
3 吸 収 冷 凍 機、吸 収 冷 温 水 機 等 の 臭 化 リ チ ウ ム 水 溶 液 等  
※ 無 ・ 有  
関係法令に従い、専門業者により適正に処理すること。  
  
4 石 綿 含 有 建 材 の 除 去 工 事  
事前調査 ※ 行う ・ 行わない  
工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している建築材料等の使用の有無について調査する。  
  
分析による石綿含有建材の調査 ※ 行わない ・ 行う（ 箇所）  
測定箇所等は監督職員の指示による。  
石綿粉じん濃度測定 ※ 行わない ・ 行う（ 箇所）  
測定箇所等は監督職員の指示による。  
  
石綿作業主任者  
石綿作業主任者技能講習修了者又は平成18年3月以前の特定化学物質作業主任者の有資格者の内から選任し、法令に基づき、作業の方法、労働者の指導等必要な措置を行うこと。  
  
石綿含有品  
・ フランジ用ガスケット（ ・ 配管 ・ ダクト）  
・ 配管用成形保温材  
・ 天井材  
・ 外壁（ ・ 塗材 ・ スレート ・ ）  
撤去部にアスベストを含む材料が使用されている場合は、適切に処理を行い、必要に応じて官公庁等への届出を行うこと。  
石綿含有塗材の塗布された外壁及び石綿含有スレート波板等の外壁面に対して、足場及び配管等の支持のため、アンカーを打設する際にも、石綿作業主任者を配置し、外壁面に対して湿潤状態とし、集塵機能付き電動工具を使用する等、飛散防止措置を講ずること。

その他

1 ステンレス材を酸洗いたした場合、その廃液は産業廃棄物として適切に処理を行なうこと。  
2 舗装版切断時の漏水は産業廃棄物として適切に処理を行うこと。

別表 1

名 称

配管類  
○給水管  
○排水管  
・ 冷温水管  
・ 冷媒管  
・  
弁類  
○仕切弁  
・ バタフライ弁  
・ 逆止弁  
・ 緊急遮断弁  
・  
ポンプ類  
・ 給水用ポンプ  
・ 空調用ポンプ  
・ 消火ポンプ  
・  
・  
タンク類  
・ 受水槽  
・ 高架水槽  
・ 貯湯槽  
・ 膨張水槽  
・  
空 気 調 和 設 備 工 事 用 機 材  
・ パッケージエアコン  
・ 空 気 調 和 機 （AHU）  
・ 冷却塔  
・ ヘッダー  
・  
自動制御機器類  
・ 中央監視盤  
・ リモート盤  
・  
・  
給排水衛生設備工事用機材  
○衛生器具  
○水栓  
・ 組立てマンホール  
・  
・  
浄化槽  
・ F R P 浄化槽  
・ 動力盤、制御盤  
・ ブロー  
・  
・  
さく井  
・ スクリーン  
・  
・  
・  
・  
その他  
・ スリーブ（つば付鋼管）  
・  
・  
・  
・  
○ 印の付いたものを適用する。

別表 2

設備機器・配管の支持、固定は、以下の図書を適用する。  
ガイドライン：静岡県防災拠点等における設備地震対策ガイドライン（平成25年度）  
センター指針：建築設備耐震設計・施工指針（2014年版）

施設分類

設備機器・配管等の支持、固定

左記のうち、横引き配管などの支持

防災上重要な機能を必要とする防災拠点等

ガイドライン＊

ガイドライン＊

防災上重要な施設

ガイドライン＊

標準仕様書

一般の施設

標準仕様書

標準仕様書

＊ガイドラインに記載のない内容は、センター指針を適用する。



器具表（新設）

器具名	仕様	参考品番（TOTO）	参考品番（LIXIL）	1 階		2 階			3 階				合計	
				男子職員トイレ	女子職員トイレ	男子トイレ	多目的トイレ（男）	女子トイレ	多目的トイレ（女）	男子トイレ	多目的トイレ（男）	女子トイレ		多目的トイレ（女）
腰掛式タンク密閉式防露便器 （床排水・床給水）	コンパクト便器 手洗無防露式ロータンク（ふた固定有） 温水洗浄便座（蓋なし） 紙巻器	CS597BMS, SH596BAYR TCF5831P, YH702	BC-P20SU DT-PA25OUNGHTK OM-PR21-NE CF-AA64	1	3	3	1	7	1	3	1	7	1	28
壁掛小形ストール小便器	小便器自動フラッシュバルブ（乾電池式）	UFH500, TEA62ADS	U-406RU OKU-AT131SD	4		5				5				14
コンパクト手洗器	自動水栓（発電式） Pトラップ 壁給水	LSWB70ASR	L-A74TMA				1		1		1		1	4
カウンター式洗面器 1 連セット	自動水栓（発電式） Pトラップ 壁給水 奥行500mmカウンター L=1,400 プラケット形	MC50C1400マPA13W , TLE26SS1W, T7W41, M9P40A	MB-501KWS (1400) AM-300C EFH-C83 LF-10SPAL-H LF-3VK EFH-6 EHPN-CA12S4	1										1
カウンター式洗面器 2 連セット	自動水栓（発電式） Pトラップ 壁給水 奥行500mmカウンター L=1,450 プラケット形	MC50C1450ミPA13W, TLE26SS1W, T7W41, M9P40A	MB-501KDSWS (1450) AM-300C EFH-C83 LF-10SPAL-H LF-3VK EFH-6 EHPN-CA12S4		1	1				1				3
カウンター式洗面器 3 連セット	自動水栓（発電式） Pトラップ 壁給水 奥行500mmカウンター L=2,400 プラケット形	MC50C2400ミPA13W, TLE26SS1W, T7W41, M9P40A	MB-501KDSWS (2400) AM-300C EFH-C83 LF-10SPAL-H LF-3VK EFH-6 EHPN-CA12S4 MBF-50A					1				1		2
バック付掃除用流し （給水ホース形）	共栓無し Sトラップ 20mm横水栓 給水ホース式 バックハンガ	SK22A, T23AE020C T37S6EP, TN114, T9R, TK22	S-202A LF-7E-19-U SF-202 SF-20SAF-P SF-10E		1	1		1		1		1		5
L型手すり	樹脂被覆タイプ	T112QL10	KF-920AE70D12J	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	10
はね上げ手すり	樹脂被覆タイプ	T112HK7R	KF-471EH70JU				1		1		1		1	4
小便器用手すり	樹脂被覆タイプ	T112QU22	KF-701AEJ	1		1				1				3
化粧鏡	350×450（耐食鏡）	YW3545F	KF-3045A	1	2	2		3		2		3		13

器具表（撤去）

器具名	仕様	1 階			2 階		3 階		合計
		男子職員トイレ	女子職員トイレ	その他	男子トイレ	女子トイレ	男子トイレ	女子トイレ	
和風便器	フラッシュ弁 付属金具一式 紙巻器		2			4	2	7	15
洋風便器	タンク式 付属金具一式 紙巻器	1	1		3	4	1	1	11
小便器	床置形 ブラッシュ弁 付属金具一式	4			4		6		14
手洗器	付属金具一式	1	2		1				4
横水栓						2	2	2	6
掃除用流し	バック付形 付属金具一式			1		1	1	1	4
化粧鏡	450×350程度	1	1		1	1	1	1	6
洗濯用流し	付属金具一式				1				1
エコキュート	SRT-W306D相当 貯湯ユニット 1800H×600W×650 D 58kg（満水時358kg） 室外機 368H×800W×285 D 37kg				1				1

注記：置き型浴槽ならびに洗濯機パンの撤去は建築工事とする。

凡例

—

...

撤去配管

- - -

...

残置配管

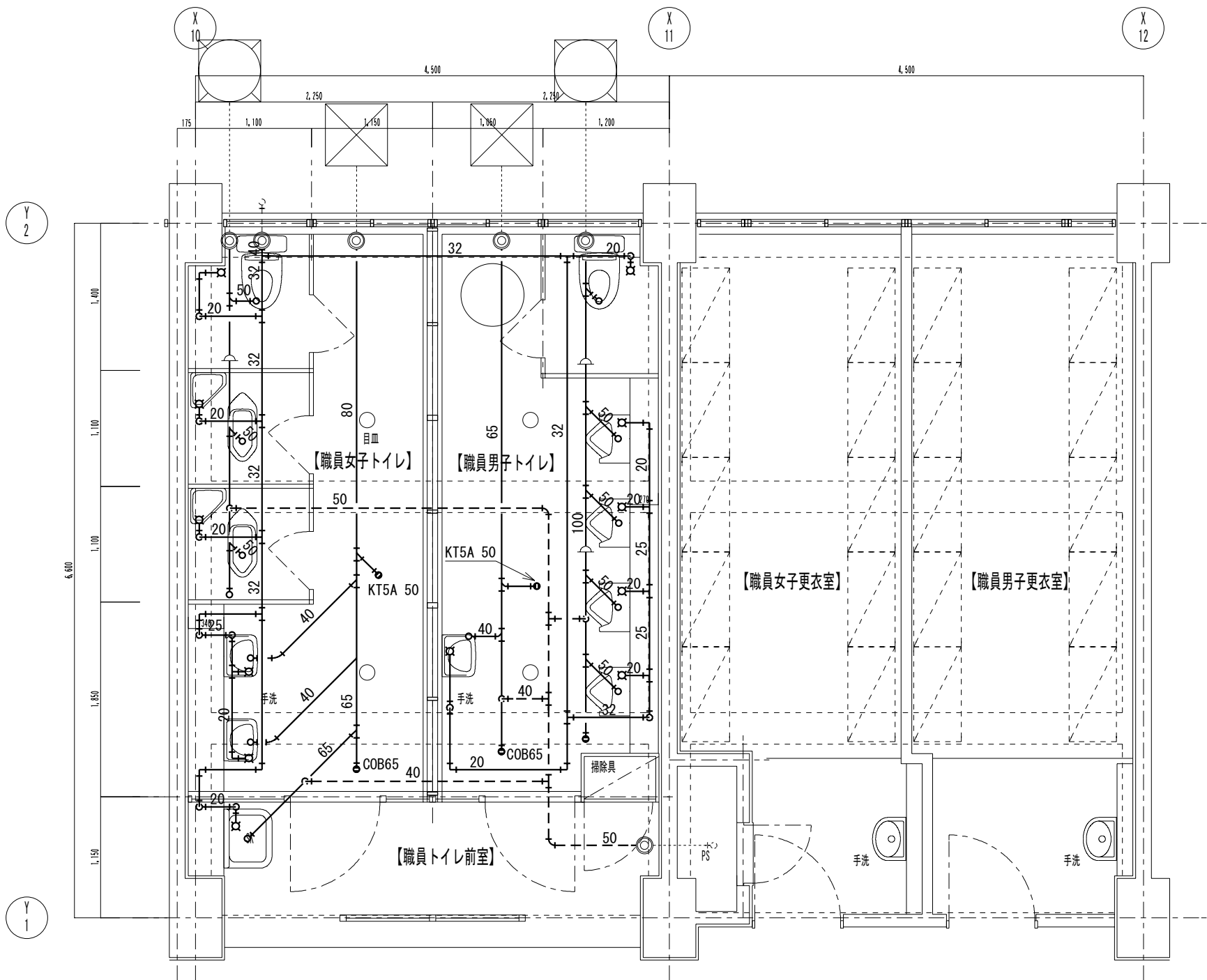
◎

...

切断箇所

を示す

【現況】



衛生設備(現況管種) 凡例

記 号	名 称	材料・保温
---	給水管	SGP-VB(屋内一般・ピット内)
—┐	污水管	CIP(屋内一般・ピット内)、LP(器具接続部)
—	排水管	SGPW(屋内一般・ピット内)
- - -	通気管	SGPW(屋内一般・ピット内)

特記事項  
※撤去工事の前に事前調査を密に行い、関係者と打ち合せの上、  
施設に支障が出ない様な工事とする事。  
※既設管は現場と違う場合があるので、現調の上各種再検討する事。  
※スラブ貫通配管の撤去あとは穴埋め補修を行う事。  
※原則既設給排水堅管は改修を行わない。

凡例

—

...

新設配管

- - -

...

既設配管 (再利用)

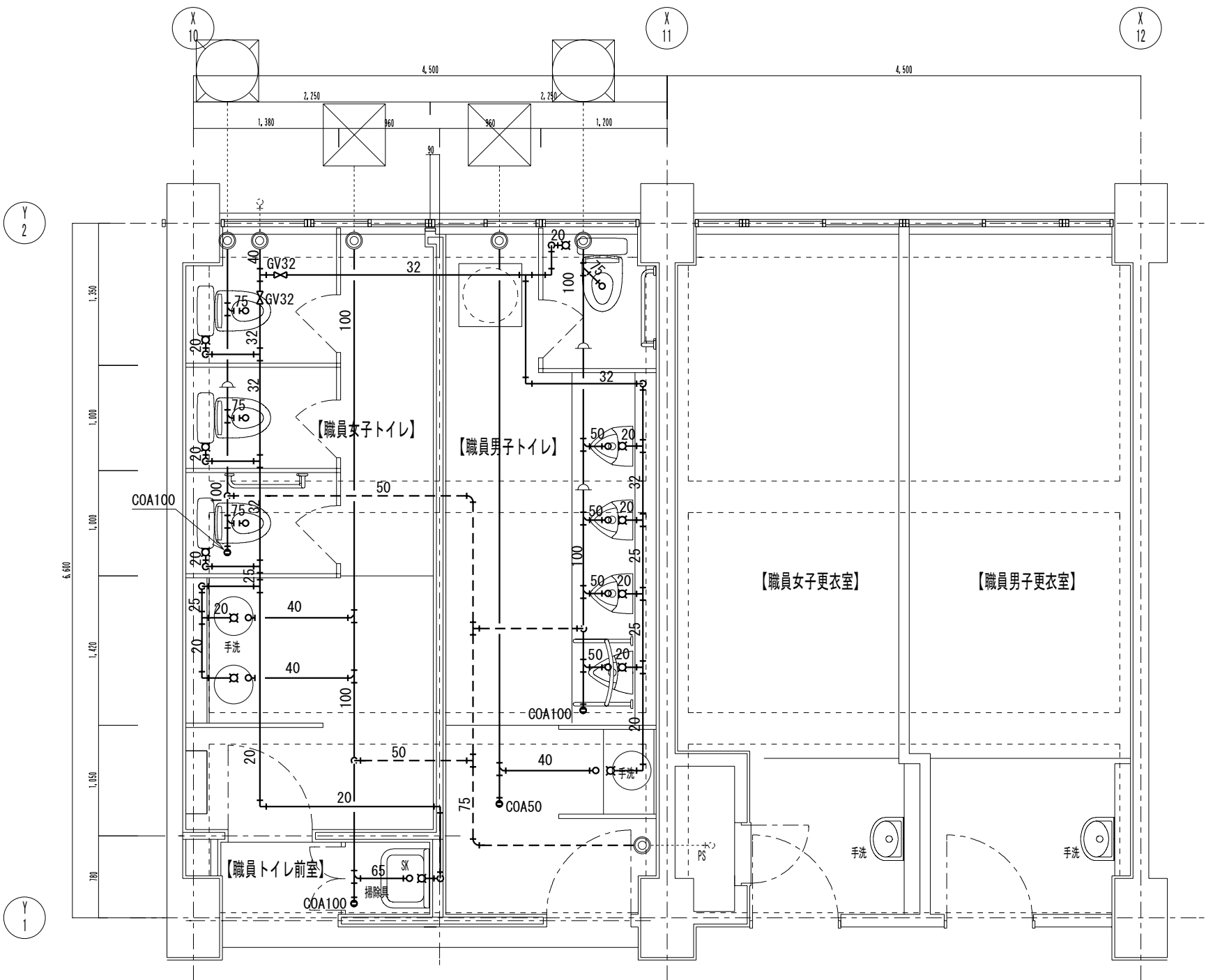
◎

...

接続箇所

を示す

【改修】



衛生設備(改修管種) 凡例

記 号	名 称	材料・保温
---	給水管	SGP-VB(屋内一般・ピット内)
—┐	污水管	VP(ピット内・器具接続部)
—	排水管	耐火二重構造(屋内一般)
---	通気管	耐火二層管(PSから1m以内)

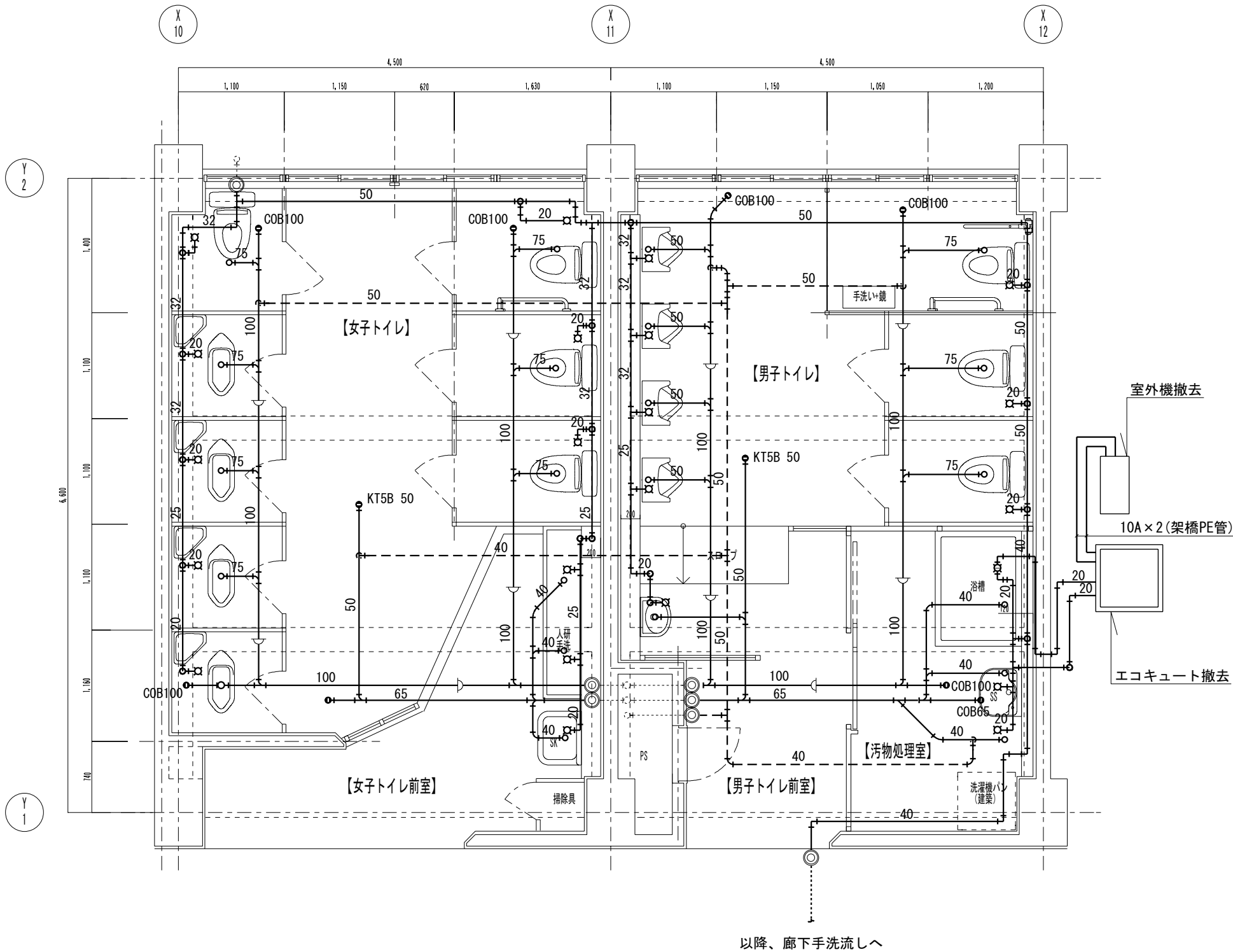
特記事項  
※建築構造物、仕上り等の撤去(復旧共)は建築工事とする。  
※新設配管に必要な躯体穴明は本工事とし、配管後はモルタル埋め補修をすること。  
※原則既設給排水堅管は改修を行わない。

凡例

- 撤去配管
- 残置配管
- 切断箇所

を示す

【現況】



衛生設備(現況管種) 凡例

記 号	名 称	材料・保温	
---	給水管	SGP-VB(屋内一般・ビット内)	GW
---	污水管	CIP(屋内一般・ビット内)、LP(器具接続部)	アスファルトシュート OR
---	排水管	SGPW(屋内一般・ビット内)	アスファルトシュート OR
---	通気管	SGPW(屋内一般・ビット内)	

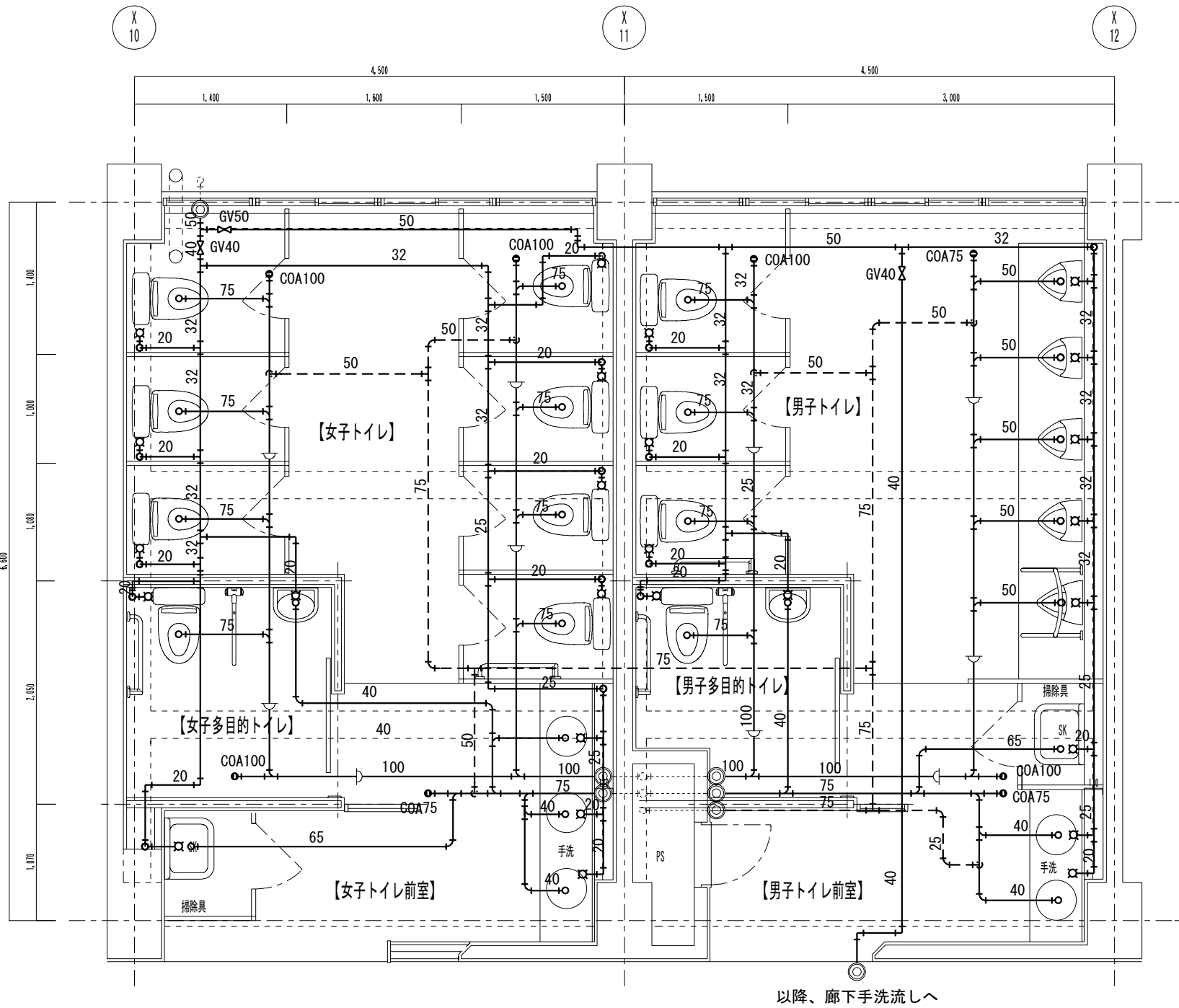
特記事項  
※撤去工事の前に事前調査を密に行い、関係者と打ち合せの上、  
施設に支障が出ない様な工事とする事。  
※既設管は現場と違う場合があるので、現調の上各種再検討する事。  
※スラブ貫通配管の撤去あとは穴埋め補修を行う事。  
※原則既設給排水堅管は改修を行わない。

凡例

- 新設配管
- 既設配管 (再利用)
- 接続箇所

を示す

【改修】



衛生設備(改修管種) 凡例

記 号	名 称	材料・保温	
---	給水管	SGP-VB(屋内一般・ビット内)	ALGC(GW)
---	污水管	VP(ビット内・器具接続部)	---
---	排水管	耐火二重構造(屋内一般)	---
---	排水管	VP(ビット内・器具接続部)	---
---	排水管	耐火二層管(屋内一般)	---
---	通気管	VP(屋内一般・ビット内)	---
---	通気管	耐火二層管(PSから1m以内)	---

特記事項  
※建築物、仕上り等の撤去(復旧共)は建築工事とする。  
※新設配管に必要な躯体穴明は本工事とし、配管後はモルタル埋め補修をすること。  
※原則既設給排水堅管は改修を行わない。



凡例

—

...

撤去配管

- - -

...

残置配管

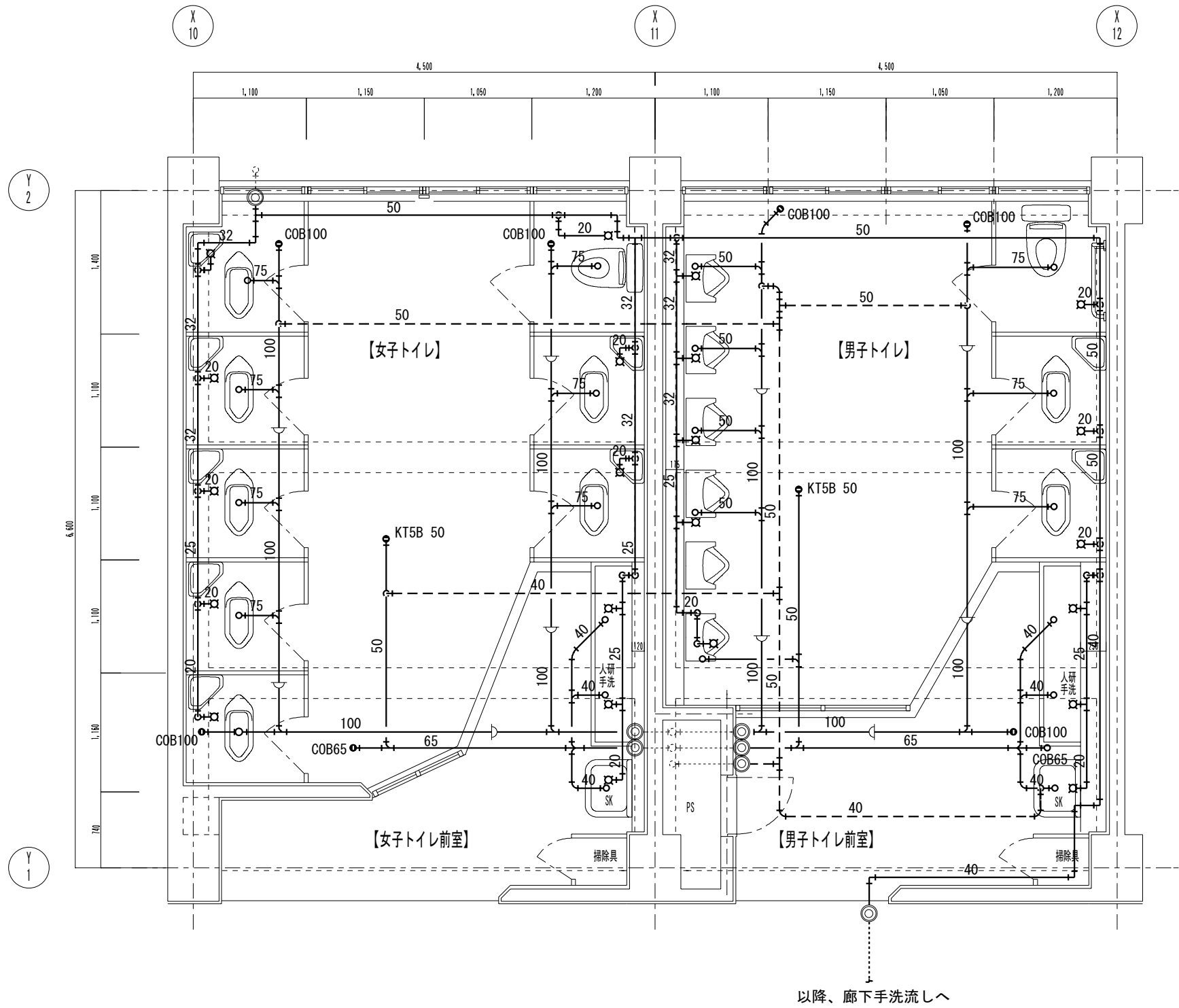
◎

...

切断箇所

を示す

【現況】



衛生設備(現況管種) 凡例

記 号	名 称	材料・保温	
---	給水管	SGP-VB(屋内一般・ビット内)	GW
—┐	污水管	CIP(屋内一般・ビット内)、LP(器具接続部)	アスファルトシュート OR
—	排水管	SGPW(屋内一般・ビット内)	アスファルトシュート OR
----	通気管	SGPW(屋内一般・ビット内)	

特記事項  
※撤去工事の前に事前調査を密に行い、関係者と打ち合せの上、施設に支障が出ない様な工事とする事。  
※既設管は現場と違う場合があるので、現調の上各種再検討する事。  
※スラブ貫通配管の撤去あとは穴埋め補修を行う事。  
※原則既設給排水堅管は改修を行わない。

凡例

—

...

新設配管

- - -

...

既設配管 (再利用)

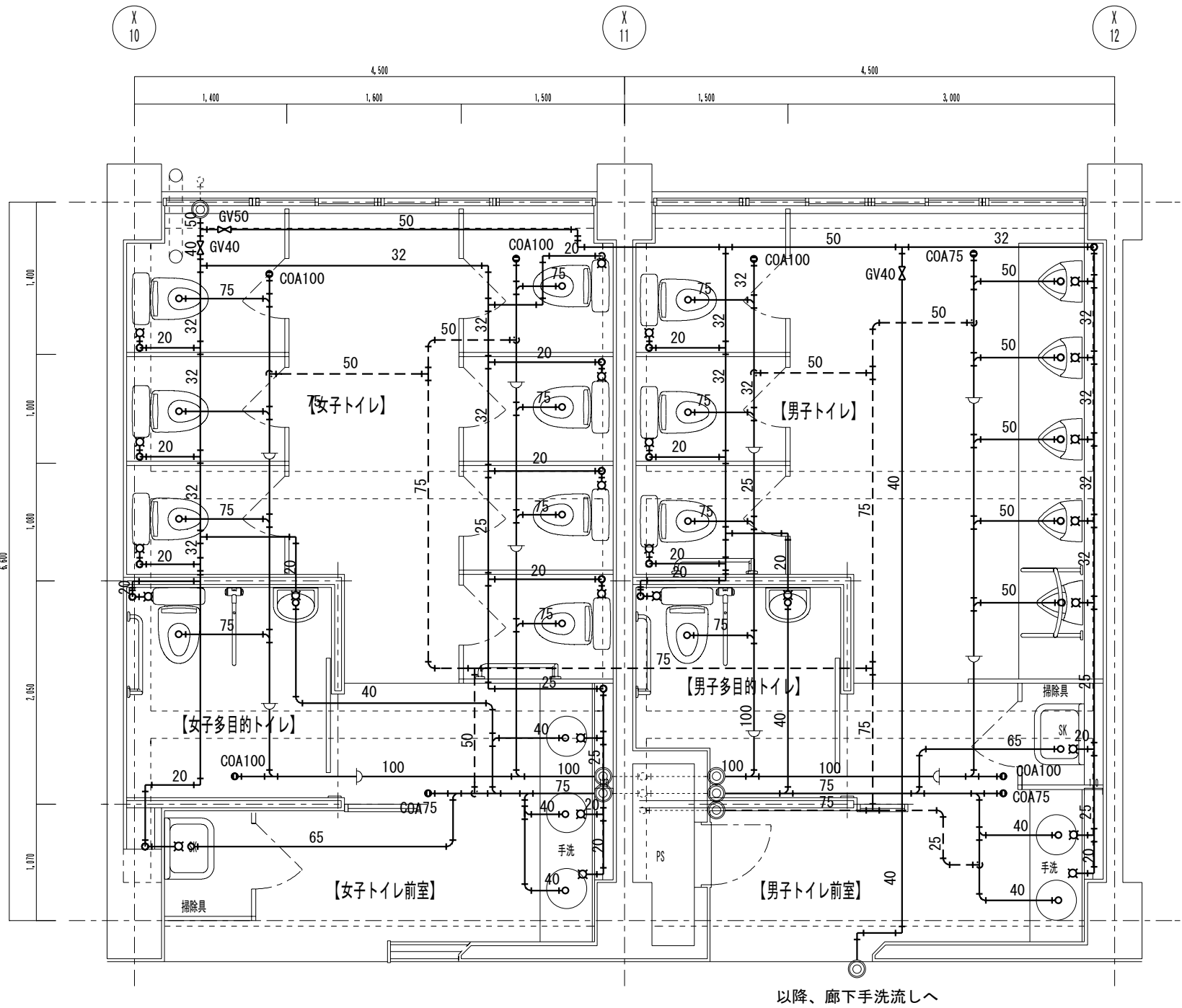
◎

...

接続箇所

を示す

【改修】



衛生設備(改修管種) 凡例

記 号	名 称	材料・保温	
---	給水管	SGP-VB(屋内一般・ビット内)	ALGC(GW)
—┐	污水管	VP(ビット内・器具接続部)	—
—┐	排水管	耐火二重構造(屋内一般)	—
—	排水管	VP(ビット内・器具接続部)	—
—	排水管	耐火二層管(屋内一般)	—
----	通気管	VP(屋内一般・ビット内)	—
----	通気管	耐火二層管(PSから1m以内)	—

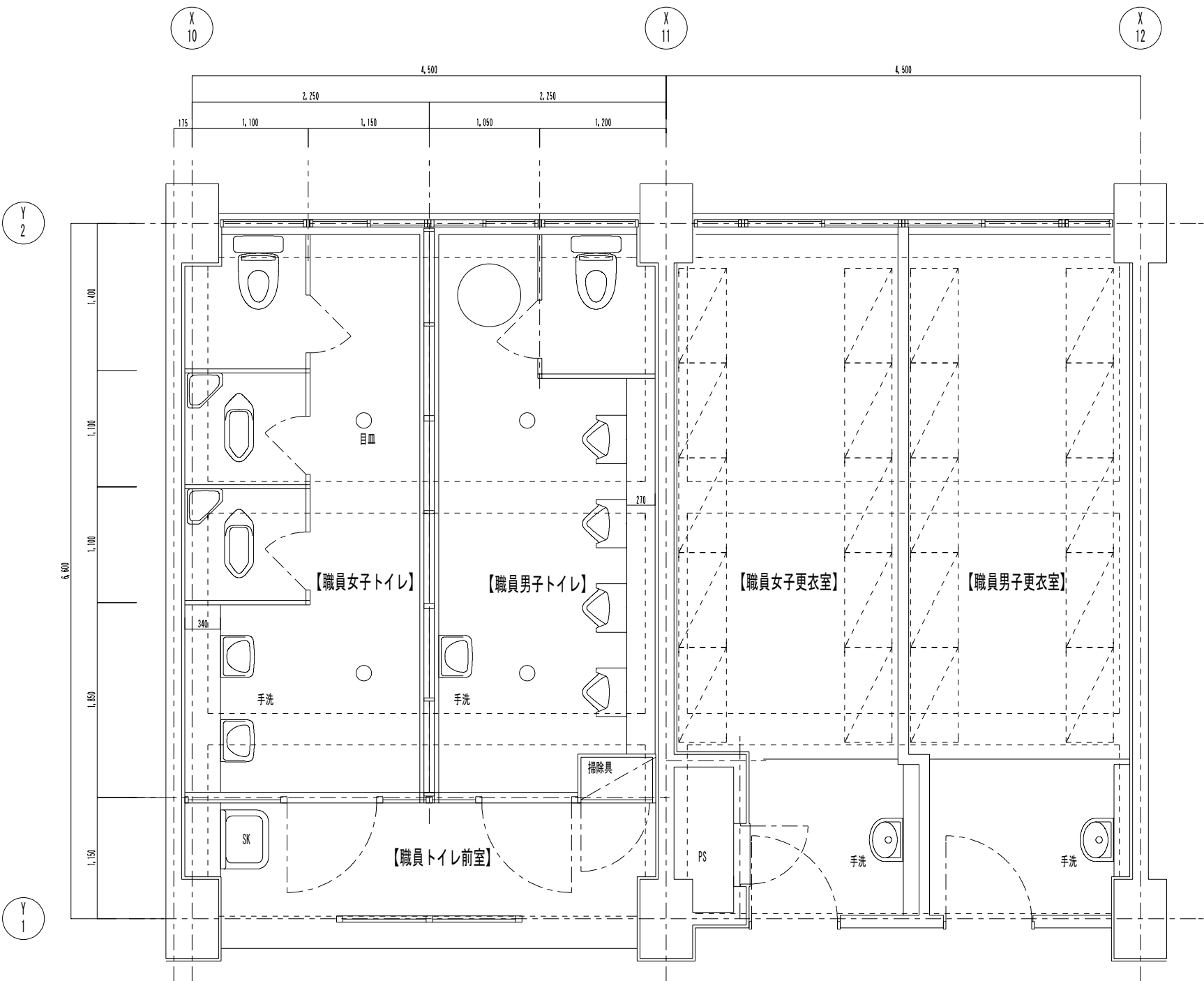
特記事項  
※建築構造物、仕上り等の撤去(復旧共)は建築工事とする。  
※新設配管に必要な躯体穴明は本工事とし、配管後はモルタル埋め補修をすること。  
※原則既設給排水堅管は改修を行わない。

換気機器表（新設）

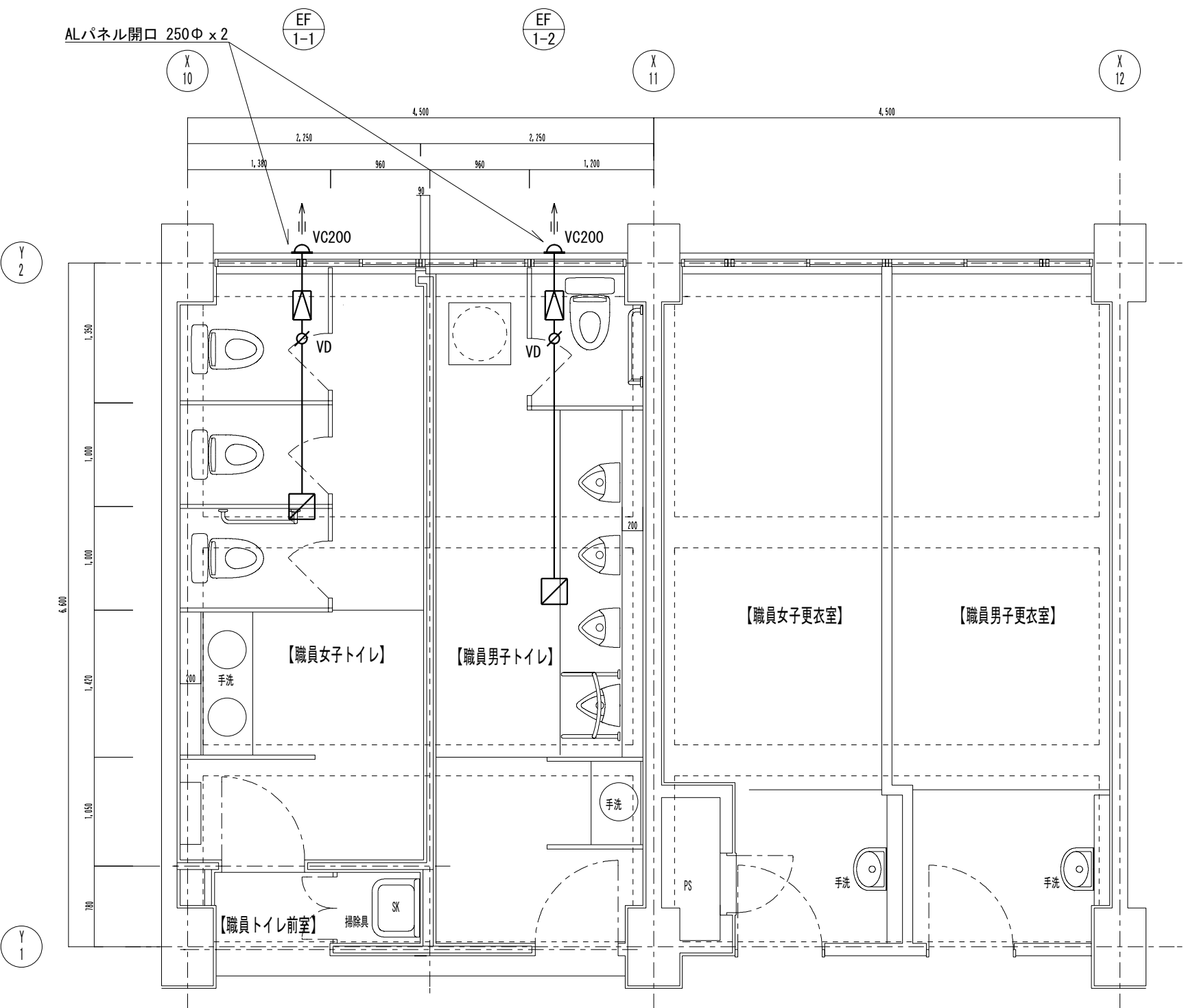
機器番号	形式	仕様		電源			設置場所	台数	備考
				60Hz					
		風量・能力	機外静圧	相	電圧	動力			
EF-1-1	ストレートシロッコファン	480	100	1	100	0.0875	1F女子職員トイレ	1	
EF-1-2	ストレートシロッコファン	470	100	1	100	0.0875	1F男子職員トイレ	1	
EF-2-1	ストレートシロッコファン	760	100	1	100	0.159	2F女子トイレ	1	
EF-2-2	ストレートシロッコファン	720	100	1	100	0.159	2F男子トイレ	1	
EF-3-1	ストレートシロッコファン	760	100	1	100	0.159	3F女子トイレ	1	
EF-3-2	ストレートシロッコファン	720	100	1	100	0.159	3F男子トイレ	1	

注記：電気容量は参考値とする。

【現況】



【改修】

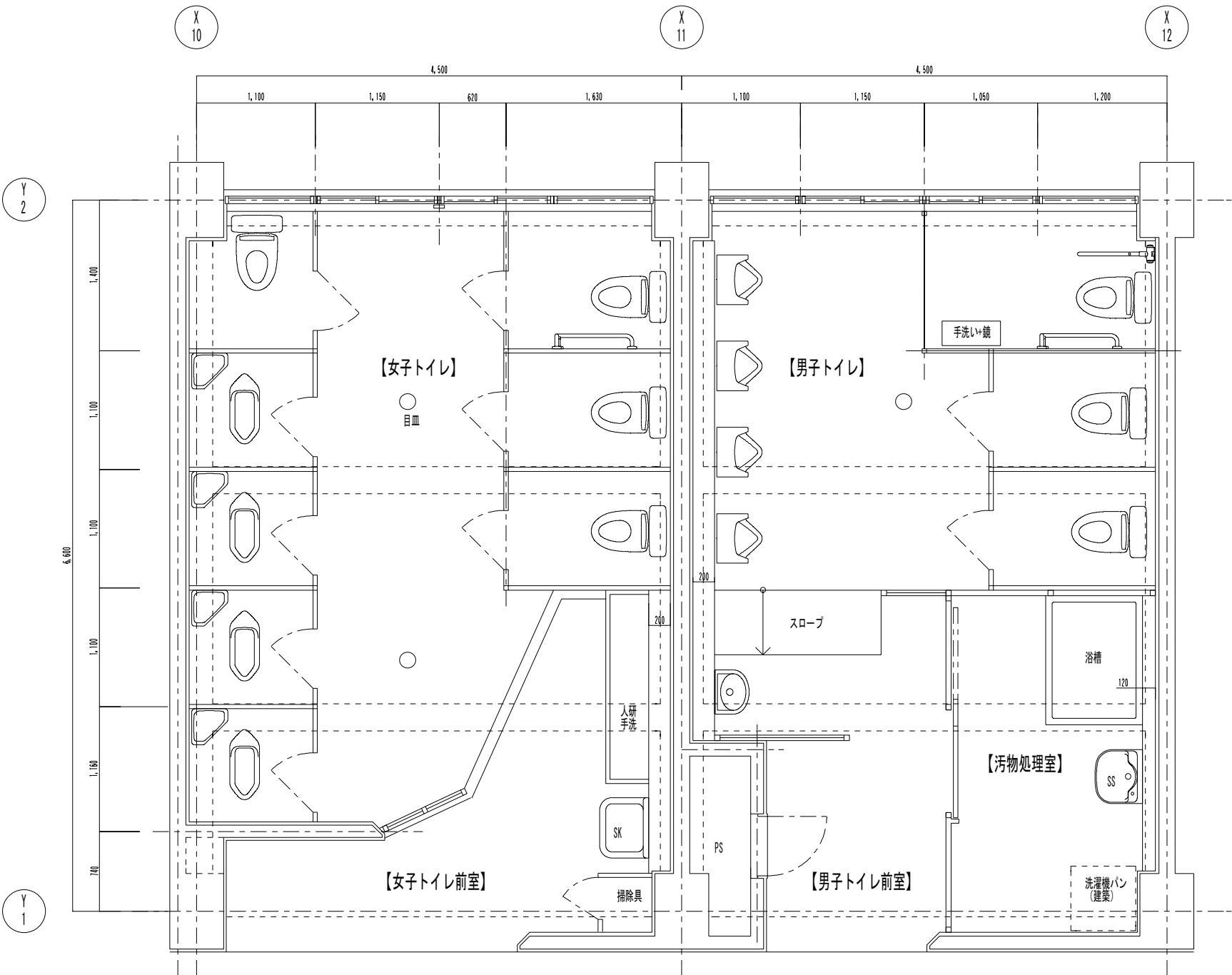


制気口リスト

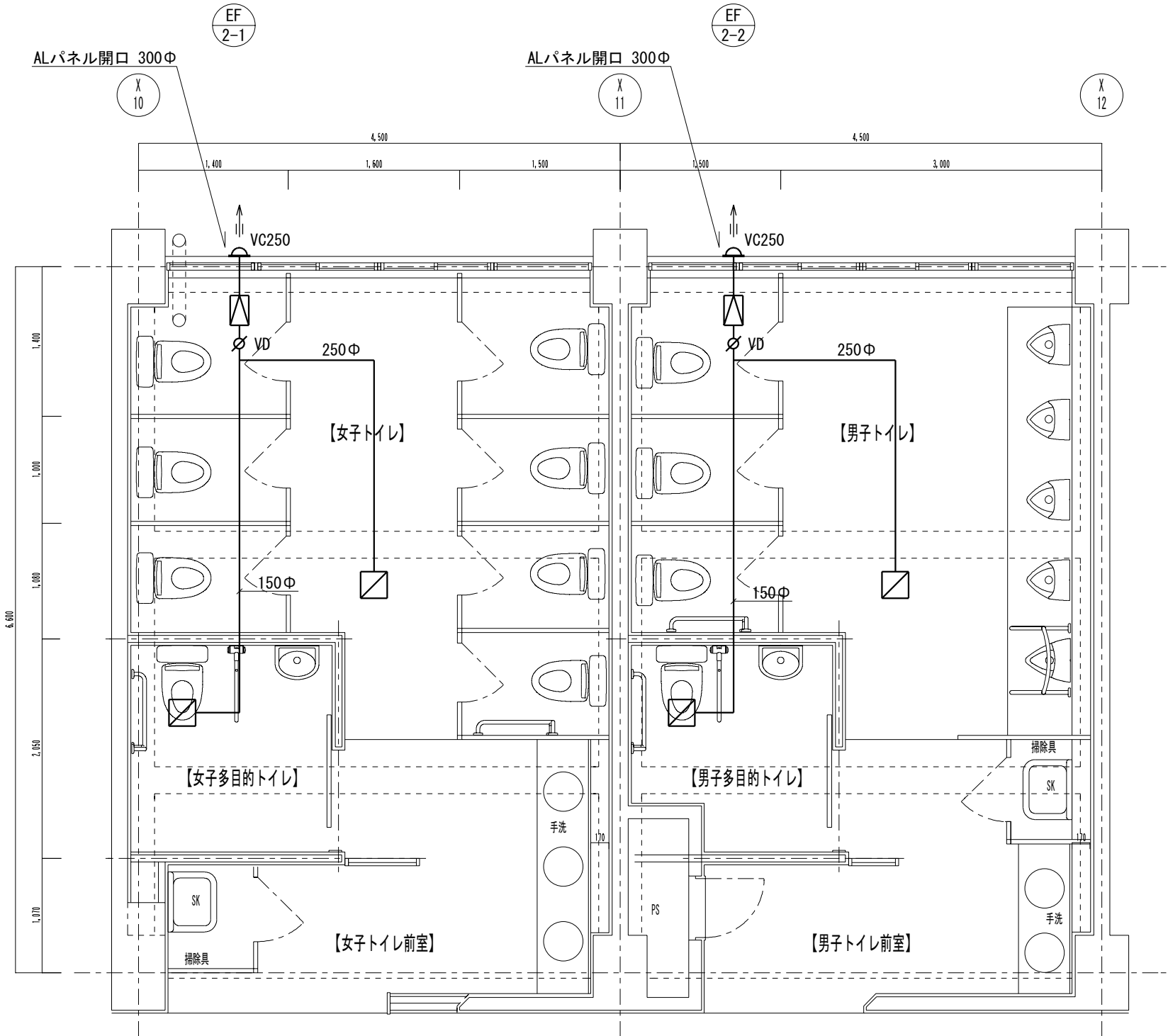
室 名	タイプ	風量	サイズ	BOX
男子職員トイレ	HS	470m <sup>3</sup> /h	250×250	450×450
女子職員トイレ	HS	480m <sup>3</sup> /h	250×250	450×450



【現況】



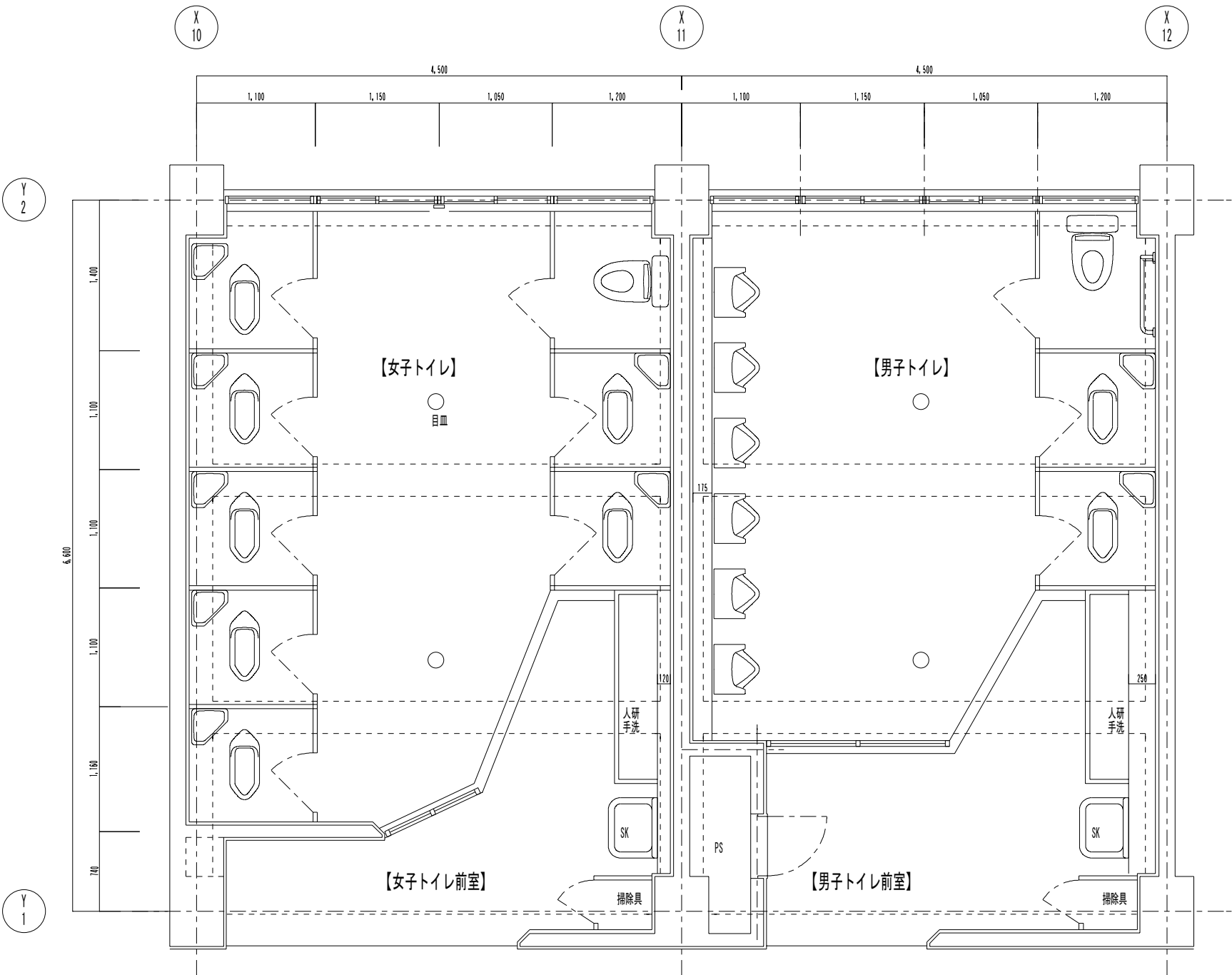
【改修】



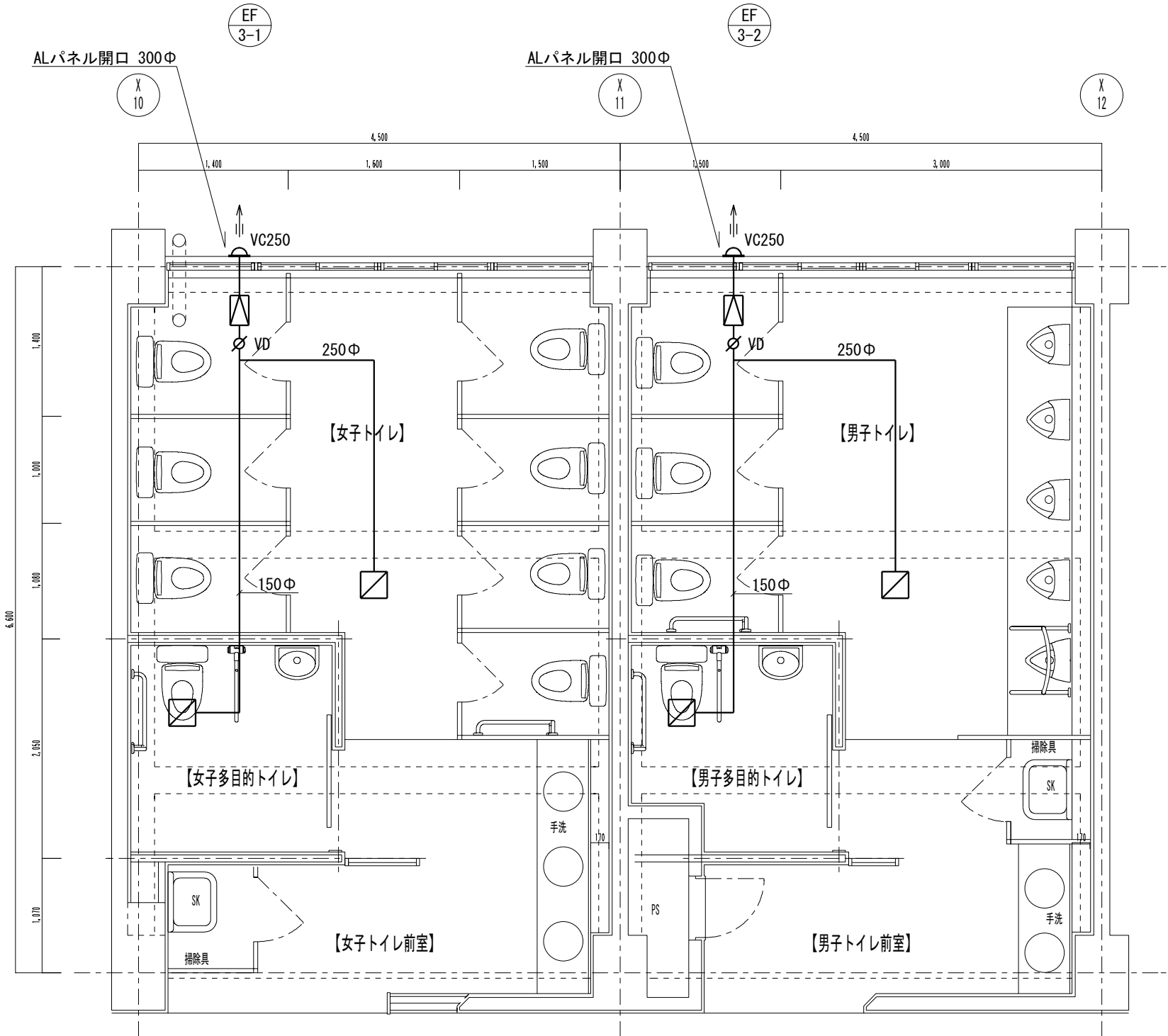
制気口リスト

室 名	タイプ	風量	サイズ	BOX
男子トイレ	HS	600m <sup>3</sup> /h	300×300	500×500
多目的トイレ(男)	HS	120m <sup>3</sup> /h	150×150	350×350
女子トイレ	HS	630m <sup>3</sup> /h	300×300	500×500
多目的トイレ(女)	HS	130m <sup>3</sup> /h	150×150	350×350

【現況】



【改修】



制気ロースト

室 名	タイプ	風量	サイズ	BOX
男子トイレ	HS	600m <sup>3</sup> /h	300×300	500×500
多目的トイレ(男)	HS	120m <sup>3</sup> /h	150×150	350×350
女子トイレ	HS	630m <sup>3</sup> /h	300×300	500×500
多目的トイレ(女)	HS	130m <sup>3</sup> /h	150×150	350×350





電気設備工事特記仕様書（2）

25 照度測定

26 建築材料等

27 化学物質の濃度測定

28 設備機器容量

照明器具を新設、改修した部屋の照度  
※測定する ・ 測定しない  
測定箇所等は監督職員の指示による

本工事に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の(1)から(4)を満たすものとする。  
(1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、コリア樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗料は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料を使用する。  
(2)接着剤及び塗料は、トルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。  
(3)接着材は、可塑性（フタル酸ジ－n－ブチル及びフタル酸ジ－2－エチルヘキシル等を含むしなない難揮発性の可塑性を除く）が追加されていない材料を使用する。  
(4)(1)の材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器類は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

・ 要 ※ 不要  
測定時期、測定対象化学物質、測定方法、測定対象室、測定箇所数等については、監督職員の指示による。

本工事及び関連工事において設備機器容量等が相違する場合は、関連する設備の施工及び機器製作前に監督職員と協議し、指示を受けること。

1 撤去

2 石綿含有建材の除去工事

・ 撤去前に内容物（発電設備燃料等）の回収を要する機器、配管等の処理（ ）  
・ 撤去後の補修、復旧（ ）

事前調査 ※ 行う ・ 行わない  
工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している建築材料等の使用の有無について調査する。  
分析による石綿含有建材の調査 ※ 行わない ・ 行う（ 箇所）  
測定箇所等は監督職員の指示による。  
石綿粉じん濃度測定 ※ 行わない ・ 行う（ 箇所）  
測定箇所等は監督職員の指示による。  
石綿作業主任者  
石綿作業主任者技能講習修了者又は平成18年3月以前の特定化学物質作業主任者の有資格者の内から選任し、法令に基づき、作業の方法、労働者の指導等必要な措置を行うこと。  
石綿含有品 ・ フランジ用ガスケット（ ・ 配管 ・ タクト ）  
・ 天井材 ・  
・ 外壁（ ・ 塗材 ・ スレート ・ ）  
撤去部にアスベストを含む材料が使用されている場合は、適切に処理を行い、必要に応じて官公庁等への届出を行うこと。  
石綿含有塗材の塗布された外壁及び石綿含有スレート波板等の外壁面に対して、足場及び配管等の支持のため、アンカーを打設する際にも、石綿作業主任者を配置し、外壁面に対して湿潤状態とし、集塵機能付き電動工具を使用する等、飛散防止措置を講ずること。

1 防災用照明器具・・・

2 電動機等の接地・・・

3 受変電設備・・・

4 雷保護設備・・・

5 主燃料槽・・・

6 太陽光発電設備・・・

建築基準法の規定による非常用照明器具は次による。（〇で囲むもの）  
・ 電池内蔵形 ・ 電源別置形（ ・ バッテリー ・ 充電機 ）

金属管配線において、電動機容量7.5KW以下は金属管を接地線とする。

受変電キュービクル本体の耐震性は、JEM－TR144「配電盤・制御盤の耐震設計指針2003年版」（一般社団法人日本電機工業協会）における耐震機能クラス1とする。

(1)保護レベル ・ I ・ II ・ III ※IV  
(2)受雷部システムの配置 ・ 保護角法 ・ 回転球体法 ・ メッシュ法

主燃料槽は満油渡しとする。

太陽電池アレイ用支持物の荷重計算は、JISC8955:2011「太陽電池アレイ用支持物設計標準」による。  
太陽光発電システムの用途  
※極めて重要な太陽光発電システム ・ 通常の太陽光発電システム

1 構内情報通信網設備・

2 テレビ共有受信装置・

学校については校内LAN工事特記仕様書による。

(1)テレビ機器収納箱  
ブースターを収容する収納箱は、露出コンセント（2P15A2口）を内蔵し、扉には放熱に有効なガラリ等を備えたものとする。  
(2)アンテナマスト ・ 自立形 ・ 壁面形  
・ 標準図のAの寸法（ ）mm

1 自動火災報知装置

2 自動閉鎖装置

3 非常警報装置

4 ガス漏れ火災警報装置

(1)受信機  
・ R型 ・ P型（ ）級（ ）回路  
予備電源付（ ・ 壁掛形 ・ 自立形 ）  
複合盤の場合は図示する。  
(2)副受信機 表示窓数（ ）窓（ ・ 壁掛形 ・ 自立形 ）  
(3)発信機 ・ R型 ・ P型（ ）級（ ）形  
(4)機器収納箱 ・ 埋込形 ・ 露出形 ・ 消火栓箱組込形  
(5)消火栓ポンプ始動用表示灯 ・ 専用 ※火報と兼用

(1)連動制御器 （ ）回線（複合盤の場合は図示する。）  
(2)動作仕様  
ア 作動方式 ・ 多回線順次作動 ・ 単独作動  
イ 防煙ダンパ ・ 手動復帰 ・ 遠方復帰

(1)非常警報装置 ・ 埋込形 ・ 露出形  
(2)起動装置（押しボタン） ・ 埋込形 ・ 露出形

(1)受信機 （ ）回線 予備電源付（ ・ 壁掛形 ・ 自立形 ）  
複合盤の場合は図示する  
(2)検知器 ・ 都市ガス ・ 液化ガス  
電 源 ・ AC100V ・ DC24V  
(3)中継器 確認表示灯 ・ あり ・ なし

鋪装版切断時の濁水は産業廃棄物として適切に処理を行うこと。

その他

表1 接地極一覧表

接地の種類	記号	接地抵抗	接地極の規格・数量
・ 共同接地	EA・B・C・D	Ω以下	EB(0=14又はW=40)×3連-2組
・ 共有接地	EA・C・D	10Ω以下	EB(0=14又はW=40)×3連-2組
・ A 電	EA	10Ω以下	EB(0=14又はW=40)×3連-2組
・ B 電	EB	Ω以下	EB(0=14又はW=40)×3連-2組
・ B 電	EB	37.5～75Ω以下	EB(0=14又はW=30)×3連-2組
・ C 電	EC	10Ω以下	EB(0=14又はW=40)×3連-2組
・ D 電	ED	1000Ω以下	EB(0=10又はW=30)×1
・ D 電	EELCB	1000Ω以下	EB(0=10又はW=30)×1
・ 接地極用	ELA	Ω以下	EB(0=14又はW=40)×3連-2組又はEPx0.6-2
・ 高圧避雷器	ELH	10Ω以下	EB(0=14又はW=40)×3連-2組
・ 低圧避雷器	ELL	10Ω以下	EB(0=14又はW=40)×3連-2組
・ 交換機用	EL	100Ω以下	EB(0=14又はW=40)×3連-2組
・ 通信機用	ELI	100Ω以下	EB(0=14又はW=40)×3連-2組
・ 通信機用	ELI	100Ω以下	EB(0=14又はW=40)×3連-2組
・ 通信機用	ELI	100Ω以下	EB(0=10又はW=30)×1
・ 測定用	Ed	100Ω以下	EB(0=10又はW=30)×1
・ 構造用接地		Ω以下	
・ 等電位接地		Ω以下	

注1）EBでD=14の場合はL=1500とし、W=40の場合はL=1200、W=30の場合はL=900とする。  
注2）図中に記載がある場合は、それを優先する。

表2 機器標準取付高さ

名称	測定	取付高さ(mm)	名称	測定	取付高さ(mm)	
電力・共用	取付用機器	地上～中台	1,800～2,000	表示盤	床土～中台	天井高x0.9
電力・共用	引込開閉器	地上～中台	1,800～2,200	警報装置	床土～中台	1,100
電力	分電盤	床土～中台	1,500	ベル・ブザー・チャイム	床土～中台	2,300
		(上端1,900以下)		警報押し錠(一般)	床土～中台	1,100
	スイッチ	床土～中台	1,100			
		地上～中台	1,800	警報インターホン	床土～中台	1,100
	人感センサー用収納スイッチ	床土～中台	400	警報アクトレット(一般)	床土～中台	400
		(一般)	200	警報アクトレット(配置)	床土～中台	200
	コンセント	床土～中台	200	押し錠(トイレ用)	床土～中台	900又は400
		(台上)	150～200	警報部	床土～中台	1,800
	(土間)	床土～中台	500			
		(外壁・屋外)	800	機器収納箱	天井下～上端	200
電力	(一般)	床土～中台	2,100～2,300	警報ユニット(一般)	床土～中台	400
		(配置)	2,000～2,500	警報ユニット(配置)	床土～中台	200
	フック	床土～中台	150			
		(上端)				
	警報制御盤	床土～中台	1,500	受信機・副受信器	床土～中台	800～1,500
		(上端1,900以下)		機器収納箱・受信器	床土～中台	800～1,500
	手元開閉器	床土～中台	1,500	ベル	床土～中台	2,300
		操作スイッチ	1,300	表示灯	床土～中台	2,100
	室内端子盤	床土～下端	300	LPガス用検知器	床土～上端	300
		集合保安装置	天井下～上端	200		
電力	警報・(一般)	床土～中台	400	注) 1.天井高3,000以上の場合は、監督職員と協議する。 2.倉庫に備付する部分（正統交換・交換パネル・E.V.ホール・上置室・倉庫型）の取付位置は、監督職員と十分協議する。 3.表は原則とし、施工前に監督職員の承認を受ける。		
		(配置)	200			
	アクトレット	床土～中台	200			
	警報形開閉器	床土～中台	1,500			
		(上端1,900以下)				
	手掛	床土～中台	天井高x0.9			
		警報形スピーカ	天井高x0.9			
	警報アタッチター	床土～中台	1,100			

表3 耐震施工の基準

設備機器・配管等の支持、固定は、以下の図書を適用する。  
ガイドライン：静岡県防災拠点等における設備地震対策ガイドライン（平成25年度）  
センター指針：建築設備耐震設計・施工指針（2014年版）

施設分類	設備機器・配管等の支持、固定	左記のうち、横引き配管などの支持
防火上重要な機能を必要とする防災拠点等	ガイドライン*	ガイドライン*
防火上重要な施設	ガイドライン*	標準仕様書
一般の施設	標準仕様書	標準仕様書

\*ガイドラインに記載のない内容は、センター指針を適用する。

荒井建築計画事務所一級建築士事務所

藤枝市教育部教育政策課

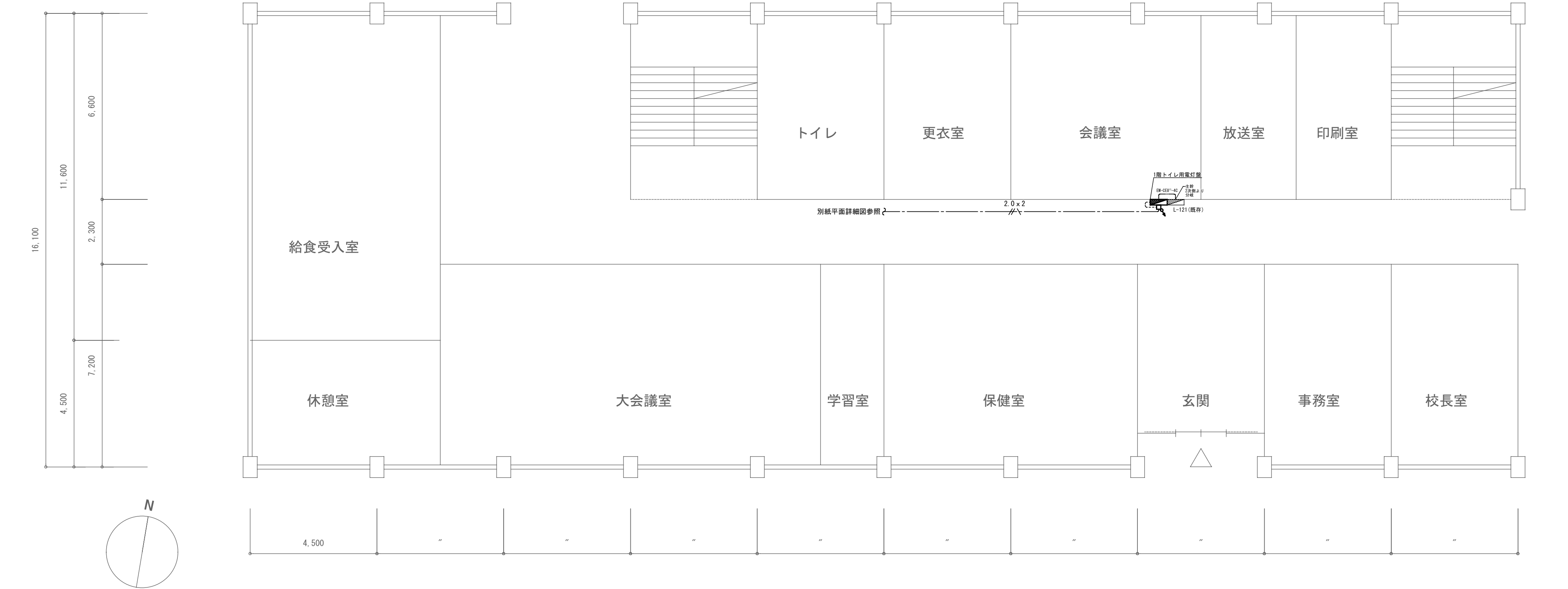
令和7年度 青島中学校トイレ洋式化等改修工事

日付 R6.10.18 縮尺 図名 電気設備工事特記仕様書 (R6.4) 2/2

校図

図番 E-02

作図



【凡例】

- IV2. 0x2 (E19)
- IV2. 0x3 (E19)
- IV1. 6x2 (E19)
- EM-EEF2. 0-3C
- EM-EEF1. 6-3C x 2
- EM-EEF1. 6-2C x 2
- EM-EEF1. 6-3C
- EM-EEF1. 6-2C
- AE0. 9-4C (E19)
- EM-AE0. 9-4C
- MM1-B型内配線

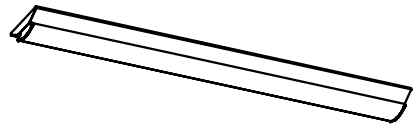
- メタルモール用  
コーナーボックス取付  
(分電盤へ立下げ)

- 既存再利用照明器具 LED 直付型 1600lm 昼白色 20W型
- 既存再利用照明器具 LED 直付型 800lm 昼白色 20W型
- 既存照明器具 FHF32x2灯型 逆富士型
- 既存照明器具 FL20Wx1灯型 逆富士型
- 既存再利用差動式スポット型感知器
- 埋込スイッチ 1P15A
- 埋込スイッチ 1P0. 5A パイロット付き
- カバープレート 新金属プレート
- 埋込コンセント 2P15A シングルコンセント 新金属プレート付き
- 熱線センサー付き自動スイッチ

- 新設定温式スポット型感知器 特種 防水型
- 埋込コンセント 2P15A EET付き 新金属プレート
- 埋込コンセント 2P15A EET付き 新金属プレート 1種金属線び用スイッチボックス取付(立下げMM1-A)
- 新設アウトレットボックス 樹脂製
- 熱線センサー付き自動スイッチ 親機 3A
- 熱線センサー付き自動スイッチ 子機
- 熱線センサー付き自動スイッチ 子機 換気扇連動型
- 熱線式自動スイッチ(センサー別置)OFF・自動・連続切替スイッチ付き  
1回路用(照明用) FL+2. 000 ガードプレート付き
- 熱線式自動スイッチ(センサー別置)OFF・自動・連続切替スイッチ付き  
2回路用(照明と換気扇用) FL+2. 000 1種金属線び用スイッチボックス取付(立下げMM1-B) ガードプレート付き
- 熱線式自動スイッチ(センサー別置)OFF・自動・連続切替スイッチ付き  
2回路用(照明と換気扇用) FL+2. 000 ガードプレート付き
- 換気扇(機械設備工事)
- 新設電灯分電盤 銅板製 屋内用 壁掛露出型  
主幹ELB3P2E40A MCB2P1E20Ax4回路+予備2回路

照明器具姿図

A	LED照明器具 直付天井灯	LSS9-4-30
B	LED照明器具 直付天井灯	LSS9-2-15



・上記図面で、×印箇所は撤去・処分とする。  
ただし、コンクリート打ち込み配管は残置し配線のみ撤去とする。  
又、上記凡例において既存再利用品は処分対象外とする。

荒井建築計画事務所 1級建築士事務所

静岡県島田市大津通11-13 TEL: 0547-77-2355  
一級建築士登録 第 308615 号 荒井恵子  
一級建築士事務所登録 第 6778 号

令和7年度  
青島中学校トイレ洋式化等改修工事

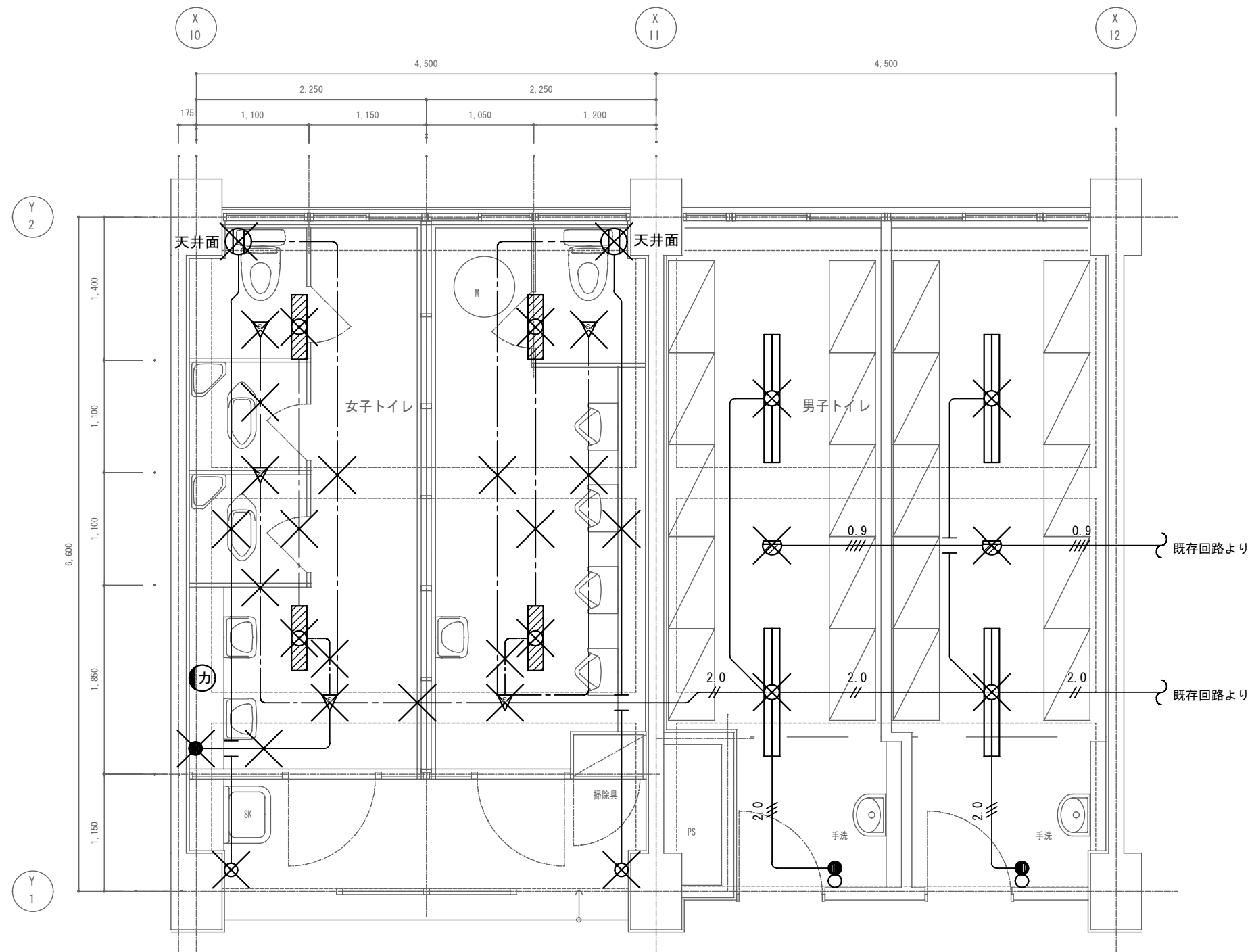
電気設備 1階平面図  
改修

製図 荒井  
核図 荒井  
縮尺 R6. 10. 18

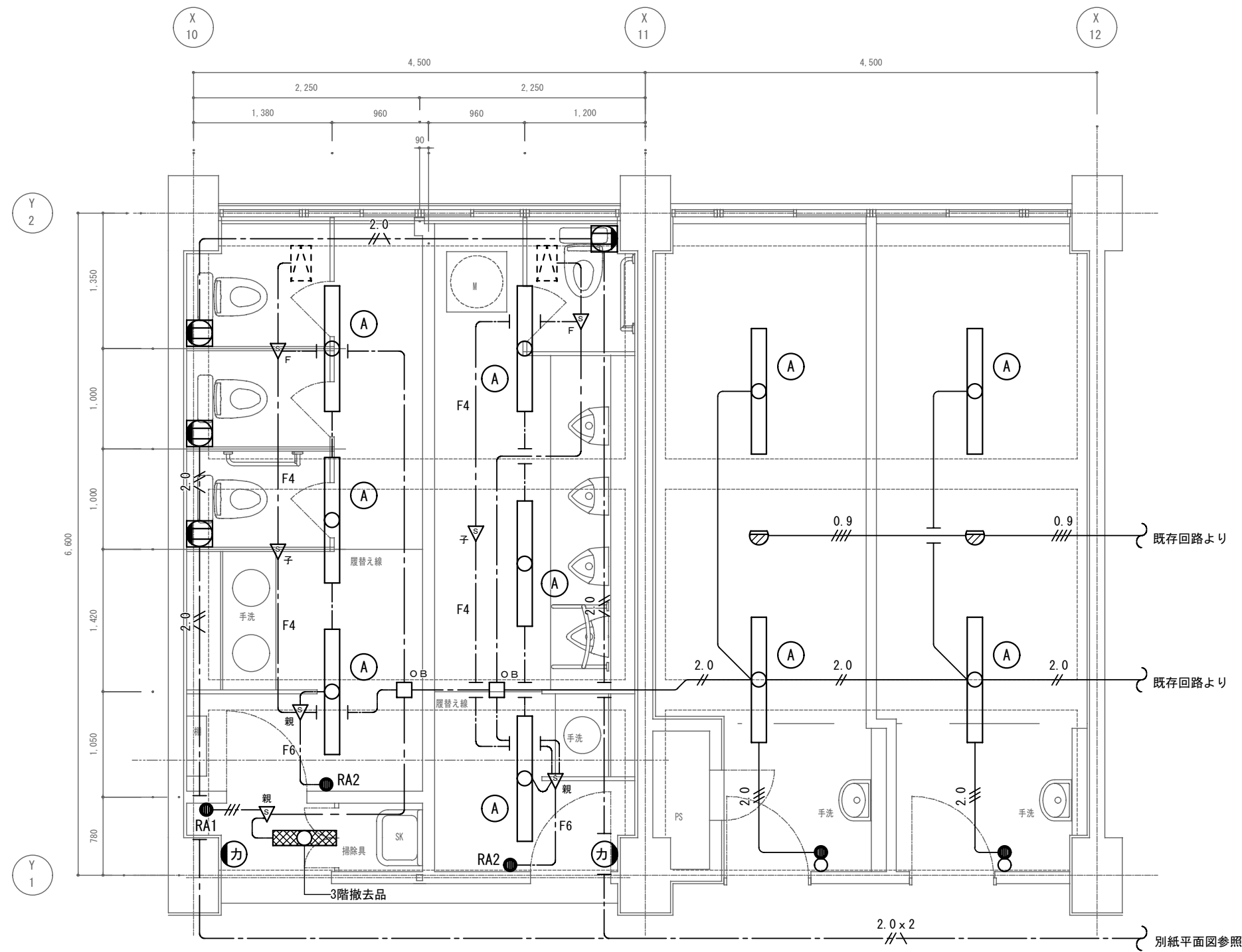
1/100

E-03

【1階 改修前平面詳細図】



【1階 改修後平面詳細図】



【凡例】

	IV2. 0x2 (E19)		既存再利用照明器具 LED 直付型 1600lm 昼白色 20W型
	IV2. 0x3 (E19)		既存再利用照明器具 LED 直付型 800lm 昼白色 20W型
	IV1. 6x2 (E19)		既存照明器具 FHF32x2灯型 逆富士型
	EM-EEF1. 0-3C		既存照明器具 FL20Wx1灯型 逆富士型
	EM-EEF1. 6-3C x 2		既存再利用差動式スポット型感知器
	EM-EEF1. 6-2C x 2		埋込スイッチ 1P15A
	EM-EEF1. 6-3C		埋込スイッチ 1P0. 5A パイロット付き
	EM-EEF1. 6-2C		カバープレート 新金属プレート
	AE0. 9-4C (E19)		埋込コンセント 2P15A シングルコンセント 新金属プレート付き
	EM-AE0. 9-4C		熱線センサー付き自動スイッチ
	MM1-B型内配線		
	メタルモール用 コーナーボックス取付 (分電盤へ立下げ)		

	新設定温式スポット型感知器 特種 防水型
	埋込コンセント 2P15A EET付き 新金属プレート
	埋込コンセント 2P15A EET付き 新金属プレート 1種金属線び用スイッチボックス取付(立下げMM1-A)
	新設アウトレットボックス 樹脂製
	熱線センサー付き自動スイッチ 親機 3A
	熱線センサー付き自動スイッチ 子機
	熱線センサー付き自動スイッチ 子機 換気扇連動型
	熱線式自動スイッチ(センサー別置)OFF・自動・連続切替スイッチ付き 1回路用(照明用)FL+2. 000 ガードプレート付き
	熱線式自動スイッチ(センサー別置)OFF・自動・連続切替スイッチ付き 2回路用(照明と換気扇用)FL+2. 000 1種金属線び用スイッチボックス取付(立下げMM1-B) ガードプレート付き
	熱線式自動スイッチ(センサー別置)OFF・自動・連続切替スイッチ付き 2回路用(照明と換気扇用)FL+2. 000 ガードプレート付き
	換気扇(機械設備工事)
	新設電灯分電盤 鋼板製 屋内用 壁掛露出型 主幹ELB3P2E40A MCB2P1E20Ax4回路+予備2回路

照明器具姿図

A	LED照明器具 直付天井灯	LSS9-4-30
B	LED照明器具 直付天井灯	LSS9-2-15

・上記図面で、×印箇所は撤去・処分とする。  
ただし、コンクリート打ち込み配管は残置し配線のみ撤去とする。  
又、上記凡例において既存再利用品は処分対象外とする。

荒井建築計画事務所 1級建築士事務所

静岡県島田市大津通11-13 TEL: 0547-77-2355  
一級建築士登録 第 308615 号 荒井恵子  
一級建築士事務所登録 第 6778 号

令和7年度

青島中学校トイレ洋式化等改修工事

電気設備 1階平面詳細図

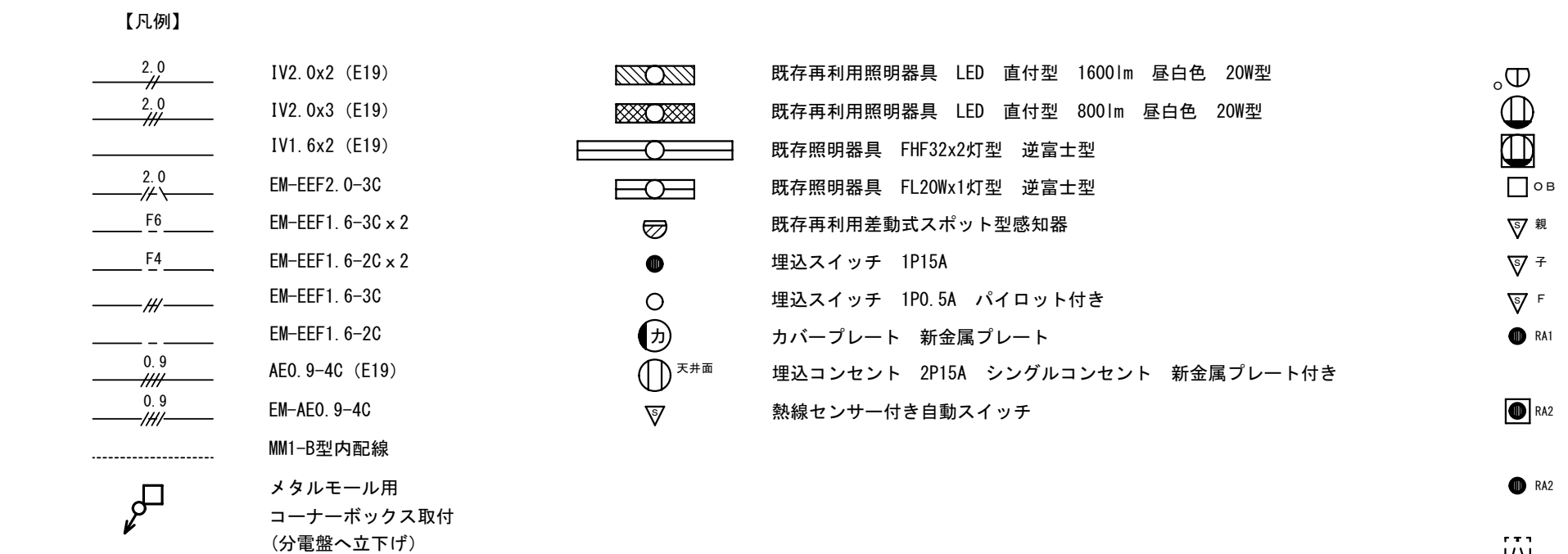
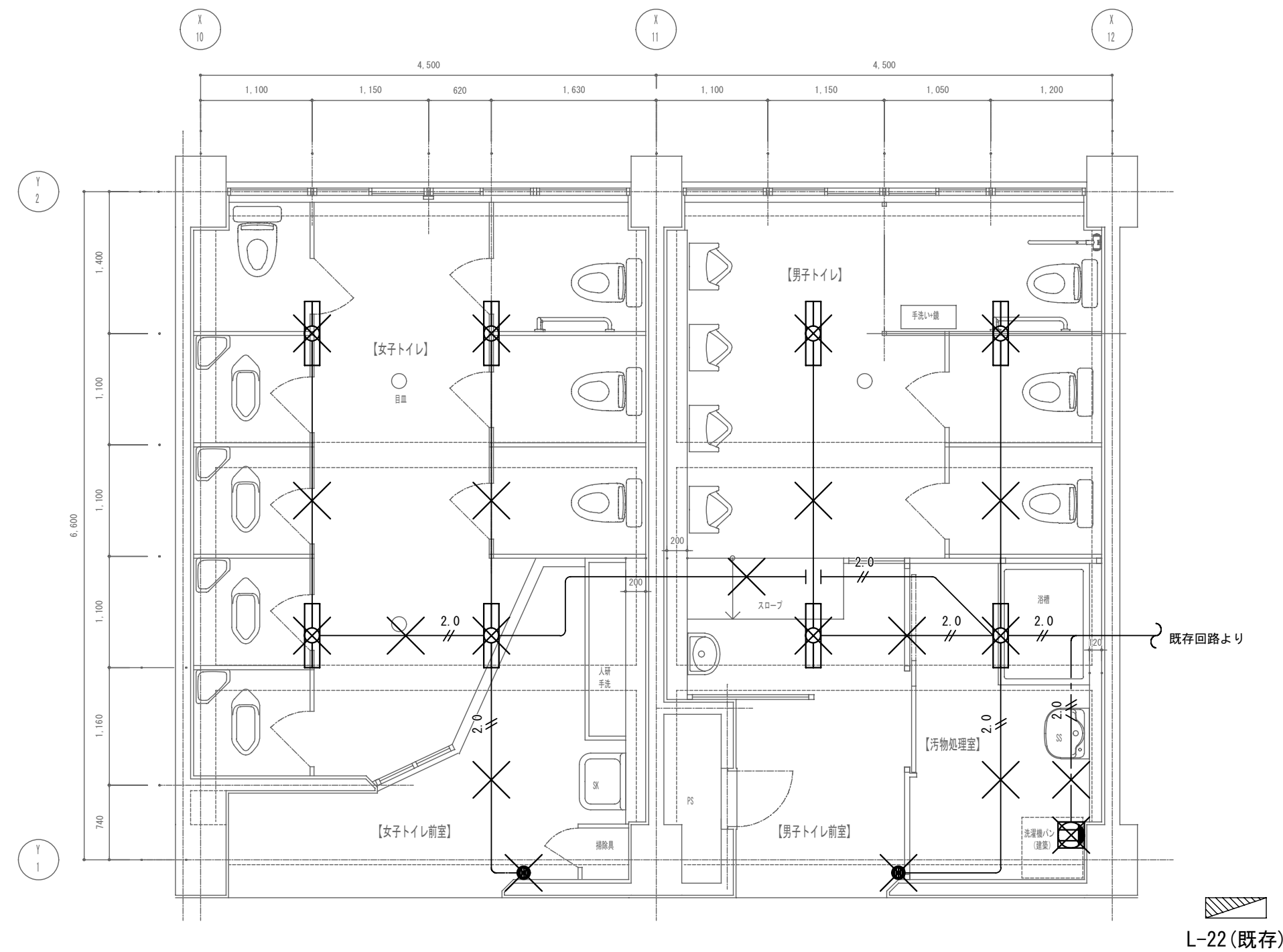
現況・改修

製図 荒井  
核図 荒井  
縮尺 R6. 10. 18

1/50

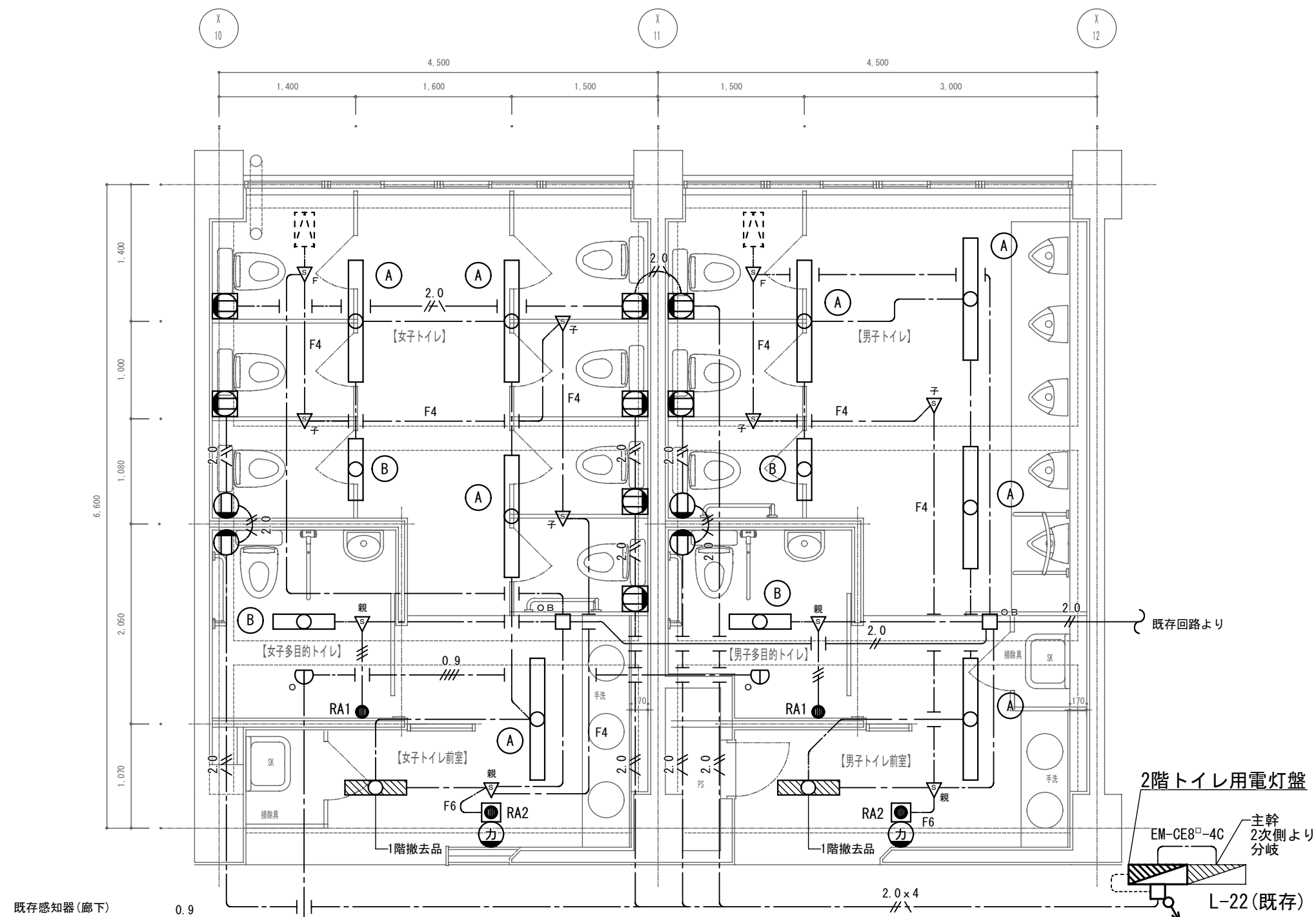
E-04

【2階 改修前平面詳細図】



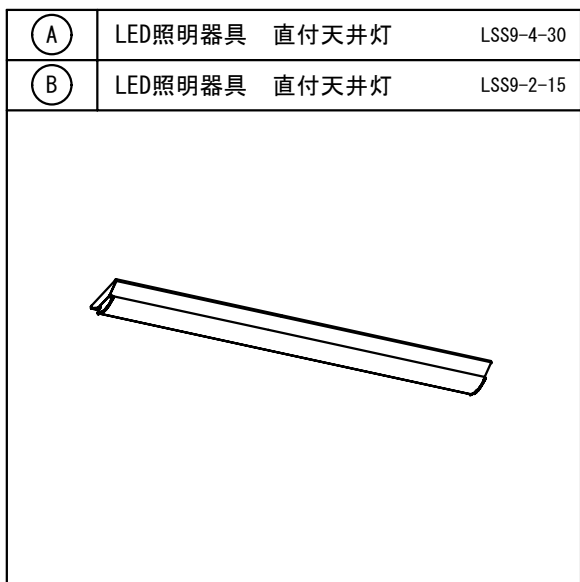
・上記図面で、×印箇所は撤去・処分とする。  
ただし、コンクリート打ち込み配管は残置し配線のみ撤去とする。  
又、上記凡例において既存再利用品は処分対象外とする。

【2階 改修後平面詳細図】



新設定温式スポット型感知器 特種 防水型  
埋込コンセント 2P15A EET付き 新金属プレート  
埋込コンセント 2P15A EET付き 新金属プレート 1種金属線び用スイッチボックス取付(立下げMM1-A)  
新設アウトレットボックス 樹脂製  
熱線センサー付き自動スイッチ 親機 3A  
熱線センサー付き自動スイッチ 子機  
熱線センサー付き自動スイッチ 子機 換気扇連動型  
熱線式自動スイッチ(センサー別置)OFF・自動・連続切替スイッチ付き  
1回路用(照明用)FL+2. 000 ガードプレート付き  
熱線式自動スイッチ(センサー別置)OFF・自動・連続切替スイッチ付き  
2回路用(照明と換気扇用)FL+2. 000 1種金属線び用スイッチボックス取付(立下げMM1-B) ガードプレート付き  
熱線式自動スイッチ(センサー別置)OFF・自動・連続切替スイッチ付き  
2回路用(照明と換気扇用)FL+2. 000 ガードプレート付き  
換気扇(機械設備工事)  
新設電灯分電盤 鋼板製 屋内用 壁掛露出型  
主幹ELB3P2E40A MCB2P1E20Ax4回路+予備2回路

照明器具姿図



令和7年度  
青島中学校トイレ洋式化等改修工事

電気設備 2階平面詳細図  
現況・改修

製図 荒井  
核図 荒井  
縮尺 R6. 10. 18

1/50

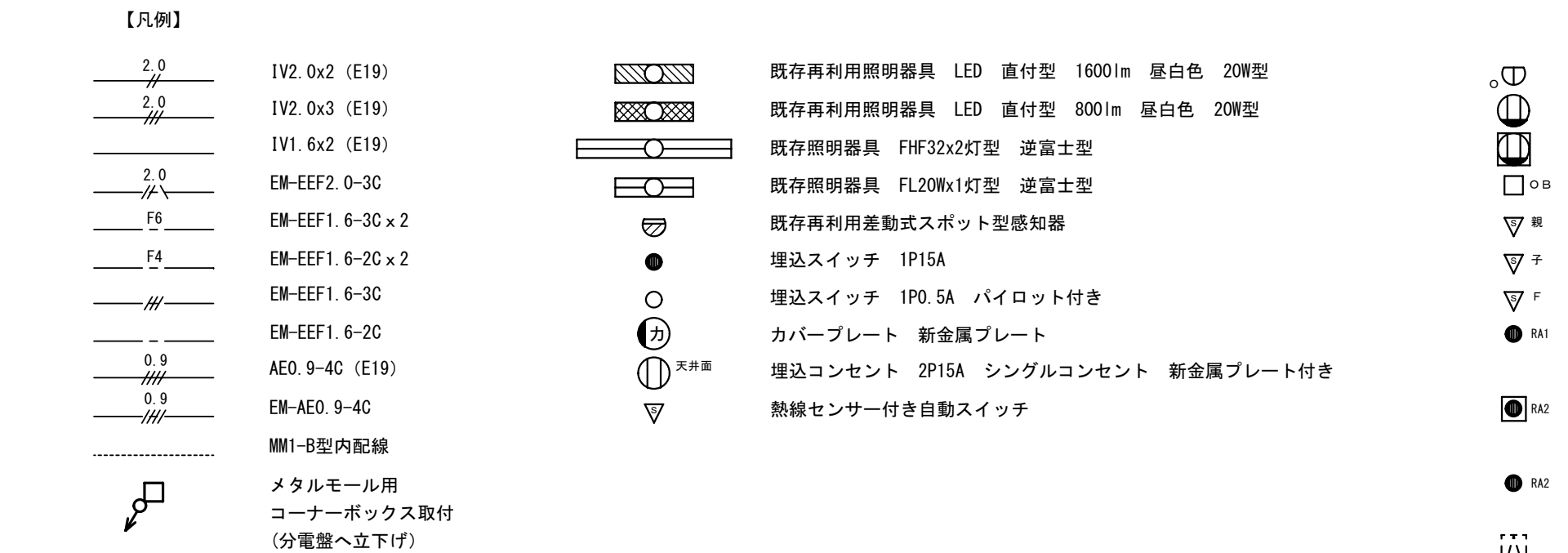
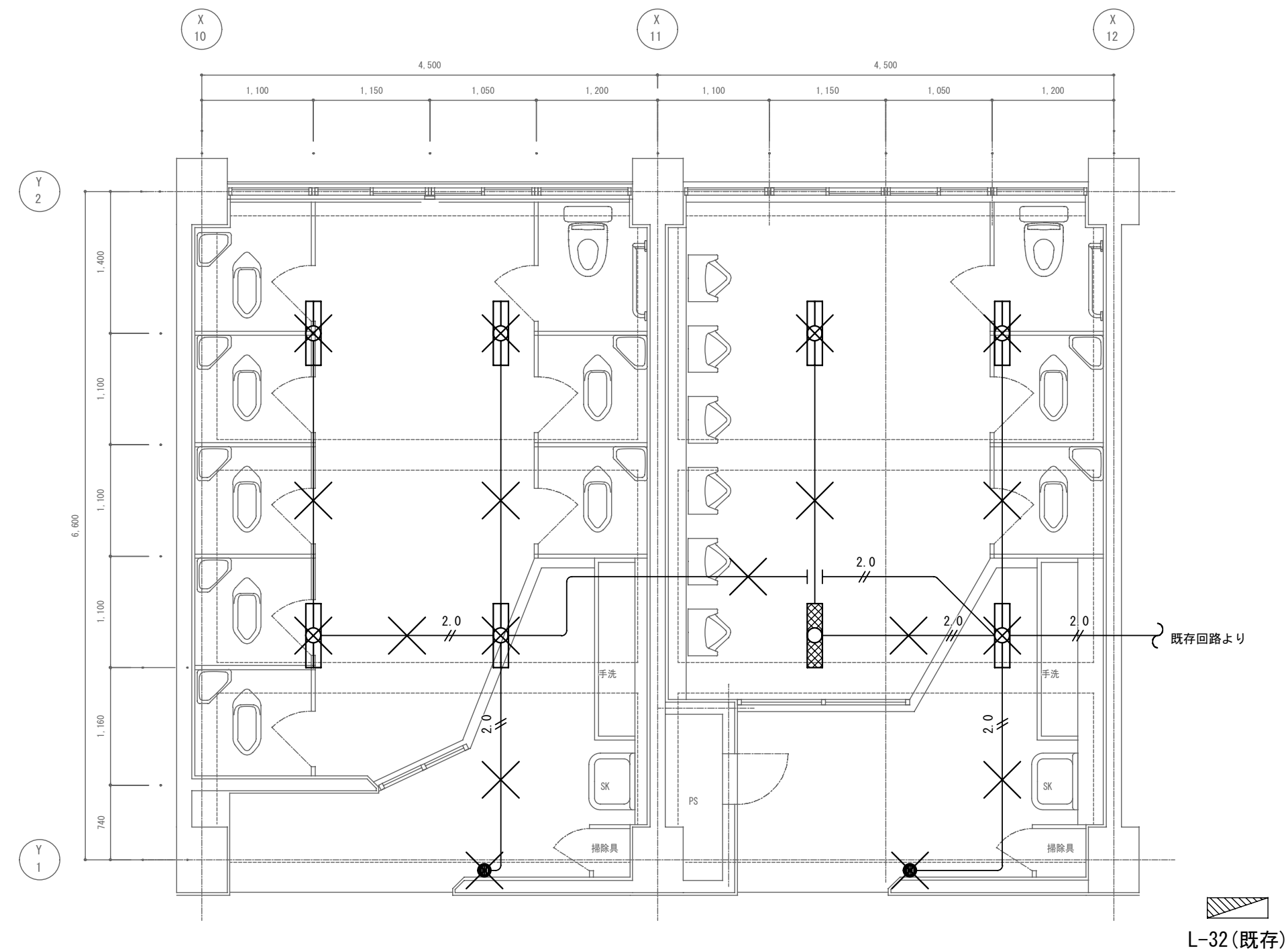
E-05

荒井建築計画事務所 1級建築士事務所

静岡県島田市大津通11-13 TEL: 0547-77-2355  
一級建築士登録 第 308615 号 荒井恵子  
一級建築士事務所登録 第 6778 号

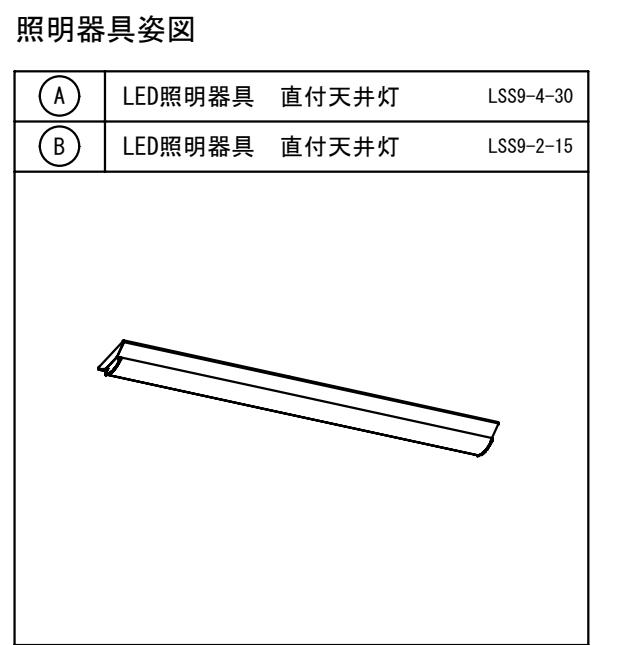
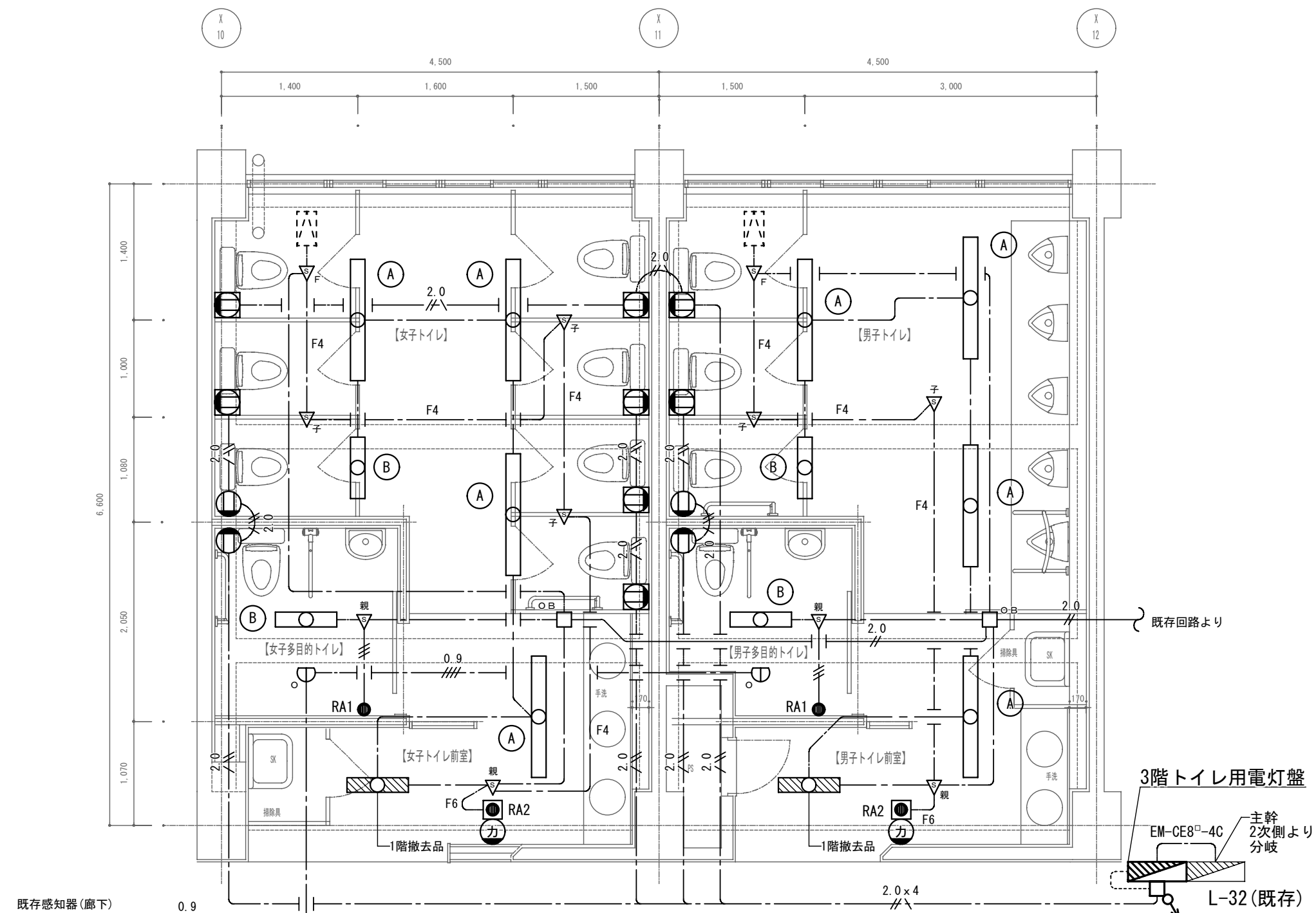


【3階 改修前平面詳細図】



・上記図面で、×印箇所は撤去・処分とする。  
ただし、コンクリート打ち込み配管は残置し配線のみ撤去とする。  
又、上記凡例において既存再利用品は処分対象外とする。

【3階 改修後平面詳細図】



荒井建築計画事務所 1級建築士事務所

静岡県島田市大津通11-13 TEL: 0547-77-2355  
一級建築士登録 第 308615 号 荒井恵子  
一級建築士事務所登録 第 6778 号

令和7年度

青島中学校トイレ洋式化等改修工事

電気設備 3階平面詳細図

現況・改修

製図 荒井  
検図 荒井  
縮尺 R6. 10. 18

1/50

E-06